

家計と貯蓄に関する調査
結果概要報告書

目 次

I 調査の概要

1. 調査目的	1
2. 調査内容	1
3. 調査対象	1
4. 抽出方法	1
5. 調査方法	1
6. 調査期間	1
7. 回収状況	2
8. 利用上の注意	2
9. 回答世帯の属性	3
(1) 回答者	3
(2) 世帯主性別	3
(3) 世帯主および配偶者の年齢	3
(4) 同居家族人数	4
(5) 同居家族	4
(6) 別居家族有無	5
(7) 生計を別にする子どもの居住状況（複数回答）	5
(8) 世帯主および配偶者の健康状態	5
(9) 世帯主および配偶者の学歴	5
(10) 世帯主および配偶者の両親	6
(11) 年間の所得税・住民税・社会保険料	8

II 結果の概要

1. 生活全般について	9
(1) 現在の生活満足度	9
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安	11
(3) 物の豊かさとの豊かさ	12
(4) 今後の生活において重点を置きたいこと	12
(5) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率	13
(6) 物価動向に関する考え	13

2. 貯蓄について.....	14
(1) 世帯の貯蓄状況.....	14
(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品.....	14
(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高.....	15
(4) 金融資産の世帯保有状況.....	19
(5) 保険商品の保有状況.....	20
(6) 世帯貯蓄の目的.....	21
3. 住居について.....	24
(1) 現在の住居の構造・築年数・面積.....	24
(2) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期.....	25
(3) 住居の購入資金.....	27
(4) 現在の住居の購入資金調達先.....	29
(5) 民間金融機関からの借入金の金利.....	30
(6) 現在の住居の3年後の資産価値.....	31
(7) 現在の住居の家賃.....	32
(8) 住居の取得予定.....	33
4. 世帯の借入金について.....	35
(1) 借入の状況.....	35
5. 仕事と家計について.....	37
(1) 世帯主・配偶者の就労有無.....	38
(2) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況.....	39
(3) 就業中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢.....	41
(4) 就労収入.....	42
(5) 世帯収入.....	43
(6) 世帯の支出.....	44
(7) 仕送り.....	45
(8) 世帯の家計.....	46
(9) 1年後の年間収入.....	47
(10) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み.....	48
(11) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源.....	48
6. 年金について.....	49
(1) 世帯主・配偶者の公的年金.....	49
(2) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合.....	52
(3) 公的年金受給前に必要な貯蓄額.....	52

7. 遺産について.....	53
(1) 子どもに残す遺産についての考え方.....	53
(2) 遺産にかかる相続税基礎控除限度額引き下げについて.....	55
(3) 親からの遺産相続.....	56
(4) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無.....	59

Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

I 調査の概要

1. 調査目的

本調査は、家計の貯蓄の実態や生活に関する考え方を調査することにより、家計（世帯）の金融に関する調査・研究に役立てることを目的とする。

2. 調査内容

調査項目は次のとおりである。なお、具体的な質問内容については、巻末「Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）」を参照。

- (1) 生活全般について
- (2) 貯蓄について
- (3) 住居について
- (4) 資産について
- (5) 仕事と家計について
- (6) 年金について
- (7) 遺産について
- (8) 対象属性（フェイスシート）

3. 調査対象

全国の二人以上世帯 5,000 サンプル

回答は、世帯主または世帯で家計や貯蓄を管理掌握している方に依頼した。

4. 抽出方法

- (1) 層化二段無作為抽出により、全国から 250 の調査地点を選び、各地点から世帯員 2 人以上の世帯から、20 歳以上の世帯主（と想定される者）を無作為に 20 サンプル選ぶことによって、計 5,000 の調査対象（標本）を抽出した。
- (2) 標本抽出は、原則住民基本台帳を使用し、住民基本台帳が閲覧できなかった地点については住宅地図より抽出した。

5. 調査方法

調査員が抽出した調査対象者宅を訪問し、調査票を持参して協力を依頼した。記入済調査票の回収にあたっては、対象者に「調査員による訪問」ないし「郵送」のどちらかを選んで提出してもらった。

6. 調査期間

2013 年 11 月 15 日（金）～12 月 27 日（金）

7. 回収状況

有効回収数（回収率） 1,734 サンプル（34.7%）

<地域別>

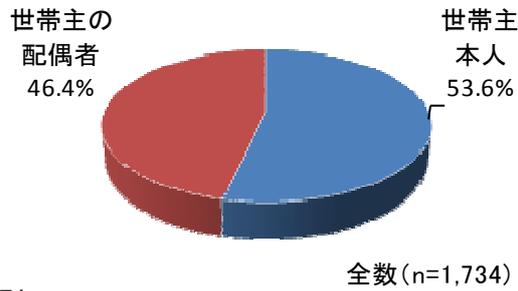
	設定数	回収数	回収率
北海道	220	78	35.5%
東北	360	169	46.9%
関東	1,660	492	29.6%
北陸	220	101	45.9%
中部	680	260	38.2%
近畿	840	240	28.6%
中国	300	118	39.3%
四国	160	58	36.3%
九州	560	218	38.9%
全国計	5,000	1,734	34.7%

8. 利用上の注意

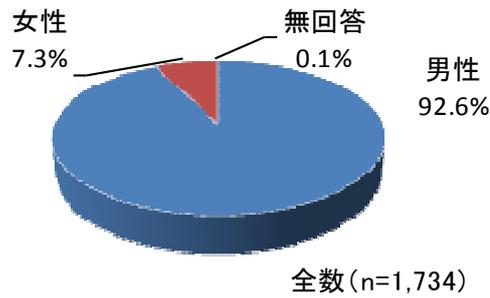
この調査は標本調査であるため、調査結果には統計的誤差（サンプル誤差）が含まれる。

9. 回答世帯の属性

(1) 回答者

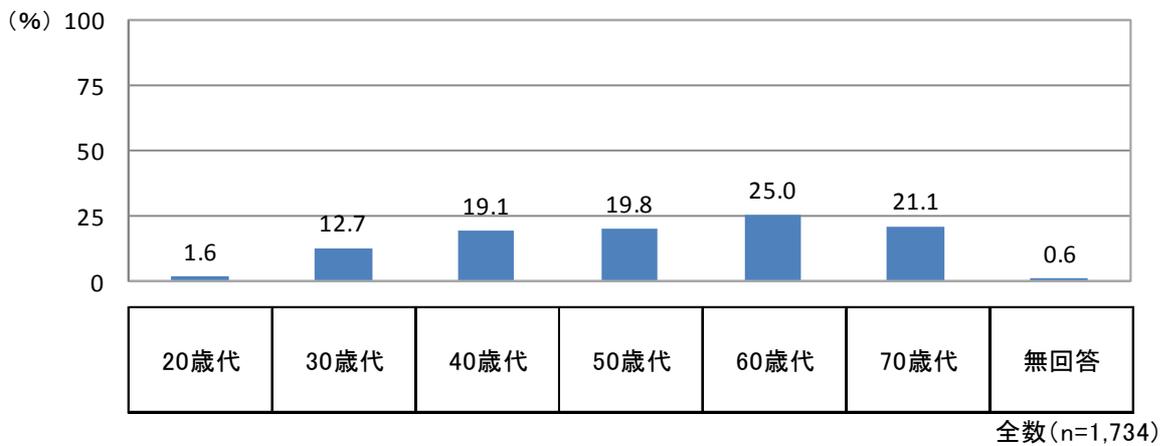


(2) 世帯主性別

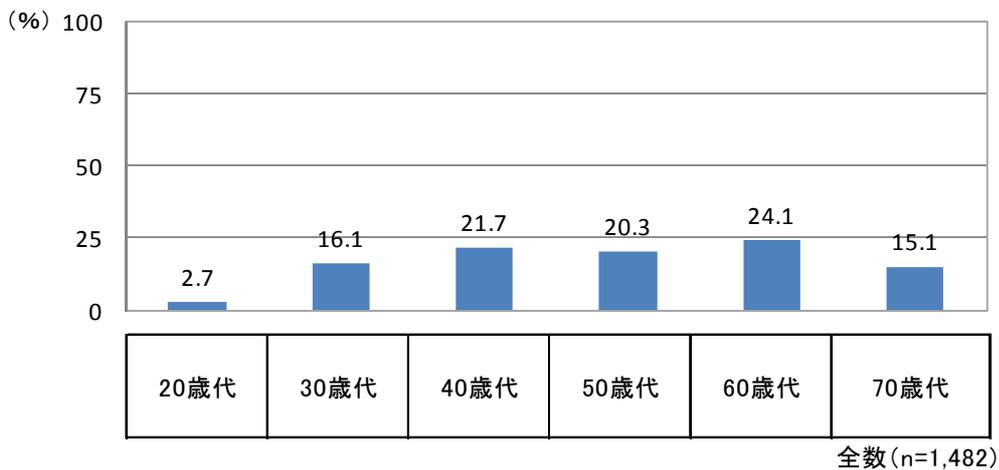


(3) 世帯主および配偶者の年齢

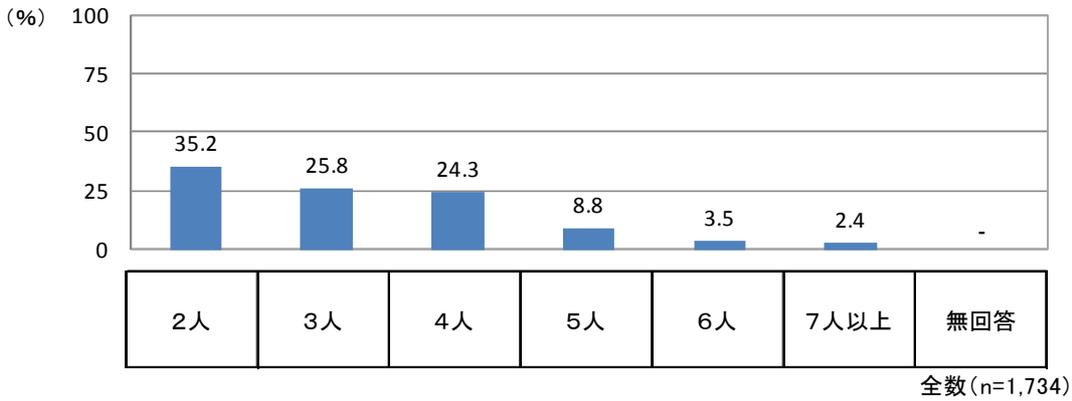
① 世帯主年齢



② 配偶者年齢

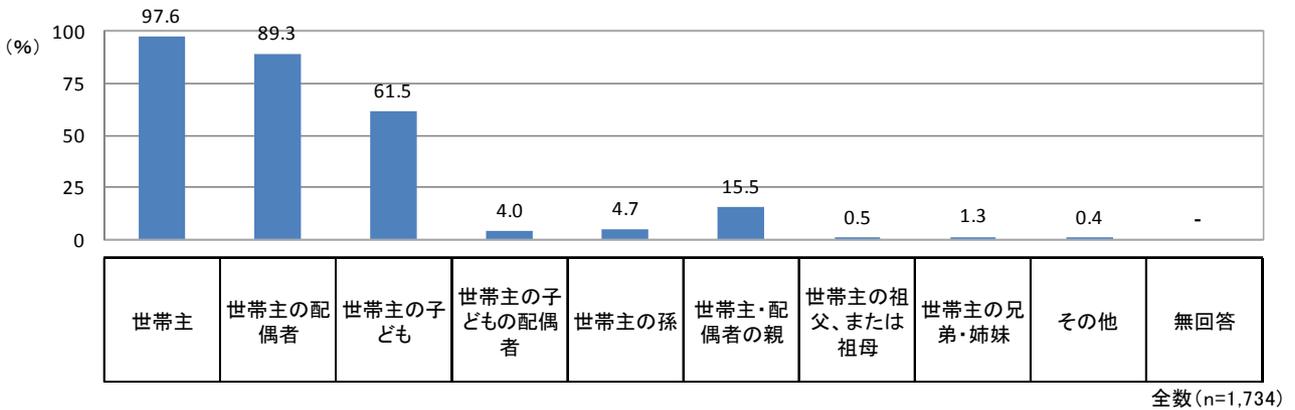


(4) 同居家族人数

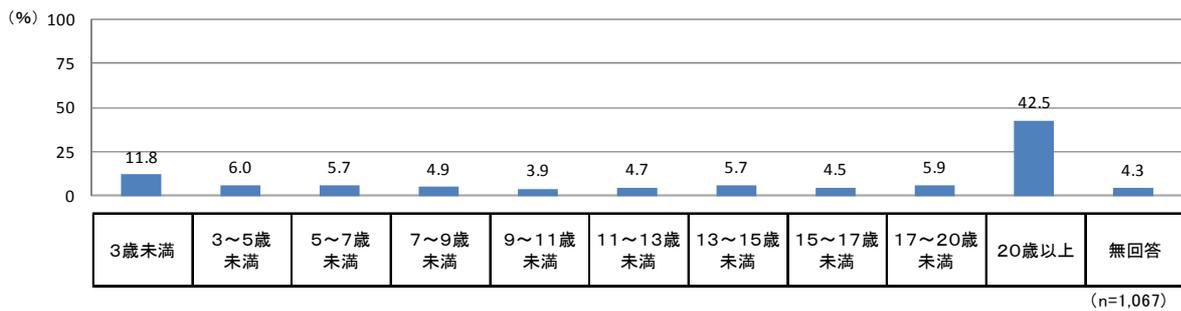


(5) 同居家族

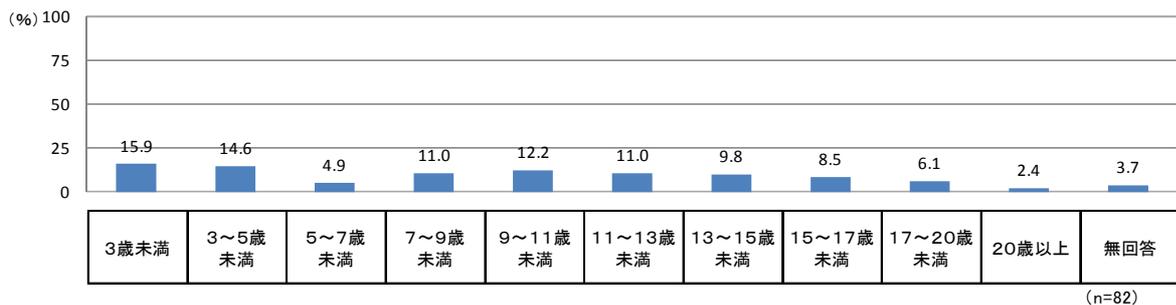
①同居家族の世帯構成 (複数回答)



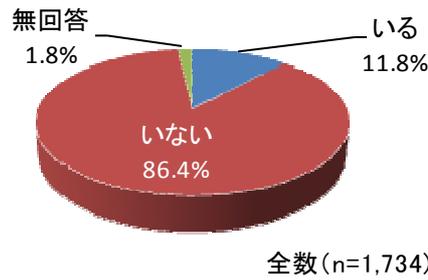
②一番年下の子どもの年齢



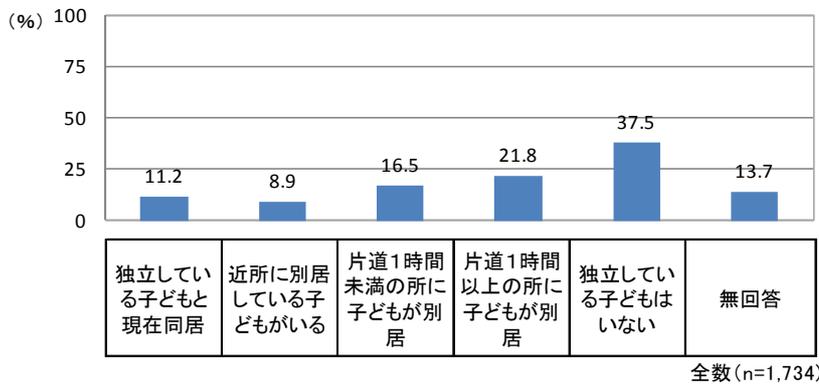
③一番年下の孫の年齢



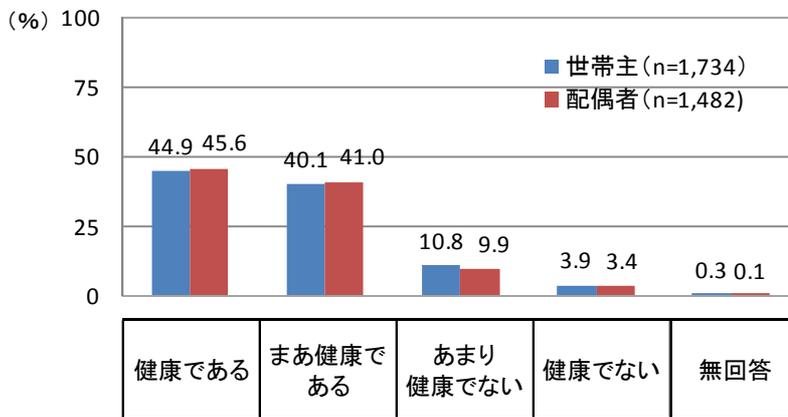
(6) 別居家族有無



(7) 生計を別にする子どもの居住状況 (複数回答)



(8) 世帯主および配偶者の健康状態

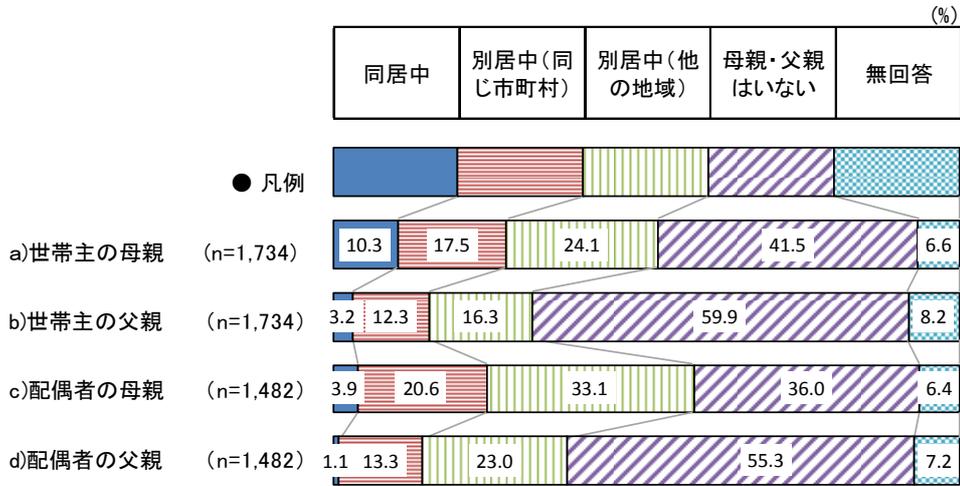


(9) 世帯主および配偶者の学歴

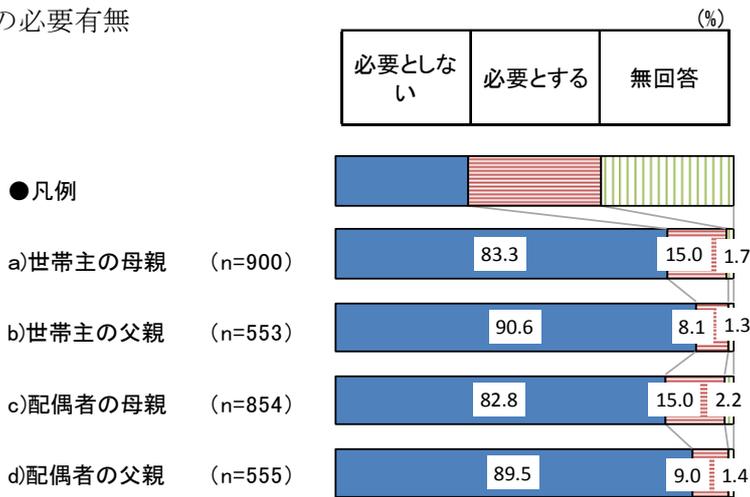
		(%)								
		中学校 (旧制小・高等学校)	高等学校 (旧制中・旧制高女)	専修学校・各種学校	短大・高等専門学校	大学・大学院 (文系)	大学・大学院 (理系)	その他	わからない	無回答
本人	(n=1,734)	13.5	40.9	7.2	6.0	20.1	10.1	0.3	0.3	1.6
配偶者	(n=1,482)	10.5	44.6	11.1	20.5	10.7	1.9	0.2	0.1	0.4

(10) 世帯主および配偶者の両親

①同居別居状況



②介護の必要有無



③主な介護者 (要介護の場合)

(%)

	世帯主	世帯主の配偶者	世帯主の親	その他の親族	介護老人福祉施設	介護保健施設	療養型病床	有料老人ホーム	病院	その他	無回答
a)世帯主の母親 (n=135)	11.1	17.8	1.5	23.0	9.6	11.9	3.7	8.1	5.2	3.7	4.4
b)世帯主の父親 (n=45)	11.1	26.7	11.1	17.8	-	8.9	2.2	6.7	6.7	8.9	-
c)配偶者の母親 (n=128)	3.1	18.8	3.9	27.3	18.0	7.8	2.3	8.6	2.3	4.7	3.1
d)配偶者の父親 (n=50)	-	16.0	26.0	14.0	6.0	10.0	4.0	8.0	4.0	8.0	4.0

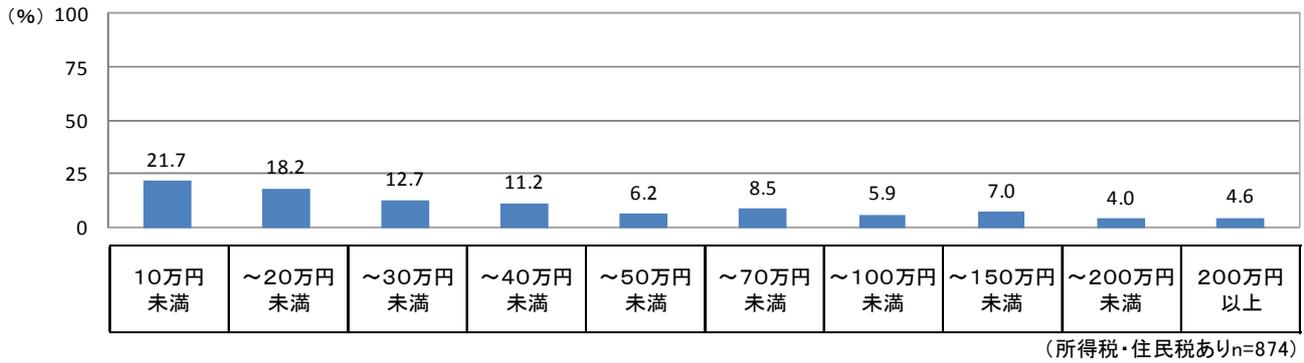
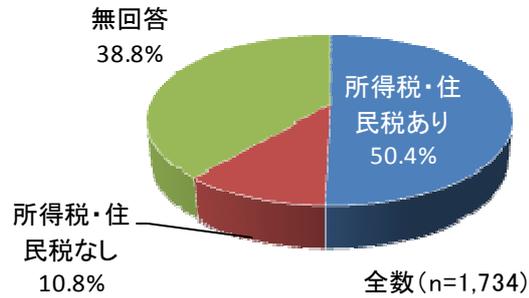
④介護費用（要介護の場合）

(%)

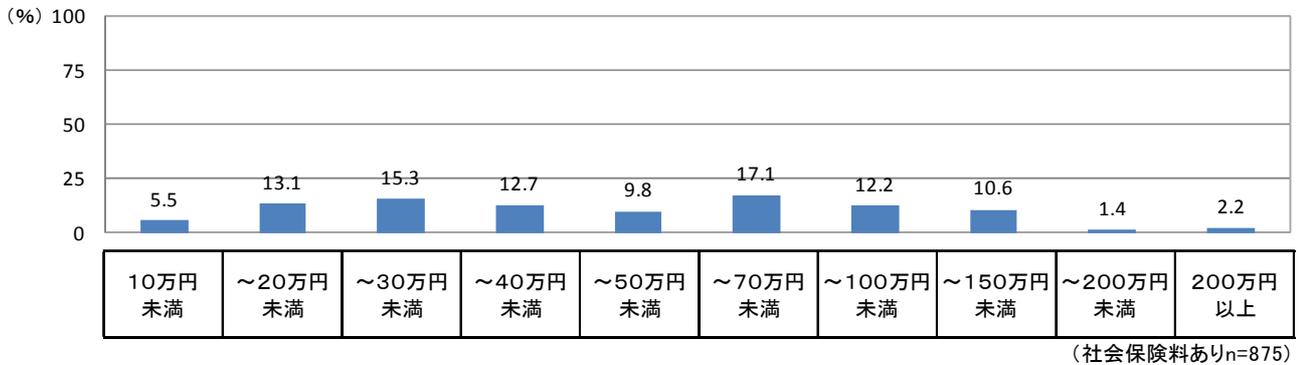
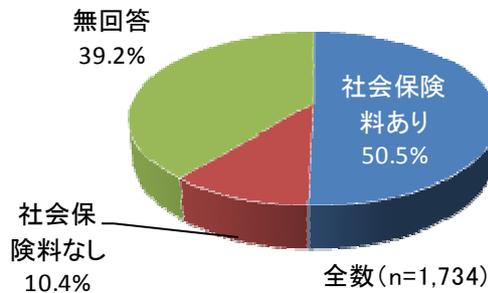
		3万円未満	3～5万円未満	5～7万円未満	7～10万円未満	10～15万円未満	15～20万円未満	20～25万円未満	25～30万円未満	30万円以上	その他	無回答
a)世帯主の母親	(n=135)	10.4	8.9	10.4	8.9	11.1	3.7	0.7	-	-	45.9	4.4
b)世帯主の父親	(n=45)	13.3	6.7	4.4	4.4	8.9	4.4	2.2	2.2	-	53.3	-
c)配偶者の母親	(n=128)	15.6	9.4	5.5	6.3	10.2	1.6	1.6	-	-	50.0	3.1
d)配偶者の父親	(n=50)	18.0	2.0	8.0	2.0	12.0	6.0	-	-	-	52.0	4.0

(11) 年間の所得税・住民税・社会保険料

①所得税・住民税



②社会保険料



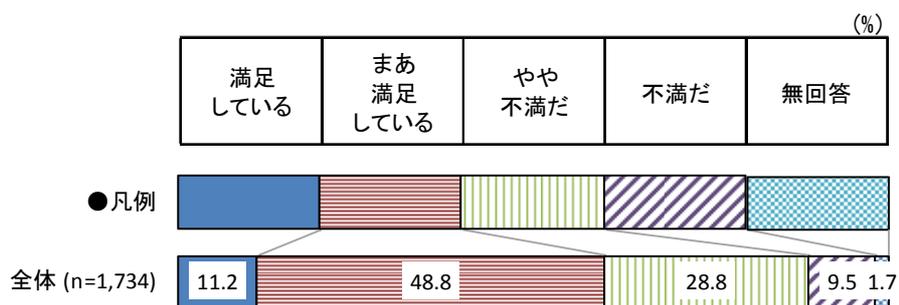
II 結果の概要

1. 生活全般について

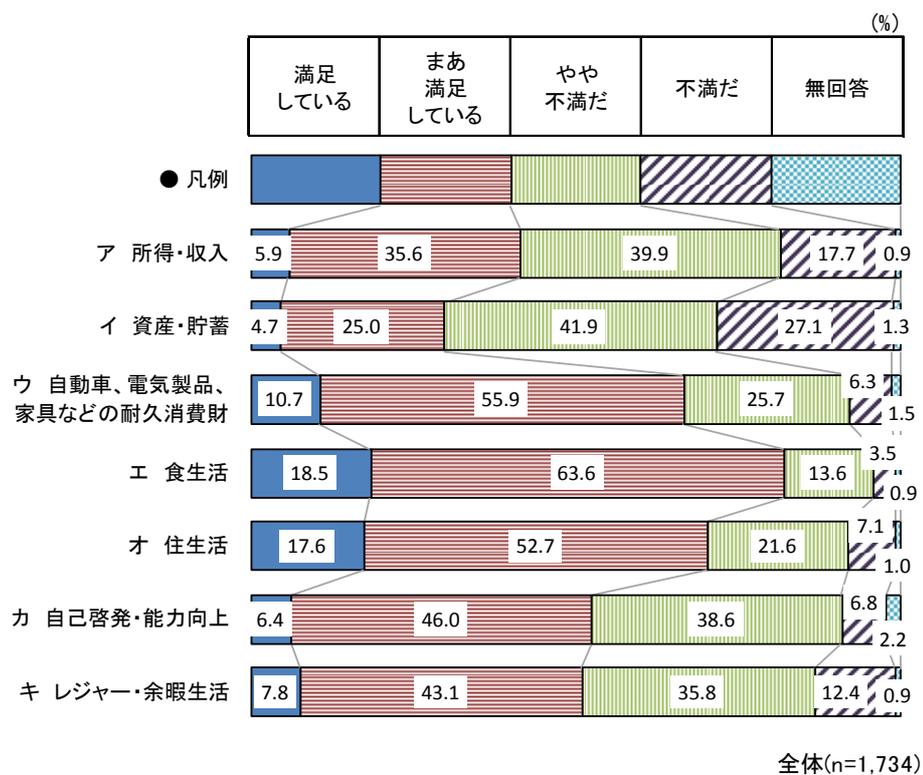
(1) 現在の生活満足度

- 全体として現在の生活に満足している程度は、『満足している 計』が60.0%を占め、『不満 計』の38.3%を大きく上回った。最も回答が多かったのは「まあ満足している」(48.8%)であった。
 * 『満足している 計』は「満足している」と「まあ満足している」の合計。『不満 計』は「不満だ」と「やや不満だ」の合計。
- 各生活面別の満足度では、“食生活”、“住生活”、“自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”での満足度が高く、『満足している 計』が6割を超える一方、“資産・貯蓄”や“所得・収入”での満足度が低い。
 “所得・収入”については、『満足している 計』(41.5%)が約4割にとどまり、『不満 計』(57.6%)が6割弱を占めた。
 “資産・貯蓄”については、『満足している 計』(29.7%)が約3割にとどまり、『不満 計』(69.0%)の半数以下であった。
 “自動車、電気製品、家具などの耐久消費財”については、『満足している 計』(66.6%)が7割強になり、『不満 計』(32.0%)を2倍以上上回った。
 “食生活”については、『満足している 計』が82.1%となり、『不満 計』17.1%を5倍近く上回った。
 “住生活”については、『満足している 計』が70.3%となり、『不満 計』28.7%を2倍以上上回った。
 “自己啓発・能力向上”については、『満足している 計』が52.4%で、『不満 計』45.4%を上回った。
 “レジャー・余暇生活”については、『満足している 計』が50.9%で、『不満 計』48.2%とほぼ拮抗している。

(図表 1-1) 全体としての生活満足度 (問1)



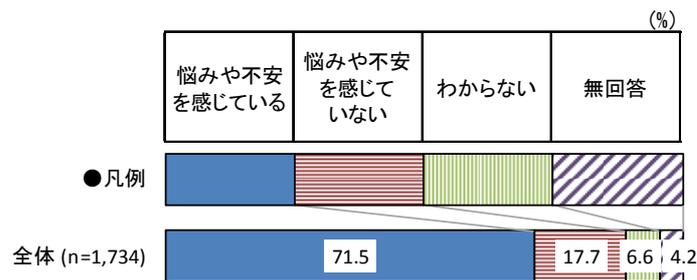
(図表 1 - 2) 現在の生活満足度 (問 2)



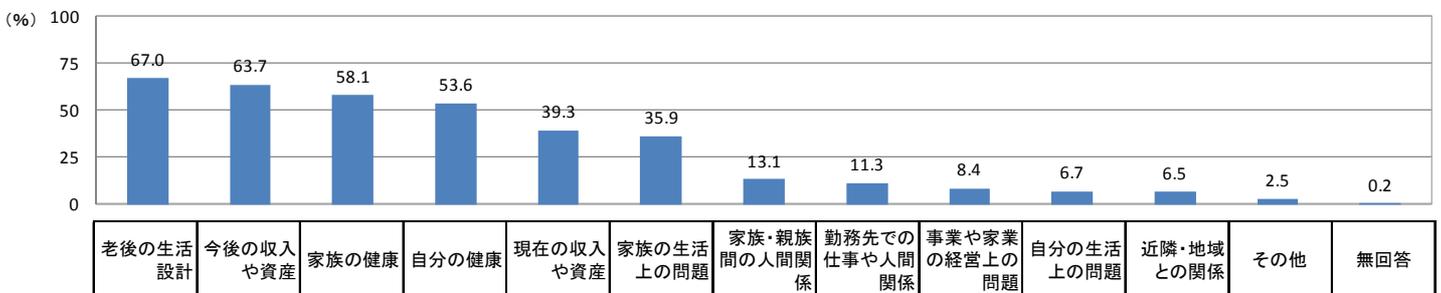
(2) 日頃の生活の中での悩みや不安

- 日頃の生活の中での悩みや不安については、「悩みや不安を感じている」との回答が71.5%を占め、「悩みや不安を感じていない」(17.7%)を大きく上回った。
- 「悩みや不安を感じている」と回答した人(1,240人)の不安内容(複数回答)としては、「老後の生活設計」が67.0%、「今後の収入や資産」が63.7%を占め、将来の収入に不安を持っている人が多い。次いで、「家族の健康」が58.1%、「自分の健康」が53.6%と半数以上を占め、健康面に対する不安がこれに続いている。

(図表1-3) 日頃の生活の中での悩みや不安感(問3)



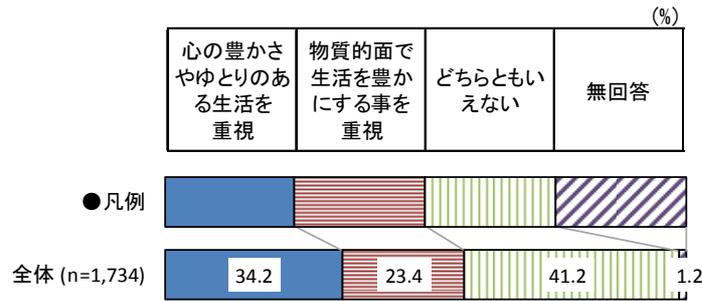
(図表1-4) 日頃から感じている不安内容(問3-1、複数回答)



(3) 物の豊かさと心の豊かさ

- 物の豊かさと心の豊かさに関する考え方については、「物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をするに重きをおきたい」との回答が34.2%で、「まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい」との回答(23.4%)を11ポイント上回っている。一方で、「どちらともいえない」との回答が41.2%を占めた。

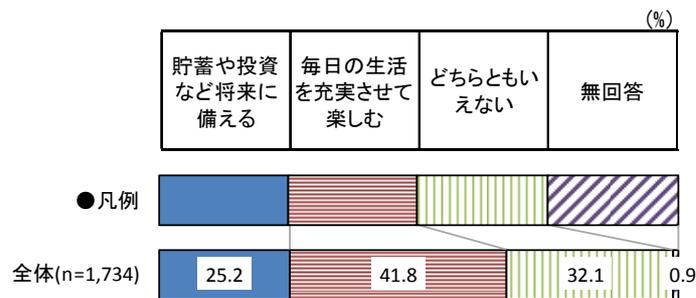
(図表1-5) 今後の生活における「豊かさ」についての考え方 (問4)



(4) 今後の生活において重点を置きたいこと

- 今後の生活において重点を置きたいこととしては、「毎日の生活を充実させて楽しむ」との回答が41.8%となり、「貯蓄や投資など将来に備える」(25.2%)を上回っている。なお、「どちらともいえない」との回答は32.1%であった。

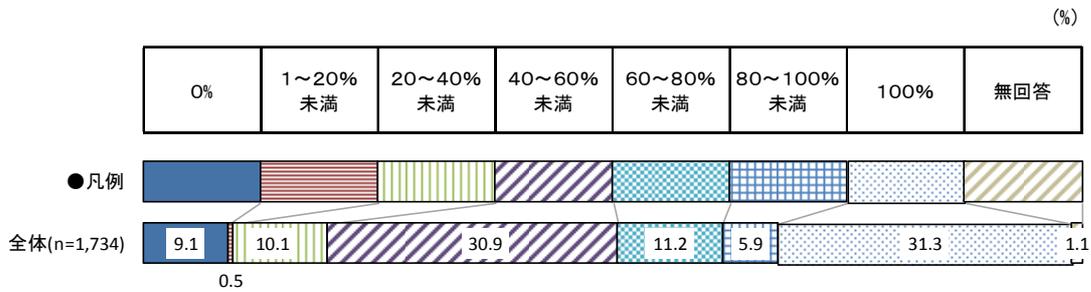
(図表1-6) 今後の生活において重点を置きたいこと (問5)



(5) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率

- 普段外出する際に傘などの雨具を持って出かけるのは降水確率が何パーセント以上のときかを尋ねたところ、降水確率「100%」で持参するとの回答は31.3%で最も高く、続いて「40～60%未満」が30.9%で、ともに3割を上回った。

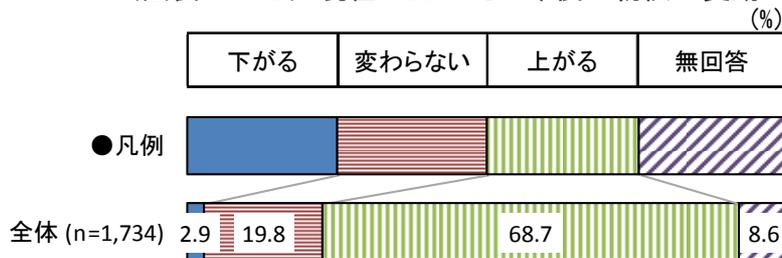
(図表 1-7) 普段の外出の際に雨具を持参する降水確率 (問6)



(6) 物価動向に関する考え

- 1年後の物価が現在と比べてどうなるかを尋ねたところ、「上がる」との回答は68.7%と多数を占め、「変わらない」は19.8%、「下がる」は2.9%であった。
- 「下がる」と回答した人(50人)が考える1年後の物価の下落幅としては、「2%未満」が46.0%で最多となり、「2%～5%未満」が36.0%でそれに続いている。
- 「上がる」と回答した人(1,191人)が考える1年後の物価の上昇幅としては、「2%～5%未満」が51.0%で過半数を占めて多く、次に「5%～10%未満」が26.7%となっている。

(図表 1-8) 現在と比べた1年後の物価の変動 (問7)



(図表 1-9) 1年後の物価の下落幅・1年後の物価の上昇幅 (問7-1、問7-2)

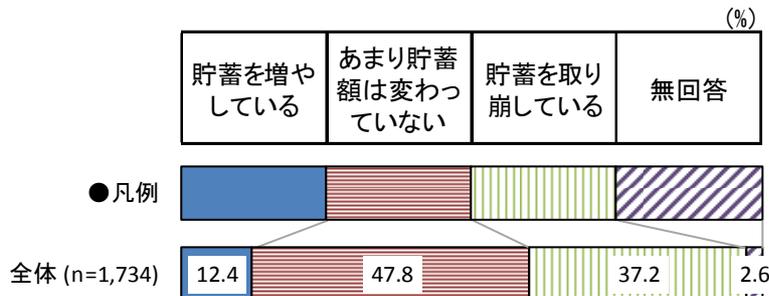
		2%未満	2%～5% 未満	5%～10% 未満	10%以上	無回答
下がる幅	(n=50)	46.0	36.0	14.0	4.0	-
上がる幅	(n=1,191)	15.9	51.0	26.7	6.0	0.3

2. 貯蓄について

(1) 世帯の貯蓄状況

- 世帯の現在の貯蓄状況について尋ねたところ、「あまり貯蓄額は変わっていない」が47.8%で最も多く、「貯蓄を取り崩している」は37.2%、「貯蓄を増やしている」は12.4%であった。

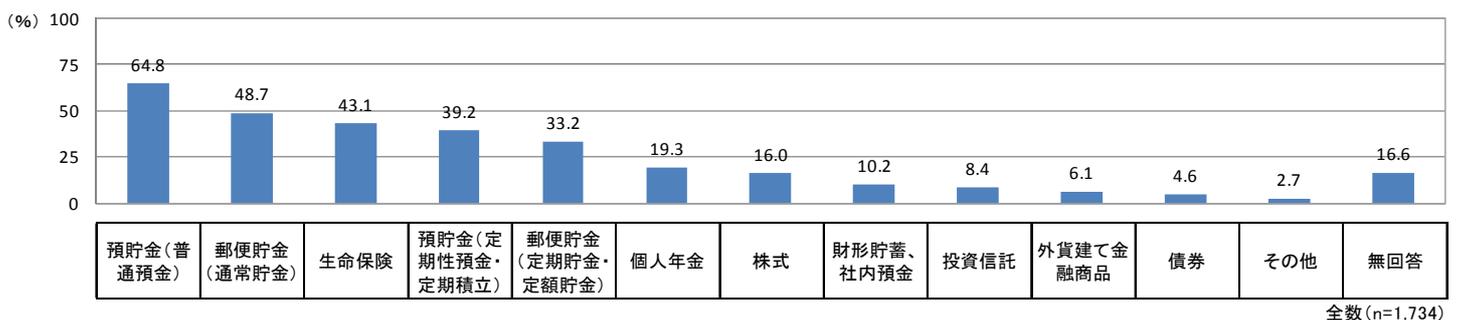
(図表 2-1) 世帯の貯蓄状況 (問 8)



(2) 世帯で保有している預貯金・金融商品

- 世帯で保有している預貯金・金融商品 (複数回答) では、「預貯金 (普通預金)」が64.8%で最も多く、次いで「郵便貯金 (通常貯金)」(48.7%) と、普通・通常預貯金が上位を占めている。以降、「生命保険」(43.1%)、「預貯金 (定期性預金・定期積立)」(39.2%)、「郵便貯金 (定期貯金・定額貯金)」(33.2%) の順でそれに続いている。

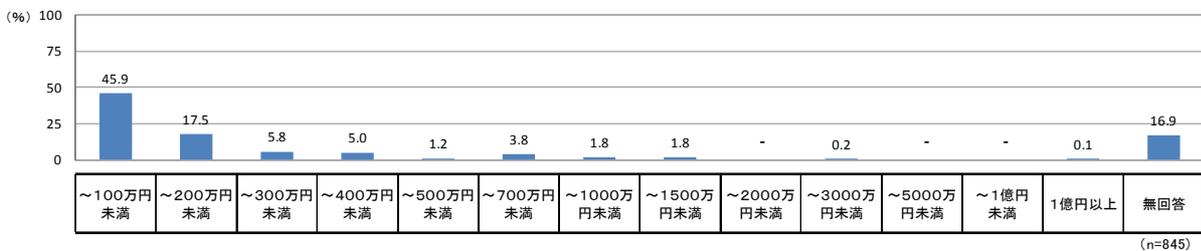
(図表 2-2) 保有している預貯金・金融商品 (問 9 (1)、複数回答)



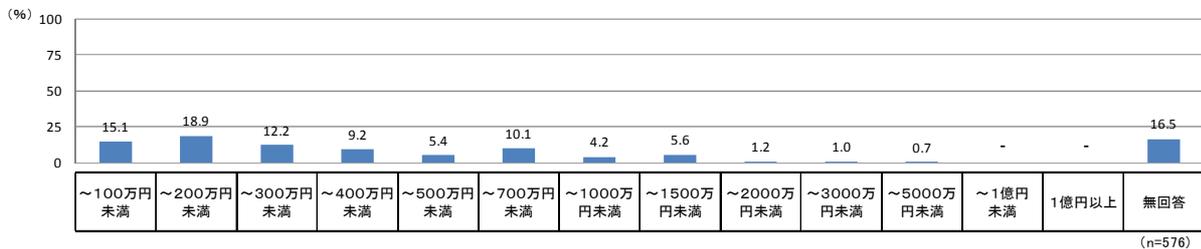
(3) 保有している預貯金・金融商品の現在高

- 郵便貯金（通常貯金）を保有している人（845人）の現在高は、「100万円未満」が45.9%で最も多く、「100～200万円未満」（17.5%）がそれに続き、『200万円未満』で6割を占める。
- 郵便貯金（定期貯金・定額貯金）を保有している人（576人）の現在高は、「100～200万円未満」が18.9%で最も多く、『300万円未満』が5割弱を占めている。
- 預貯金（普通預金）を保有している人（1,123人）の現在高は、「100万円未満」が26.4%で最も多く、「100～200万円未満」が20.8%でともに2割台を占めている。
- 預貯金（定期性預金・定期積立）を保有している人（680人）の現在高は、「100～200万円未満」が13.1%、「100万円未満」が12.6%、「500～700万円未満」が11.8%でいずれも1割台を占めている。

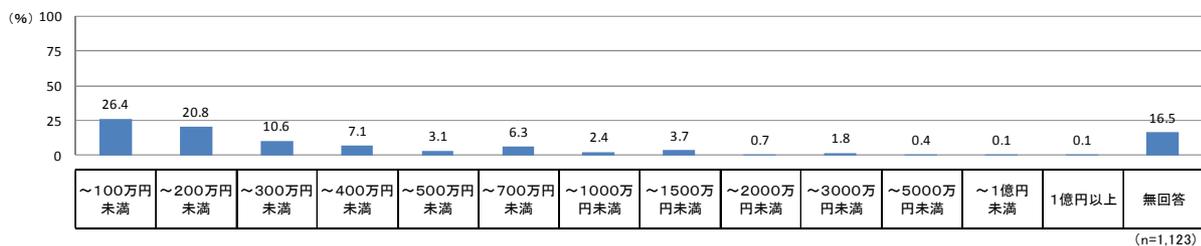
(図表2-3) 郵便貯金（通常貯金）の現在高（問9(2)①）



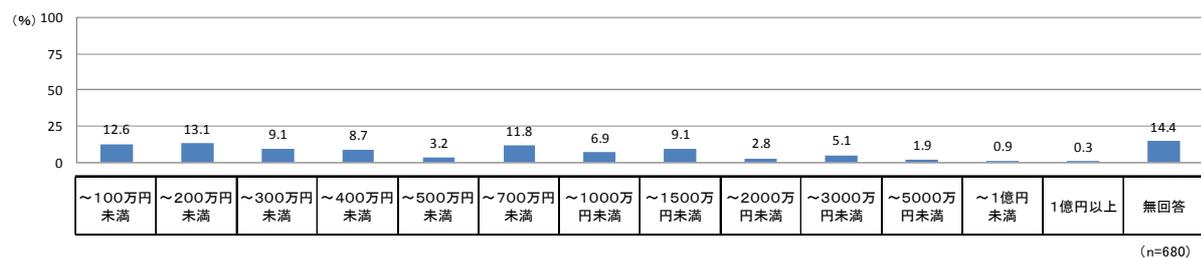
(図表2-4) 郵便貯金（定期貯金・定額貯金）の現在高（問9(2)②）



(図表2-5) 預貯金（普通預金）の現在高（問9(2)③）

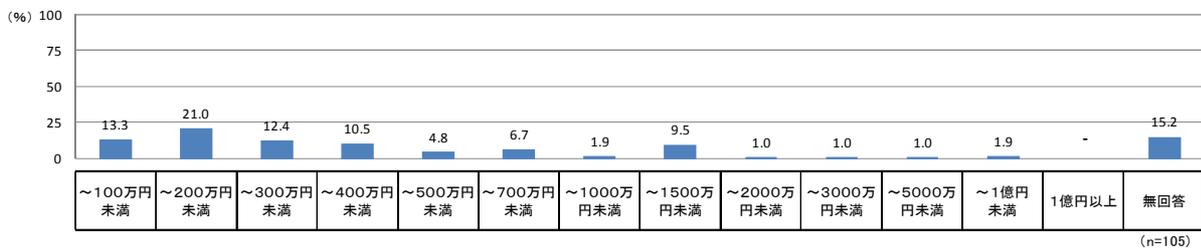


(図表2-6) 預貯金（定期性預金・定期積立）の現在高（問9(2)④）

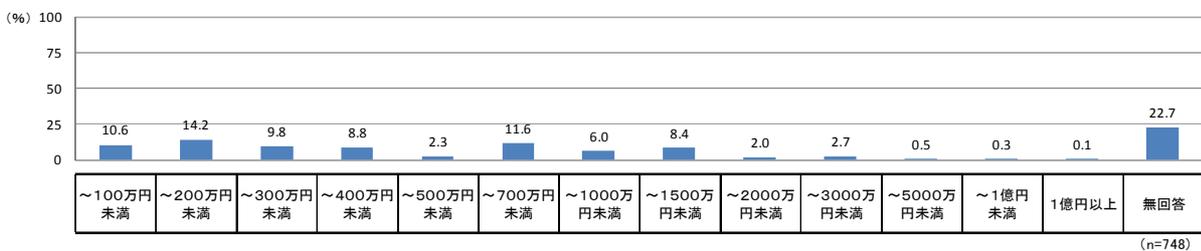


- 外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等）を保有している人（105人）の現在高は、「100～200万円未満」が21.0%で最も多く、「100万円未満」（13.3%）、「200～300万円未満」（12.4%）、「300～400万円未満」（10.5%）はともに1割台でそれに続いている。
- 生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）を保有している人（748人）の現在高は、「100～200万円未満」が14.2%、「500～700万円未満」が11.6%、「100万円未満」が10.6%で、ともに1割台を占めている。
- 個人年金（公的年金の保険料は含まず）を保有している人（335人）の現在高は、「100万円未満」（14.3%）、「100～200万円未満」、「200～300万円未満」（ともに14.0%）、「500～700万円未満」（11.0%）がともに1割台を占めている。

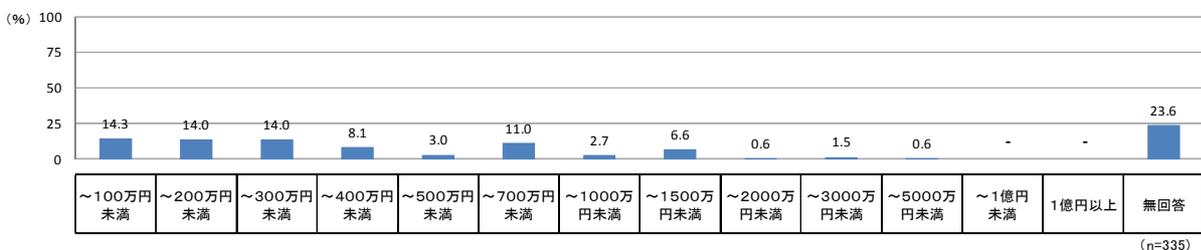
（図表2-7）外貨建て金融商品（外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等）の現在高（問9(2)⑤）



（図表2-8）生命保険（定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含まず）の現在高（問9(2)⑥）

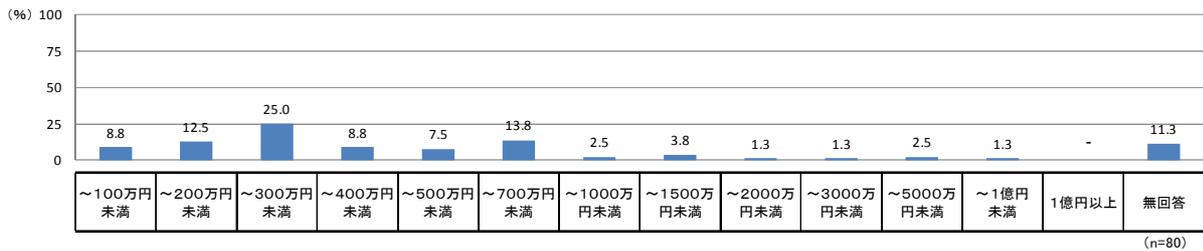


（図表2-9）個人年金（公的年金の保険料は含まず）の現在高（問9(2)⑦）

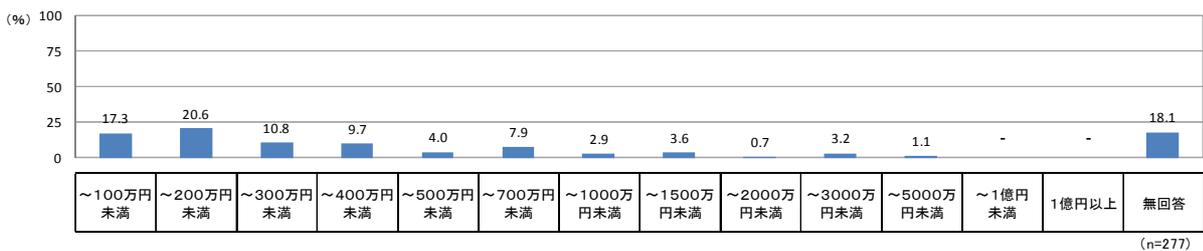


- 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)を保有している人(80人)の現在高は、「200～300万円未満」が25.0%で最も多い。次に「500～700万円未満」が13.8%となっており、『700万円未満』で全体の8割弱を占めている。
- 株式(従業員持株制度による株式を含む)を保有している人(277人)の現在高は、「100～200万円未満」が20.6%で最も多く、次に「100万円未満」が17.3%となっている。
- 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)を保有している人(145人)の現在高は、「100～200万円未満」が20.0%で最多となっており、「100万円未満」が16.6%、「500～700万円未満」が13.8%でそれに続いている。
- 財形貯蓄、社内預金を保有している人(177人)の現在高は、「100～200万円未満」が24.9%、「100万円未満」が23.7%でともに2割台で、『200万円未満』までが全体のほぼ半分を占めている。
- その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の金融商品を保有している人(47人)の現在高は、「100万円未満」、「100～200万円未満」、「200～300万円未満」がともに14.9%である。

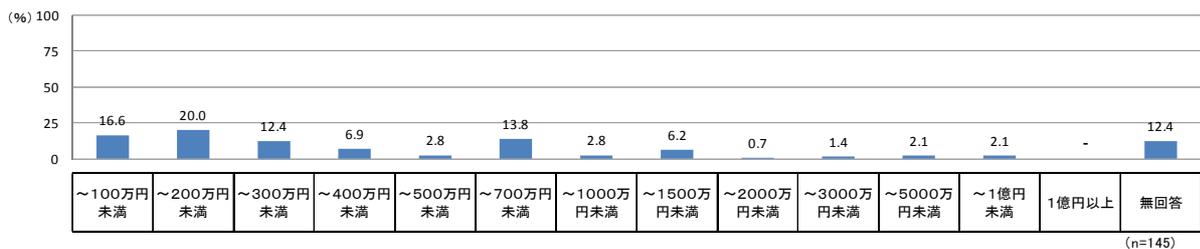
(図表2-10) 債券(国債、金融債(ワイドを含む)、社債等)の現在高(問9(2)⑧)



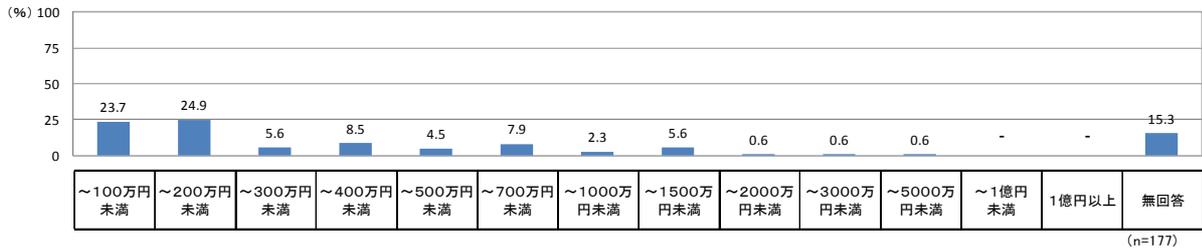
(図表2-11) 株式(従業員持株制度による株式を含む)の現在高(問9(2)⑨)



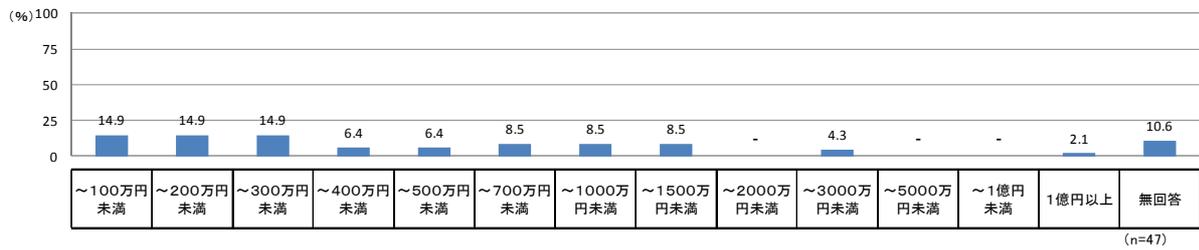
(図表2-12) 投資信託(公社債投信、株式投信、MMF、REIT等)の現在高(問9(2)⑩)



(図表 2-13) 財形貯蓄、社内預金の現在高 (問 9 (2) ⑪)



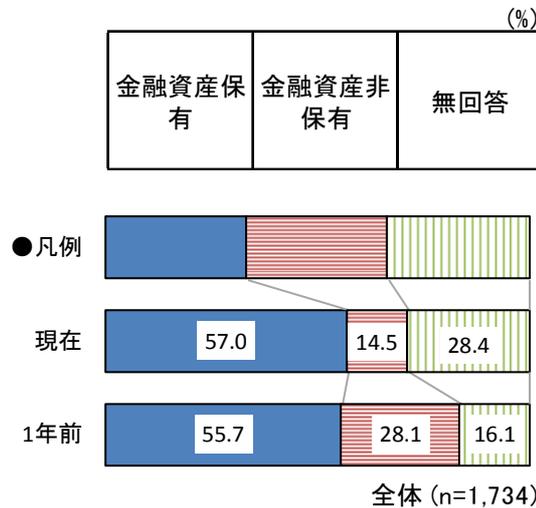
(図表 2-14) その他(貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等)の現在高 (問 9 (2) ⑫)



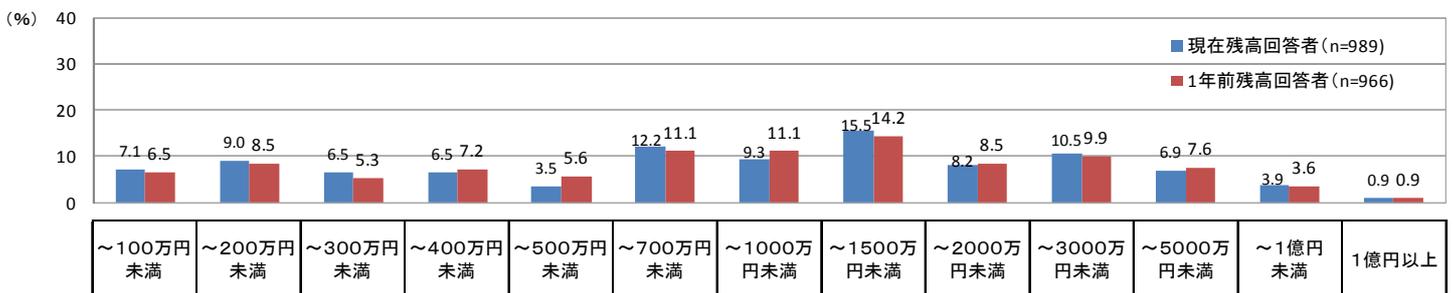
(4) 金融資産の世帯保有状況

- 現金や決済性預金を含めた金融資産の世帯保有状況は、現在 57.0%が保有、1年前は 55.7%が保有しており、大きな変化は見られない。なお、無回答者が現在 28.4%、1年前は 16.1%を占めていることに留意されたい。
- 現在保有残高を回答した人（989人）の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」が 15.5%で最も多く、「500～700万円未満」が 12.2%、「2000～3000万円未満」が 10.5%で、これに続いている。
- 1年前の保有残高を回答した人（966人）の1年前の現金や決済性預金を含めた世帯金融資産残高は、「1000～1500万円未満」が 14.2%で最も多く、「500～700万円未満」「700～1000万円未満」がともに 11.1%で、これに続いている。

(図表 2-15) 現在・1年前の金融資産 世帯保有状況有無 (問 10(1)(2))



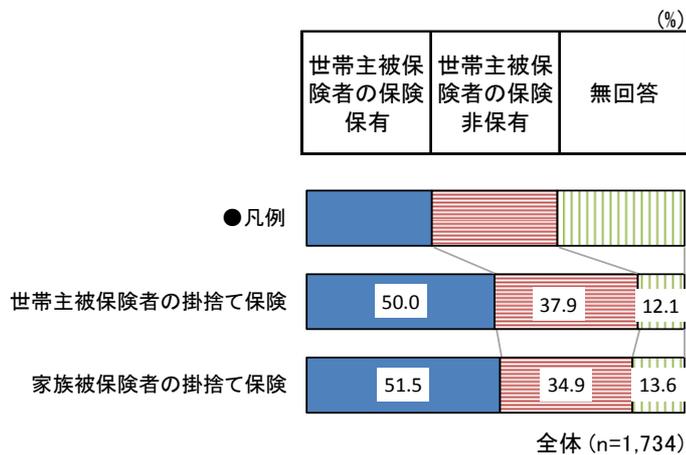
(図表 2-16) 現在・1年前世帯保有の金融資産残高 (問 10(1)(2))



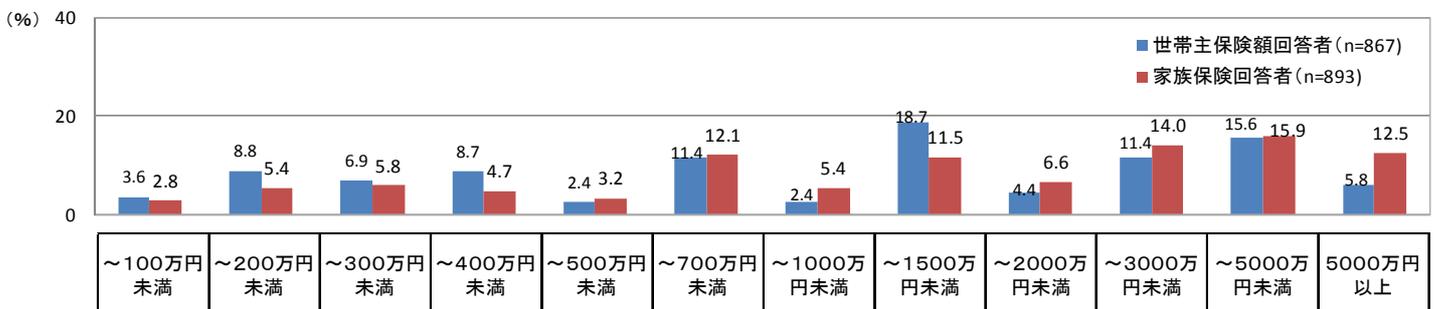
(5) 保険商品の保有状況

- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険を保有しているのは50.0%で、非保有37.9%を上回っている。世帯主を含む家族の掛け捨て保険の保有有無を見ると、51.5%が保有し、34.9%が保有していない。
- 世帯主が被保険者となっている掛け捨て保険に入っている世帯(867人)の死亡保障金額は、「1000～1500万円未満」が18.7%で最も多く、次いで「3000～5000万円未満」が15.6%、「500～700万円未満」と「2000～3000万円未満」がともに11.4%でそれに続いている。
- 世帯主を含む家族が掛け捨て保険に入っている世帯(893人)の家族全員の死亡保障合計金額は、「3000～5000万円未満」が15.9%で最も多く、「2000～3000万円未満」(14.0%)、「500～700万円未満」(12.1%)の順でそれに続く。

(図表2-17 世帯主被保険者・家族被保険者の掛け捨て保険 保有有無 (問11(1)、(2)))



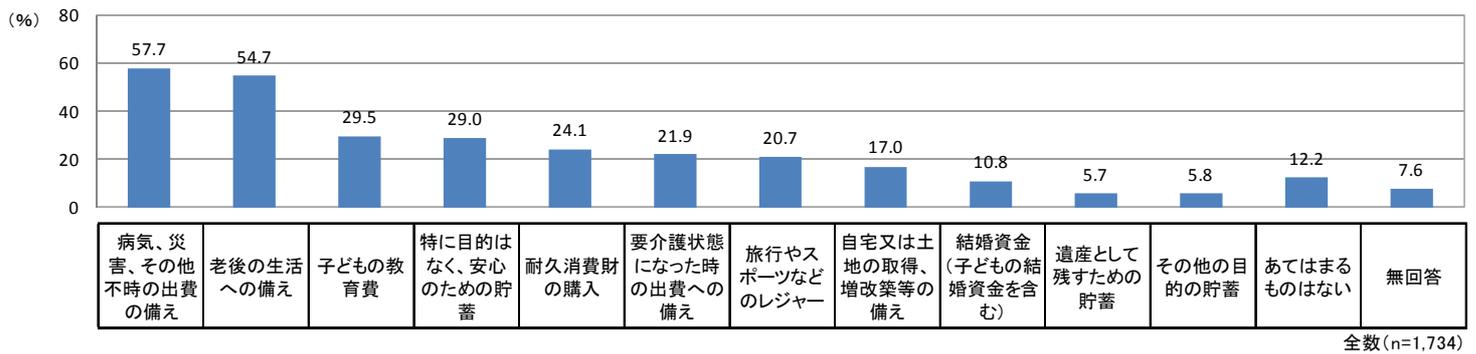
(図表2-18) 世帯主保有掛け捨て保険・家族保有掛け捨て保険死亡保障金額 (問11(1)、(2))



(6) 世帯貯蓄の目的

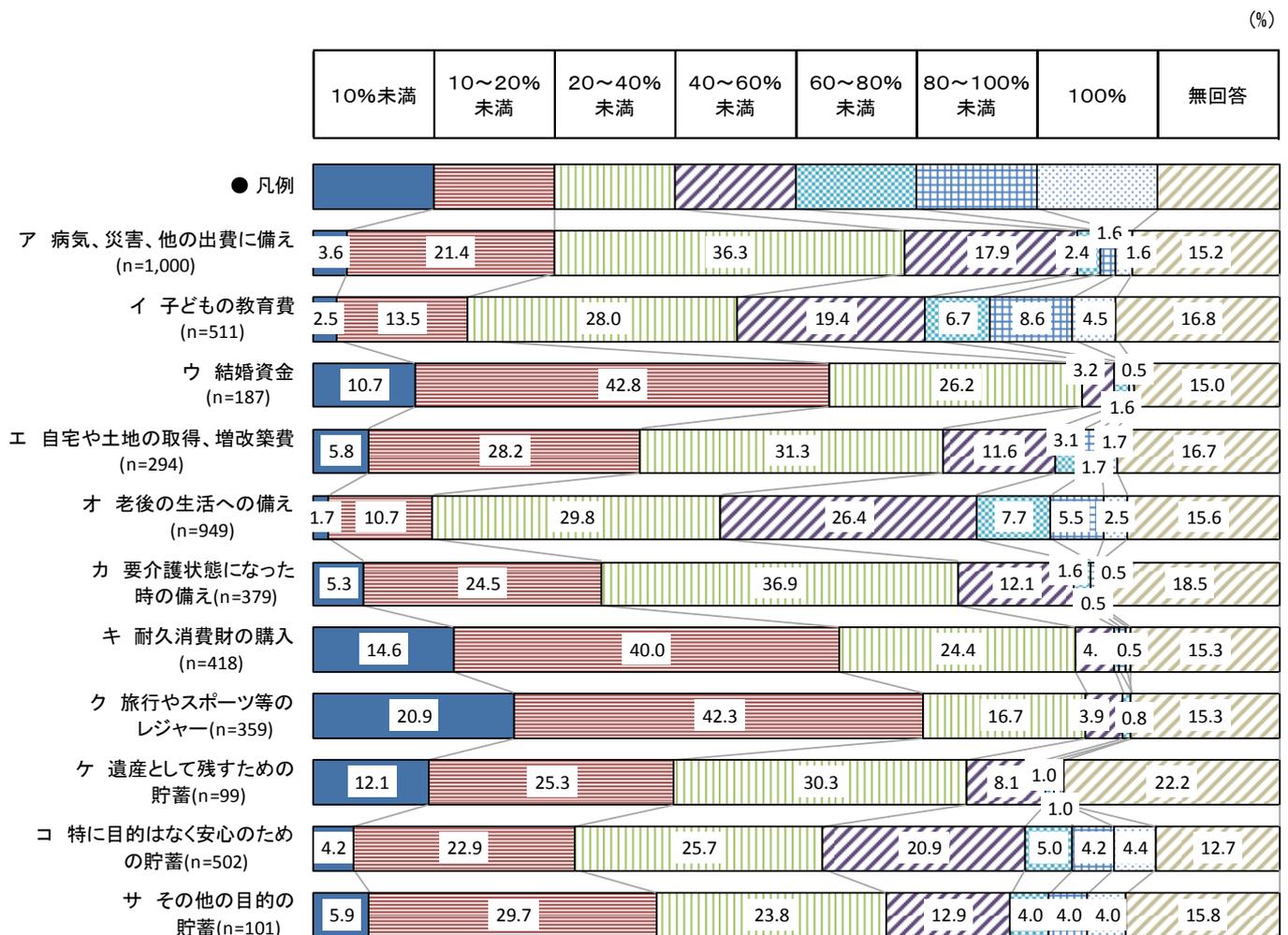
- 世帯で貯蓄している目的を複数回答で尋ねたところ、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が57.7%で最も多く、僅差で「老後の生活への備え」が54.7%であり、ともに5割台で特に高い。「子どもの教育費」は29.5%であった。ほとんどの貯蓄が目的を持って行われているが、「特に目的はなく、安心のための貯蓄」が29.0%を占めている。

(図表 2-19) 貯蓄の目的 (問12(1)、複数回答)



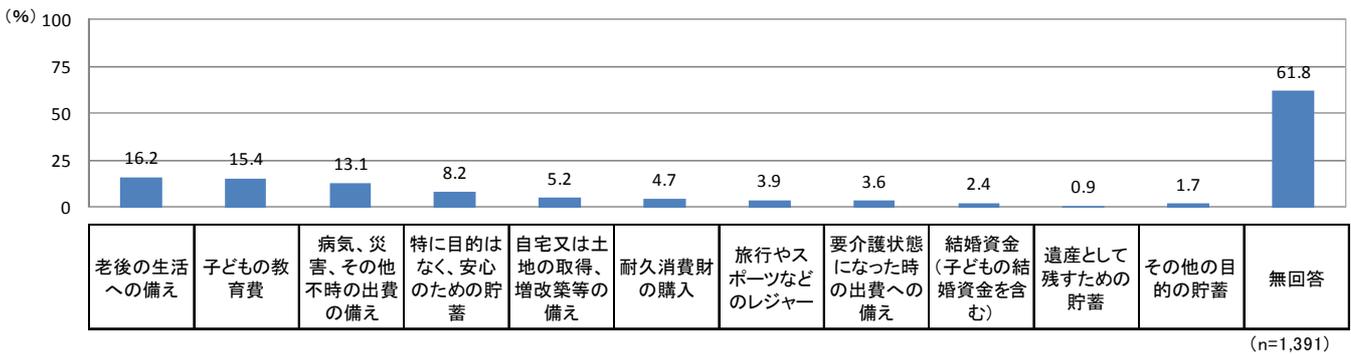
- 各目的が貯蓄総額に占める割合を尋ねたところ、最も保有率の多かった「病気、災害、その他不時の出費への備え」として貯蓄を行っている世帯（1,000人）の割り当て率は、「20～40%未満」が36.3%で最も多く、次いで「10～20%未満」（21.4%）、「40～60%未満」（17.9%）の順であった。次に保有率の多かった「老後の生活への備え」として貯蓄を行っている世帯（949人）の割り当て率は、「20～40%未満」が29.8%、次いで「40～60%未満」が26.4%であった。
- 「40～60%未満」の比較的高い割り当て率が2割を超える貯蓄目的は、「オ 老後の生活への備え」（26.4%）、「コ 特に目的はなく、安心のための貯蓄」（20.9%）であった。逆に、割り当て率が「10%未満」の世帯が2割を超えるのは「ク 旅行やスポーツなどのレジャー」（20.9%）であった。

(図表2-20) 各貯蓄が総額に占める割合 (問12(2))

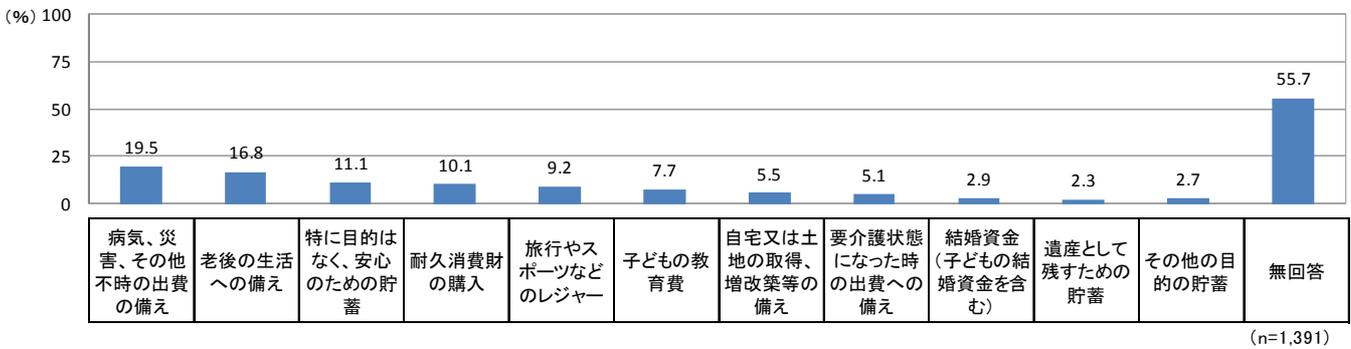


- 貯蓄目的がある人（1,391人）に、1年前に比べて金額が増えた貯蓄（複数回答）を尋ねたところ、「老後の生活への備え」が16.2%で最も多く、次に「子どもの教育費」（15.4%）、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が13.1%で、この3つの目的がともに1割以上の回答であった。
- 貯蓄目的がある人（1,391人）に、1年前に比べて金額が減った貯蓄（複数回答）は、「病気、災害、その他不時の出費の備え」が19.5%で最も多く、次に「老後の生活への備え」が16.8%、「特に目的はなく、安心のための貯蓄」が11.1%、「耐久消費財の購入」が10.1%の順で続き、この4つの目的がともに1割以上の回答であった。

（図表2-21）1年前に比べて増えた貯蓄（問12(3)、複数回答）



（図表2-22）1年前に比べて減った貯蓄（問12(4)、複数回答）

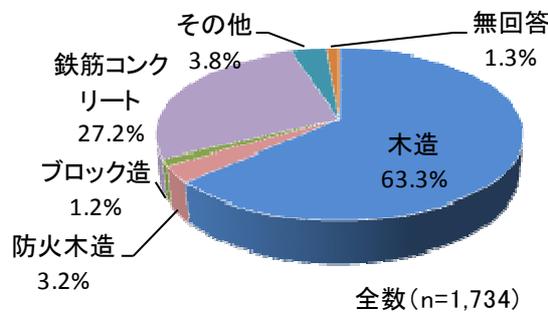


3. 住居について

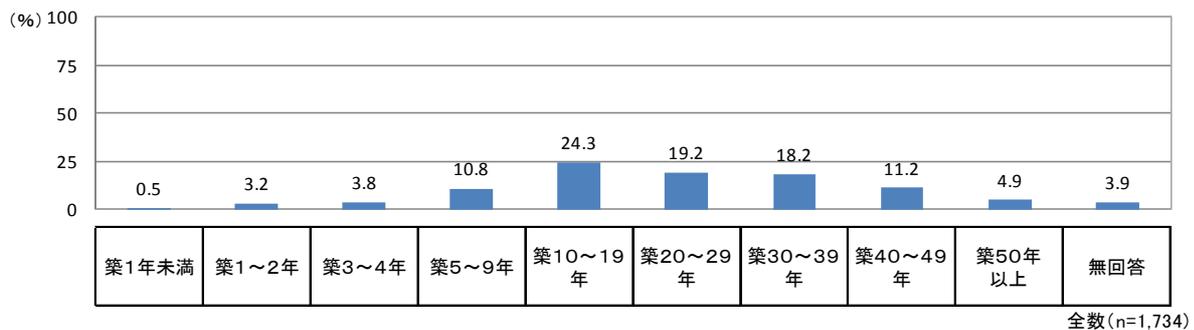
(1) 現在の住居の構造・築年数・面積

- 現在の住居の構造は「木造」が63.3%と全体の6割強を占めて最も多く、次いで「鉄筋コンクリート」が27.2%となっている。
- 現在の住居の築年数は「築10～19年」が24.3%と最も多く、次に「築20～29年」が19.2%、「築30～39年」が18.2%の順となっている。
- 現在の住居の敷地面積は「200～300㎡未満」が12.6%で最も多く、次に「150～200㎡未満」が10.8%、「300～500㎡未満」が10.4%の順となっている。
- 現在の住居の床面積は「50～100㎡未満」が27.7%で最も多く、「100～150㎡未満」の22.1%がそれに続いて多い。

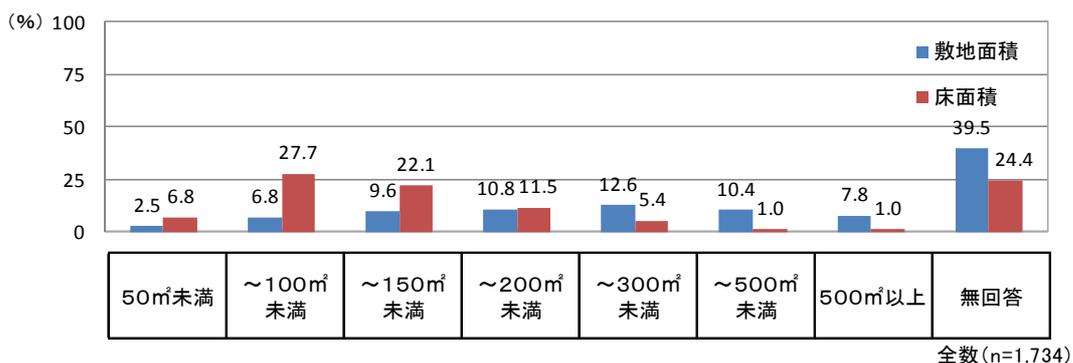
(図表3-1) 現在の住居の構造 (問13)



(図表3-2) 現在の住居の築年数 (問13-1)



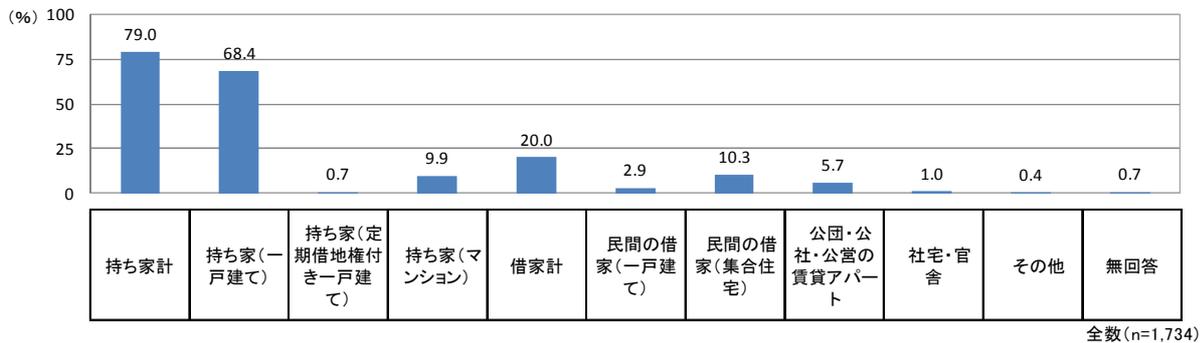
(図表3-3) 敷地面積・床面積 (問13-2)



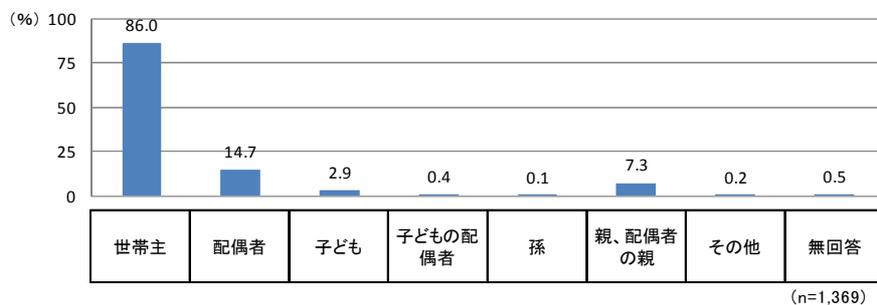
(2) 現在の住居の住居形態・所有者・取得方法・取得時期

- 現在の住居の住居形態は『持ち家計』は79.0%を占め、『借家計』(20.0%)を大きく上回っている。『持ち家計』の内訳では、「持ち家(一戸建て)」が68.4%であり、持ち家の大半を占めている。『借家計』の内訳では、「民間の借家(集合住宅)」が10.3%で最も多い。
 * 『持ち家計』は「持ち家(一戸建て)」、「持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)」、「持ち家(マンション)」の合計。
 『借家計』は「民間の借家(一戸建て)」「民間の借家(マンション、アパート等の集合住宅)」「公団・公社・公営の賃貸アパート」「社宅・官舎」の合計
- 持ち家に居住している世帯(1,369人)に現在の住居(建物)の所有者を複数回答で尋ねたところ、「世帯主」との回答が86.0%と圧倒的に多く、次いで「配偶者」が14.7%であった。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯(1,249人)に、住居建物の取得方法を尋ねたところ、「購入した」との回答が80.3%で最も多く、「相続または譲渡を受けた」人は18.3%であった。
- 世帯主または配偶者所有の持ち家に居住している世帯(1,249人)に、住居建物を購入・相続・譲渡した時期を尋ねたところ、「10～15年未満」が16.7%で最も多く、次に「5～10年未満」(14.7%)、「30～40年未満」(12.0%)、「15～20年未満」(11.5%)が1割台でこれに続いている。

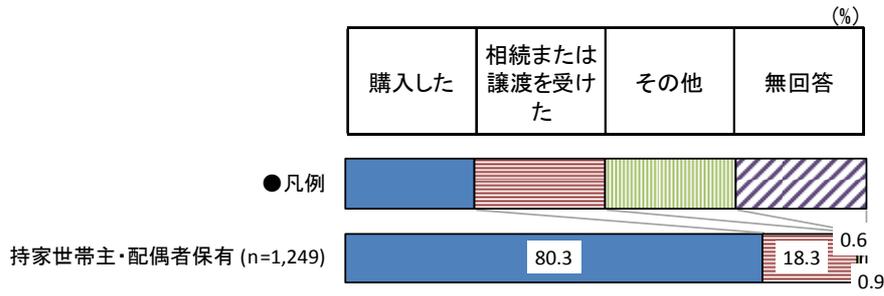
(図表3-4) 現在の住居の住居形態 (問14)



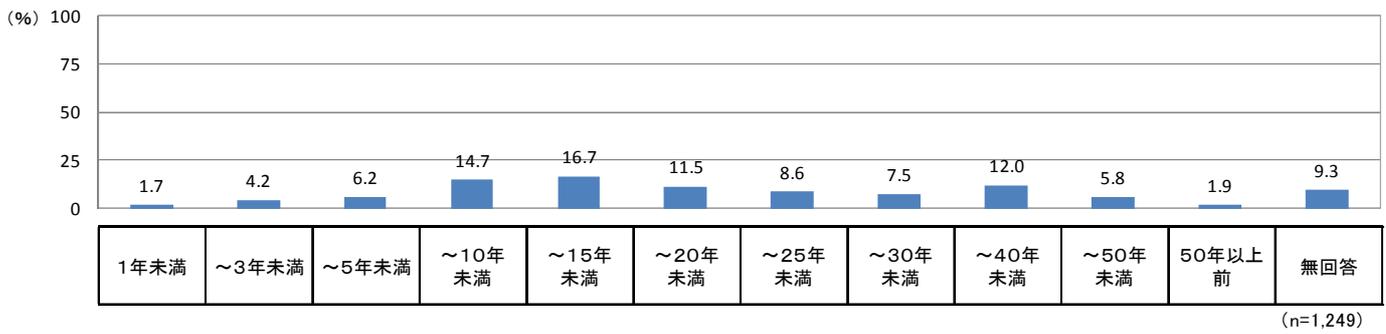
(図表3-5) 現在の住居建物の所有者 (問14-1、複数回答)



(図表 3 - 6) 現住の住居建物の取得方法 (問 1 4 - 2)



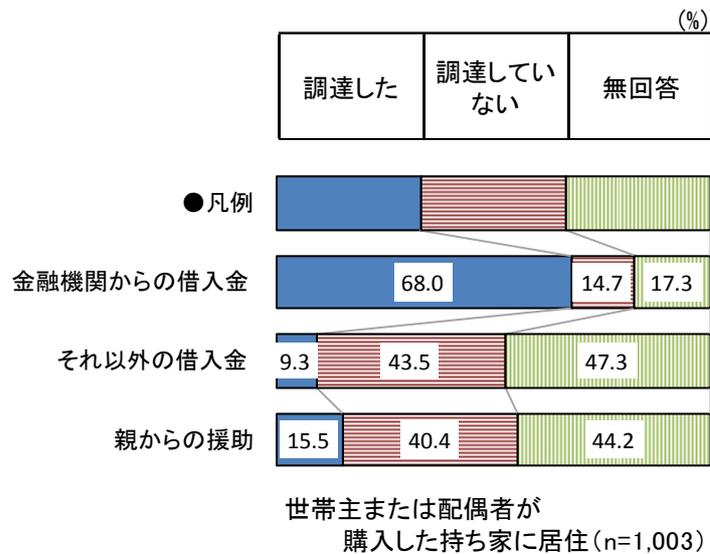
(図表 3 - 7) 住居の建物を購入、相続、譲渡した時期 (問 1 4 - 3)



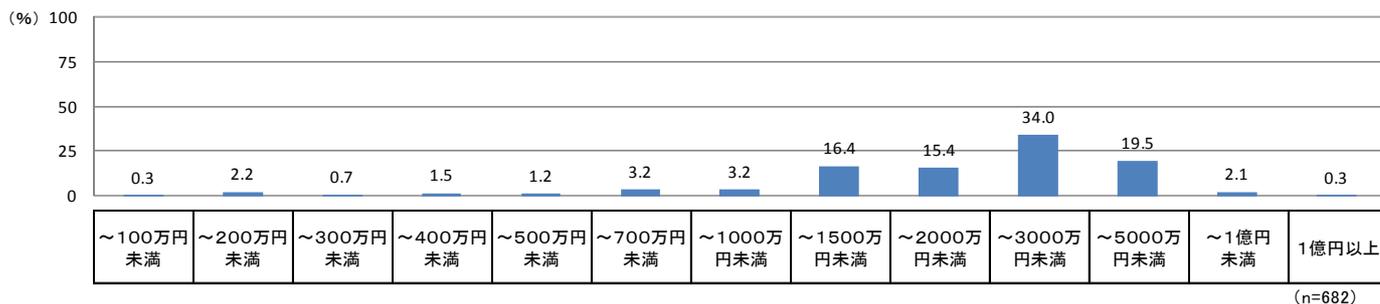
(3) 住居の購入資金

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯（1,003人）に資金調達の内訳を尋ねたところ、金融機関からの借入金で調達したのは68.0%、それ以外の借入金で調達したのは9.3%、親からの援助を受けたのは15.5%であった。
- 金融機関からの借入金で調達した世帯（682人）の借入金は、「2000～3000万円未満」が34.0%で最も多く、「3000～5000万円未満」が19.5%、「1000～1500万円未満」が16.4%、「1500～2000万円未満」が15.4%の順で続いている。
- それ以外の借入金で調達した世帯（93人）の借入金は、「500～700万円未満」が21.5%で最も多く、次に「300～400万円未満」が15.1%、「1000～1500万円未満」が14.0%の順で続いている。
- 親からの援助で調達した世帯（155人）の借入金は、「1000～1500万円未満」が18.7%で最も多く、「500～700万円未満」が15.5%、「300～400万円未満」が14.2%の順で続く。

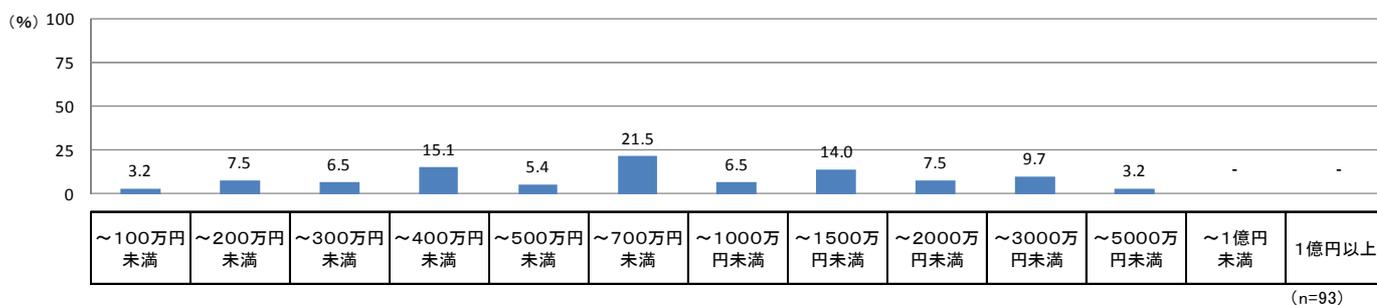
(図表3-8) 購入資金調達有無
(問14-4①、問14-4②、問14-4③)



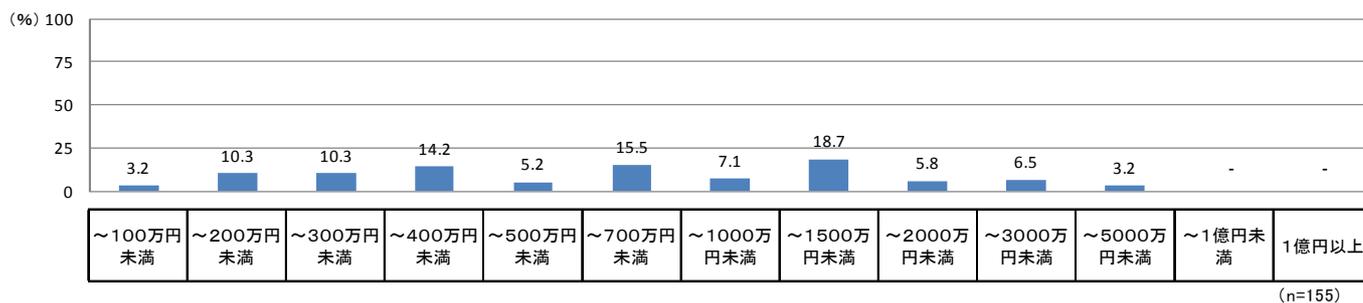
(図表3-9) 資金調達内訳（金融機関からの借入金）（問14-4①）



(図表3-10) 資金調達内訳（金融機関以外の借入金）（問14-4②）



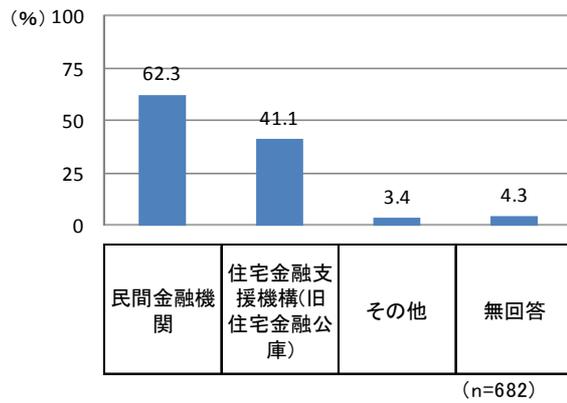
(図表3-11) 資金調達内訳（親からの援助）（問14-4③）



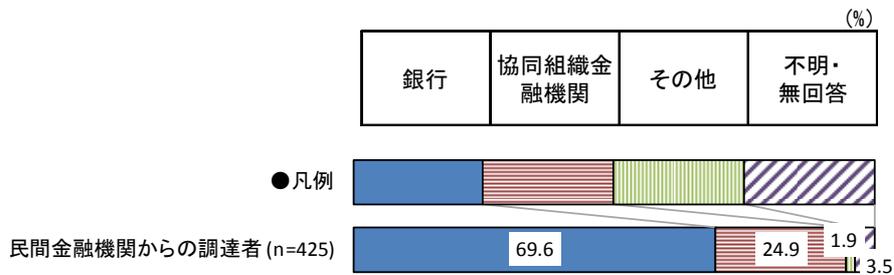
(4) 現在の住居の購入資金調達先

- 世帯主または配偶者が購入した持ち家に居住している世帯のうち、金融機関からの借入金で調達した世帯（682人）が主に調達した金融機関を複数回答で尋ねたところ、「民間金融機関」が62.3%、「住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)」が41.1%であった。
- 「民間金融機関」で主に調達した世帯（425人）の調達機関の内訳として記載のあった自由回答を整理したところ、「銀行」が69.6%を占めて最も多く、「協同組織金融機関」は24.9%であった。

(図表3-12) 主に調達した金融機関（問14-5、複数回答）



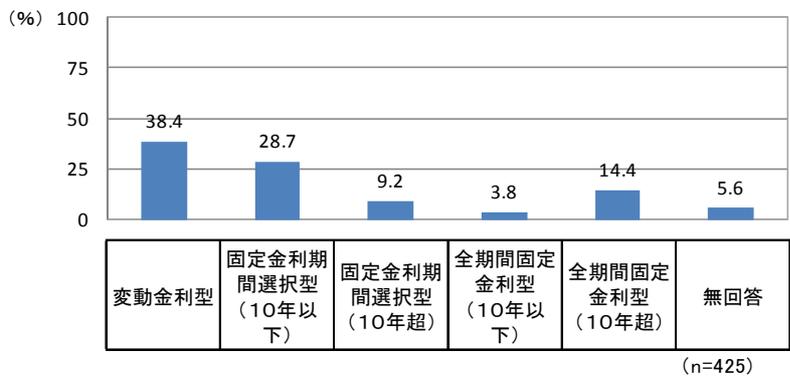
(図表3-13) 主に調達した民間の金融機関（問14-6）



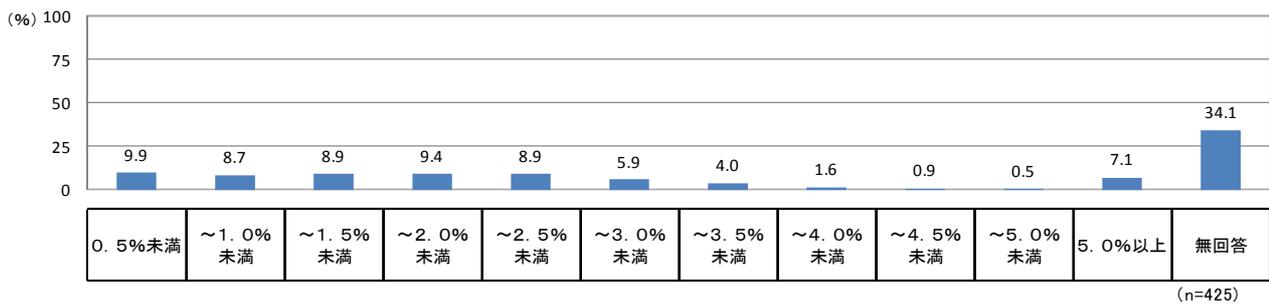
(5) 民間金融機関からの借入金の金利

- 主に「民間金融機関」から調達した世帯(425人)の借入金の金利タイプは、「変動金利型」が38.4%と最も多く、次いで「固定金利期間選択型(10年以下)」(28.7%)、「全期間固定金利型(10年超)」は14.4%、「固定金利期間選択型(10年超)」は9.2%、「全期間固定金利型(10年以下)」は3.8%であった。
- また、民間金融機関からの借入金利率としては、「0.5%未満」であった世帯が9.9%、次いで「1.5~2.0%未満」が9.4%、「1.0~1.5%未満」および「2.0~2.5%未満」がともに8.9%、「0.5~1.0%未満」が8.7%の順で並んでいる。

(図表3-14) 民間金融機関からの借入金の金利タイプ (問14-7)



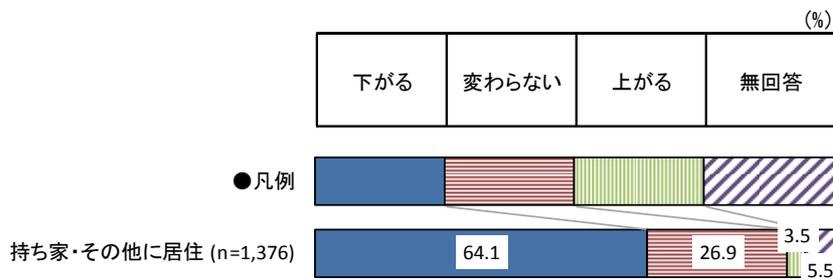
(図表3-15) 民間金融機関からの借入金の金利 (問14-8)



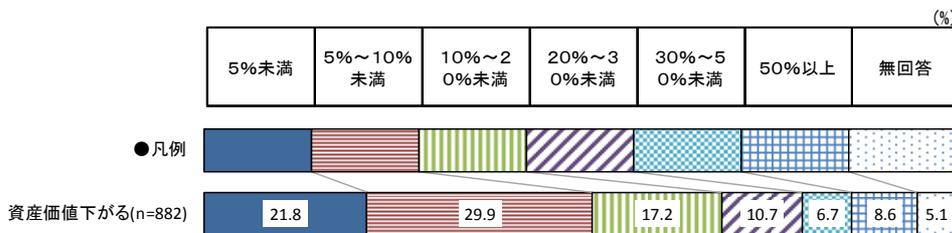
(6) 現在の住居の3年後の資産価値

- 現在の住居が持ち家またはその他（借家以外）の世帯（1,376人）に、現在の住居の3年後の資産価値がどのようになると思うかを尋ねたところ、「下がる」との回答は64.1%で過半数を占めた。「変わらない」との回答は26.9%、「上がる」は3.5%であった。
- 資産価値が「下がる」と回答した人（882人）に、下落幅の程度を尋ねたところ、「5%～10%未満」との回答が29.9%で最も多く、「5%未満」が21.8%、「10%～20%未満」が17.2%でこれに続いている。
- 資産価値が「上がる」と回答した人（48人）に、上昇幅の程度を尋ねたところ、「5%未満」との回答が43.8%、次いで「5%～10%未満」が37.5%であった。

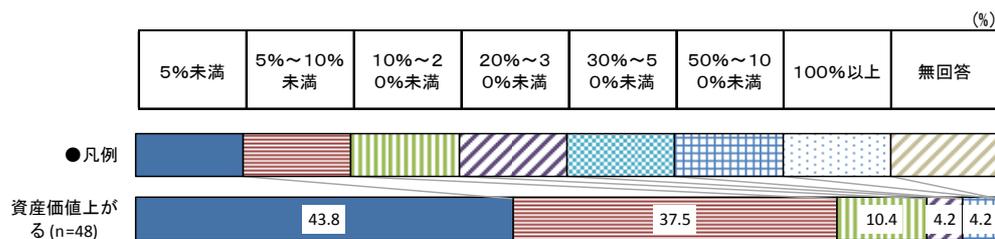
(図表3-16) 現在の住居の3年後の資産価値（問15）



(図表3-17) 現在の住居の3年後の資産価値下落幅（問15-1）



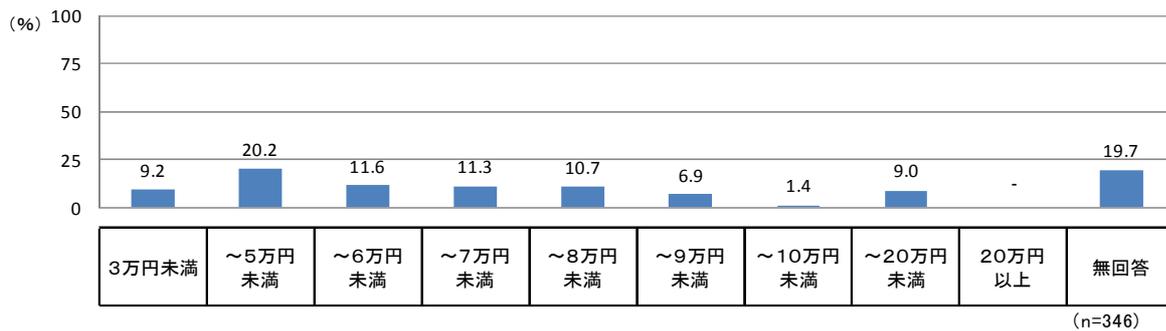
(図表3-18) 現在の住居の3年後の資産価値上昇幅（問15-2）



(7) 現在の住居の家賃

- 現在賃貸住宅または社宅・官舎に居住している世帯（346人）に現在の住居のひと月の家賃（共益費、管理費を含む）を尋ねたところ、「3～5万円未満」が20.2%と最も多く、次に、「5～6万円未満」が11.6%、「6～7万円未満」が11.3%、「7～8万円未満」が10.7%の順であった。

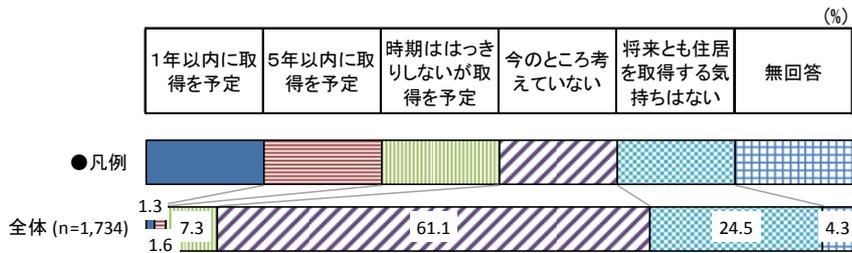
(図表3-19) 現在の住居の家賃（問16）



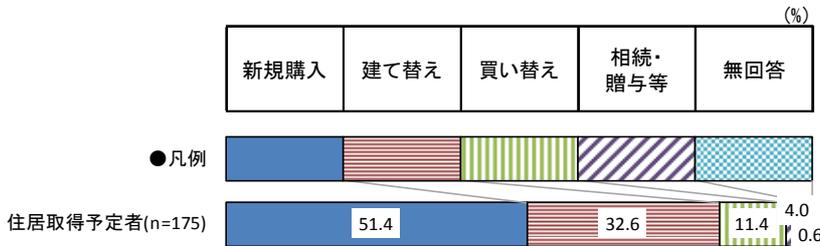
(8) 住居の取得予定

- 住居の取得（建て替え、買い替えなどを含む）予定について尋ねたところ、「住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない」が61.1%で最も多く、次いで「将来とも住居を取得する気持ちはない」が24.5%であった。一方、時期未定を含めた取得予定世帯は合計10.1%であった。
- 取得予定世帯（175人）の住居の取得方法としては、「新規購入」が51.4%で全体の半数を占め、次に「建て替え」が32.6%、「買い替え」が11.4%となっている。
- 新規購入、建て替え、買い替えのいずれかによる取得予定世帯（175人）において、金融機関からの借入金で調達予定がある人は41.7%、それ以外の借入金で調達予定がある人は4.0%、親からの援助で調達予定がある人は9.7%であった。
- 金融機関からの調達予定者（73人）の借入金予定額は、「2000～3000万円未満」が43.8%で最も多く、次いで「3000～5000万円未満」が21.9%、「1000～1500万円未満」が16.4%となっている。

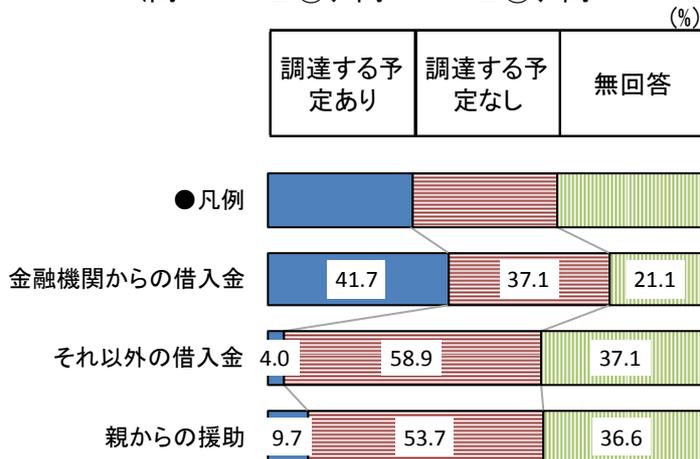
(図表3-20) 住居の取得予定 (問17)



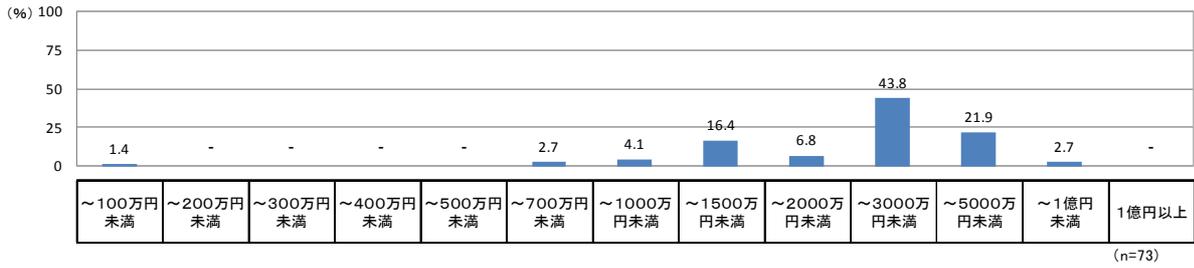
(図表3-21) 取得予定の住居の取得方法 (問17-1)



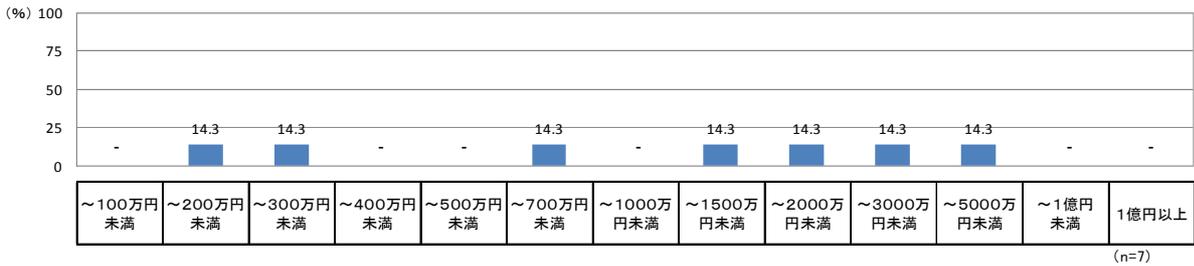
(図表3-22) 資金調達予定有無
(問17-2①、問17-2②、問17-2③)



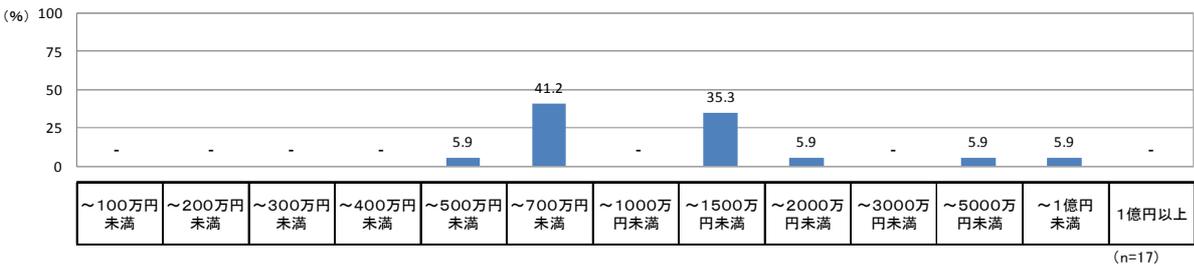
(図表 3-23) 資金調達内訳 (金融機関) (問 17-2①)



(図表 3-24) 資金調達内訳 (金融機関以外) (問 17-2②)

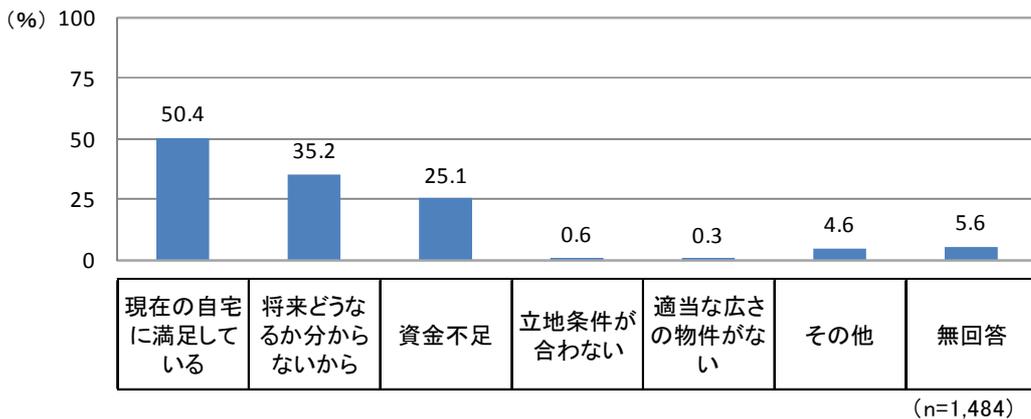


(図表 3-25) 資金調達内訳 (親からの援助) (問 17-2③)



- 取得予定のない世帯 (1,484人) に住居取得を考えない理由を複数回答で尋ねたところ、「現在の自宅に満足している」が 50.4% で全体の半数を占めたほか、「将来どうなるか分からないから」が 35.2%、「資金不足」が 25.1% であった。

(図表 3-26) 住居取得を考えない理由 (問 17-3、複数回答)

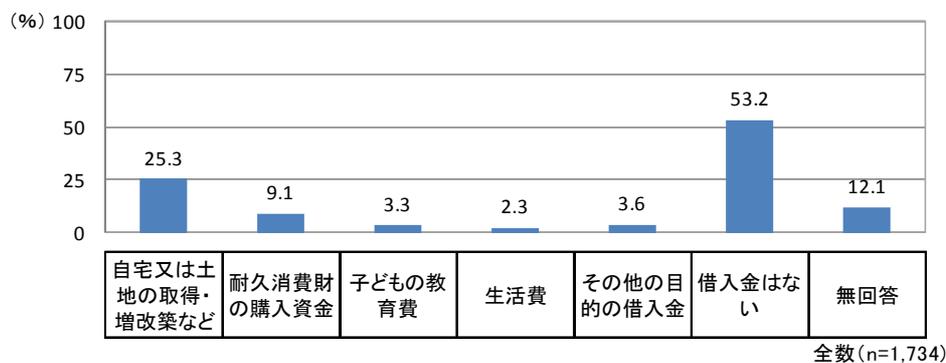


4. 世帯の借入金について

(1) 借入の状況

- 世帯借入の内訳を複数回答で尋ねたところ、「借入金はない」が53.2%と過半数を占めた。一方、「自宅又は土地の取得・増改築など」での借入は25.3%、「耐久消費財の購入資金」での借入は9.1%など、合計34.7%の世帯で借入金がある。
- 自宅又は土地の取得・増改築などで借入がある世帯(438人)の現在借入残高は、「2000～3000万円未満」が21.0%と最も多く、次に「1000～1500万円未満」が16.9%、「1500～2000万円未満」が13.0%となっている。耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入資金で借入がある世帯(157人)の現在借入残高は、「100～200万円未満」(31.8%)と、「100万円未満」(30.6%)がともに3割台で多くなっている。子どもの教育費で借入がある世帯(58人)の現在の借入残高は、「100～200万円未満」(25.9%)、「100万円未満」(24.1%)がともに2割台で多くなっている。その他の目的の借入金がある世帯(63人)の現在の借入残高は、「100万円未満」が22.2%と最も多い。
- 現在借入残高がある世帯(602人)において、1年前に比べて残高が増えた借入目的(複数回答)は、「耐久消費財の購入資金」が6.5%で最も多く、「子どもの教育費」が3.7%、「生活費」2.8%であった。一方、1年前に比べて残高が減った借入目的(複数回答)は、「自宅又は土地の取得・増改築など」が62.0%と多数を占め、「耐久消費財の購入資金」(16.9%)、「その他の目的の借入金」(6.3%)がそれに続く。

(図表4-1) 借入の目的(問18(1)、複数回答)

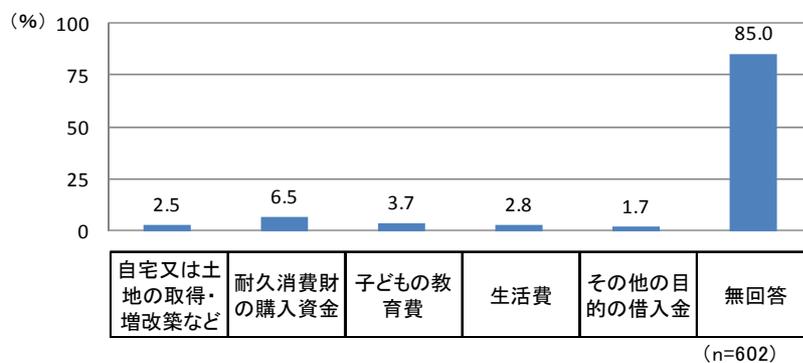


(図表4-2) 借入金の残高 (問18(2))

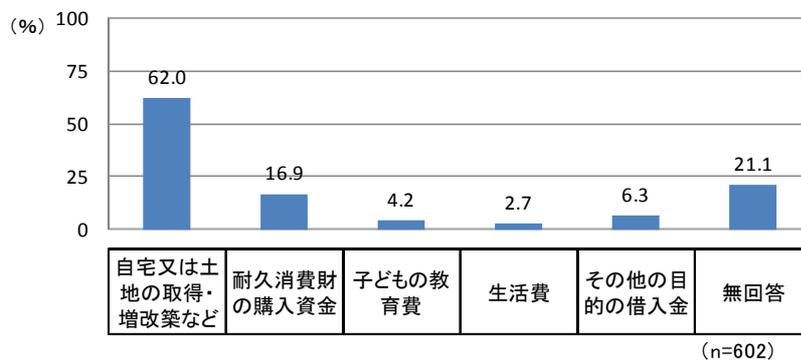
(%)

	自宅又は土地の取得・増改築等 (n=438)	耐久消費財の購入資金 (n=157)	子どもの教育費 (n=58)	生活費 (n=40)	その他の目的の借入金 (n=63)
100万円未満	1.4	30.6	24.1	37.5	22.2
～200万円未満	2.5	31.8	25.9	20.0	15.9
～300万円未満	3.2	13.4	17.2	7.5	15.9
～400万円未満	2.3	7.6	10.3	7.5	4.8
～500万円未満	3.4	1.9	3.4	-	-
～700万円未満	7.8	1.9	3.4	-	6.3
～1000万円未満	6.4	-	1.7	-	4.8
～1500万円未満	16.9	-	-	-	7.9
～2000万円未満	13.0	-	-	-	1.6
～3000万円未満	21.0	-	-	-	6.3
3000万円以上	7.8	-	-	-	9.5
無回答	14.4	12.7	13.8	27.5	4.8

(図表4-3) 1年前に比べて増加した借入金 (問18(3)、複数回答)



(図表 4-4) 1年前に比べて減少した借入金 (問 18(4)、複数回答)

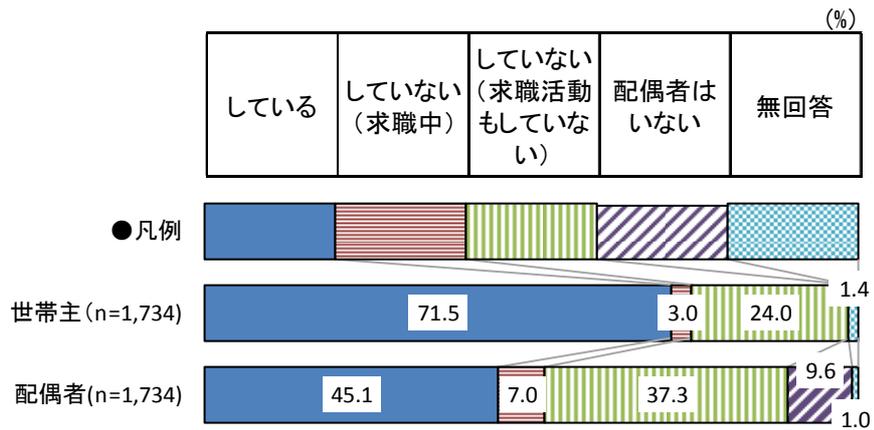


5. 仕事と家計について

(1) 世帯主・配偶者の就労有無

- 世帯主が現在収入をとまなう仕事をしているかについて尋ねたところ、「している」が71.5%で最も多く、「していない(求職活動もしていない)」は24.0%、「していない(求職中)」は3.0%であった。一方、配偶者も、「している」が45.1%と最も多く、次に「していない(求職活動もしていない)」が37.3%、「していない(求職中)」は7.0%であった。

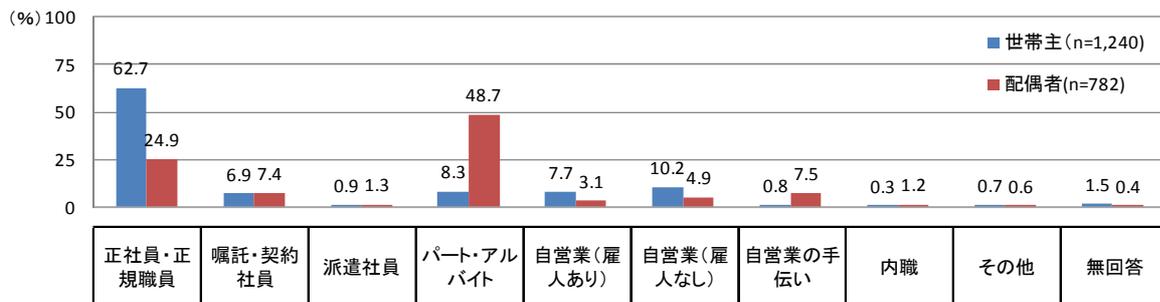
(図表5-1) 世帯主・配偶者の就労有無 (問19・問21)



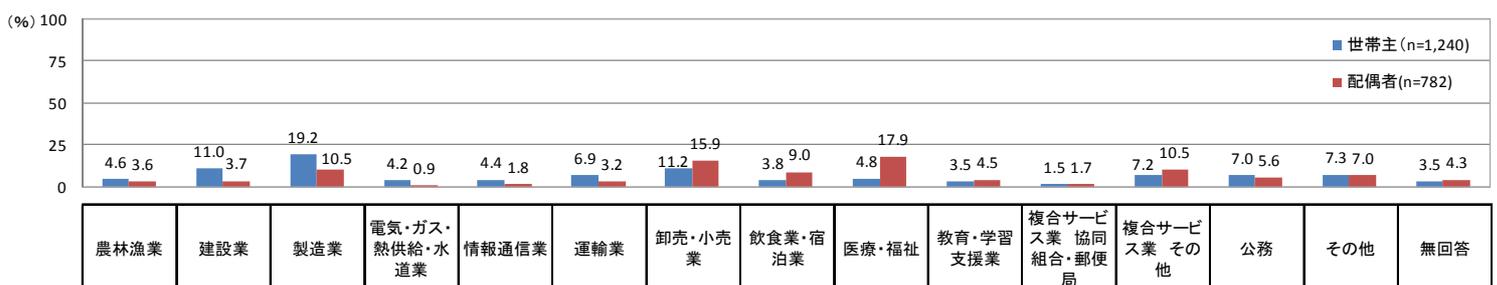
(2) 現在就業中の世帯主・配偶者の就労状況

- 現在就業中の世帯主（1,240人）の雇用形態は、「正社員・正規職員」が62.7%と最も多く、「自営業（雇人なし）」が10.2%でそれに続いている。現在就業中の配偶者（782人）の雇用形態は、「パート・アルバイト」が48.7%で半数弱を占め、「正社員・正規職員」が24.9%でそれに続いている。
- 就業者の業種の内訳は、世帯主は「製造業」が19.2%と最も多く、続いて「卸売・小売業」（11.2%）、「建設業」（11.0%）の順となっている。配偶者は「医療・福祉」が17.9%と最も多く、続いて「卸売・小売業」（15.9%）、「製造業」「複合サービス業 その他」（ともに10.5%）の順となっている。
- 就業者の職種は、世帯主では「技能工・生産工程に関わる職業」が24.1%と最も多く、次に「専門・技術的職業」（15.0%）、「営業・販売の仕事」（13.0%）の順で続いている。配偶者では、「サービスの職業」が22.3%と最も多く、次に「事務的な仕事」（20.2%）、「専門・技術的職業」が19.1%で続いている。

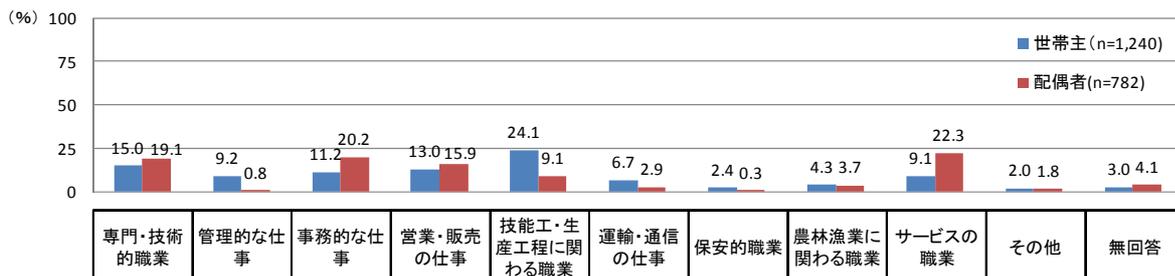
(図表5-2) 就業中世帯主・配偶者の雇用形態（問19-1(1)・問21-1(1)）



(図表5-3) 就業中世帯主・配偶者の業種（問19-1(2)・問21-1(2)）

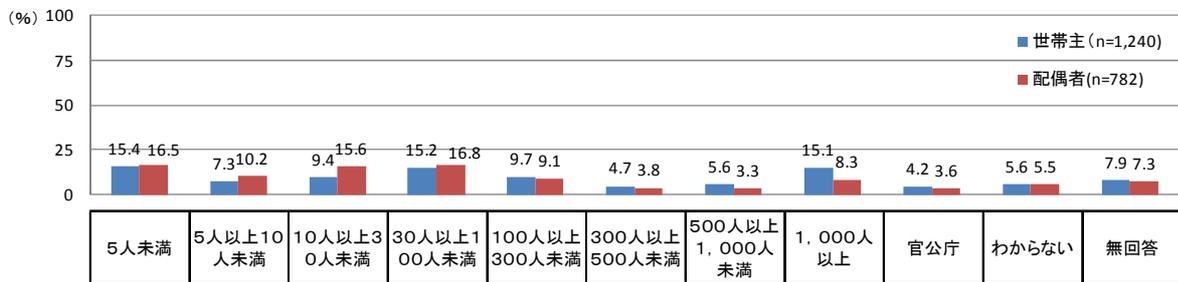


(図表5-4) 就業中世帯主・配偶者の職種（問19-1(3)・問21-1(3)）

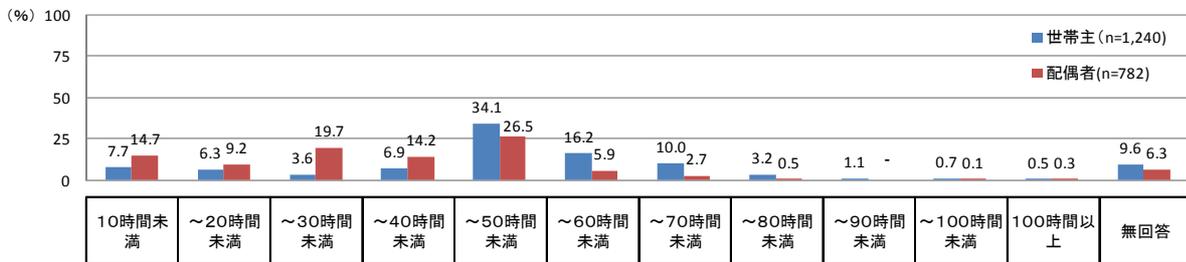


- 勤務先従業員数は、世帯主では「5人未満」(15.4%)、「30人以上100人未満」(15.2%)、「1,000人以上」(15.1%)がともに15%台で上位に並んでいる。配偶者では「30人以上100人未満」(16.8%)、「5人未満」(16.5%)、「10人以上30人未満」(15.6%)が16%前後で上位に並んでいる。
- 週平均就労時間は、世帯主、配偶者ともに「40～50時間未満」が最も多く、世帯主では34.1%、配偶者では26.5%を占める。
- 入社時期は、世帯主、配偶者ともに「2000年代」が最も多く、世帯主では27.3%、配偶者では32.5%である。配偶者では「2010年代」が30.6%で、「2000年代」とともに3割台を占めている。

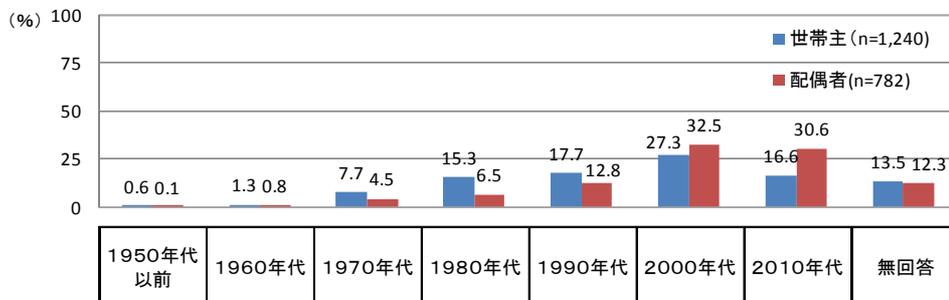
(図表5-5) 就業者世帯主・配偶者勤務先の従業員数 (問19-1(4)・問21-1(4))



(図表5-6) 就業者世帯主・配偶者の週平均就労時間 (問19-1(5)・問21-1(5))



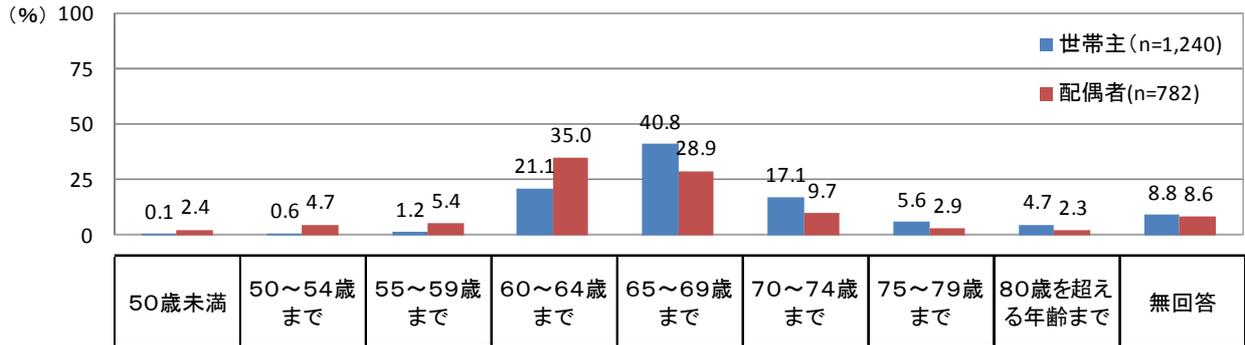
(図表5-7) 就業者世帯主・配偶者の入社時期 (問19-1(6)・問21-1(6))



(3) 就業者中世帯主・配偶者の就労継続希望年齢

- 現在就業者中の世帯主（1,240人）に、何歳まで働きたいかを尋ねたところ、「65～69歳まで」が40.8%で最も多く、次に「60～64歳まで」21.1%、「70～74歳まで」が17.1%であった。現在就業者中の配偶者（782人）では、「60～64歳まで」が35.0%と最も多く、「65～69歳まで」が28.9%、「70～74歳まで」9.7%となっている。

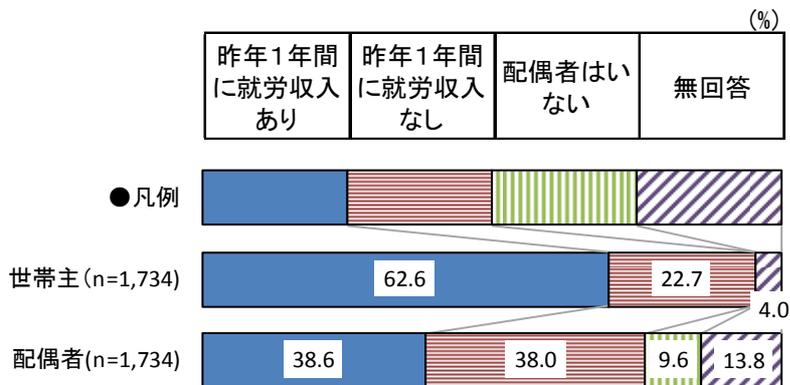
(図表5-8) 世帯主・配偶者の就労継続希望年齢（問20・問22）



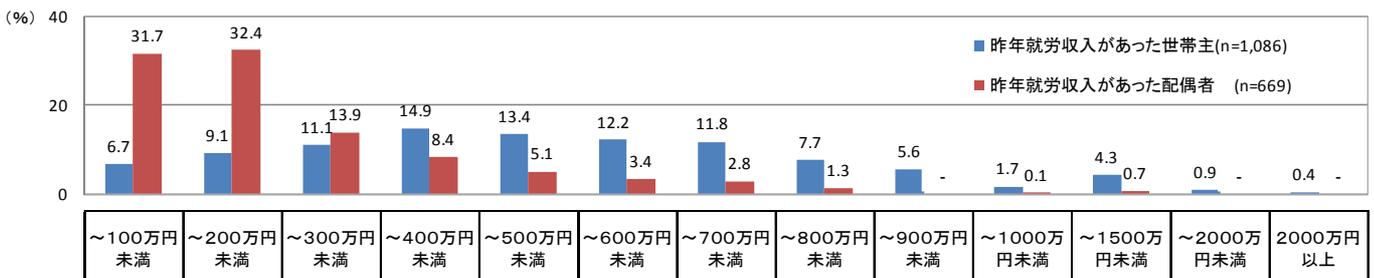
(4) 就労収入

- 前年（2012年）1年間に就労収入があった人は、世帯主では62.6%、配偶者では38.6%であった。
- 前年1年間に就労収入があった世帯主（1,086人）の前年の就労収入（税込）は、「300～400万円未満」が14.9%で最も多く、次に「400～500万円未満」が13.4%、「500～600万円未満」が12.2%、「600～700万円未満」が11.8%、「200～300万円未満」が11.1%の順で、いずれも1割台で並んでいる。
- 前年1年間に就労収入があった配偶者（669人）の前年の就労収入（税込）は、「100～200万円未満」が32.4%で最も多く、次に「100万円未満」31.7%で、ともに3割台であった。

(図表5-9) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入有無 (問23(1)・(2))



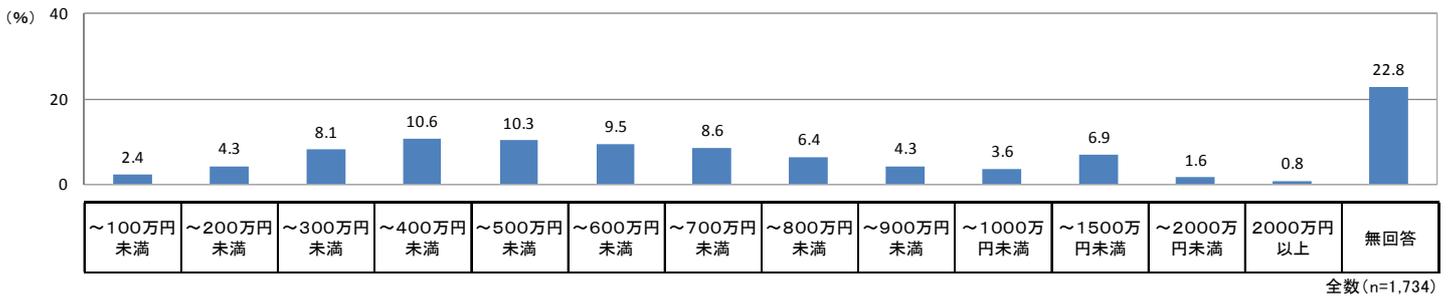
(図表5-10) 世帯主・配偶者の前年1年間の就労収入 (問23(1)・(2))



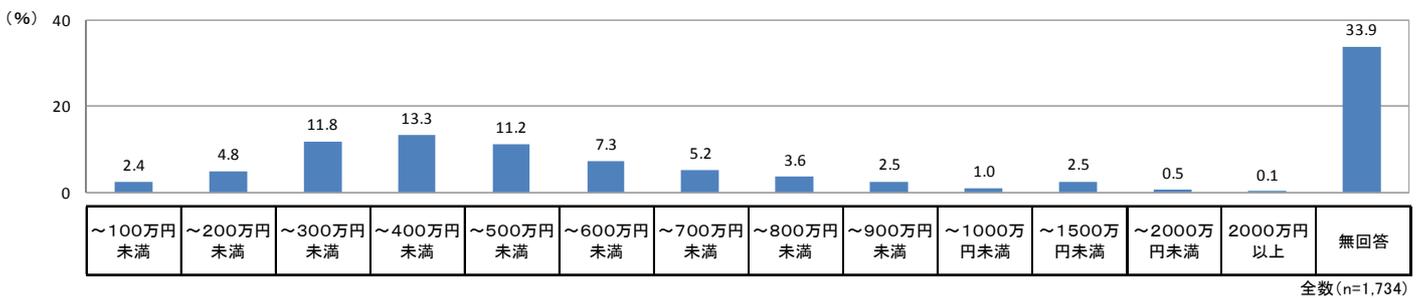
(5) 世帯収入

- 前年（2012年）1年間の世帯収入総額（税金・社会保険料などを差し引く前の社会保険給付、贈与、財産収入等を含む総収入。遺産を除く）は、「300～400万円未満」が10.6%、「400～500万円未満」が10.3%で並び、「500～600万円未満」が9.5%でそれに続いている。
- 前年1年間の手取り世帯収入（税金・社会保険料などを差し引かれた額）は、「300～400万円未満」が13.3%で最も多く、「200～300万円未満」(11.8%)、「400～500万円未満」(11.2%)が続いている。

(図表5-11) 世帯の総収入（問24(1)）



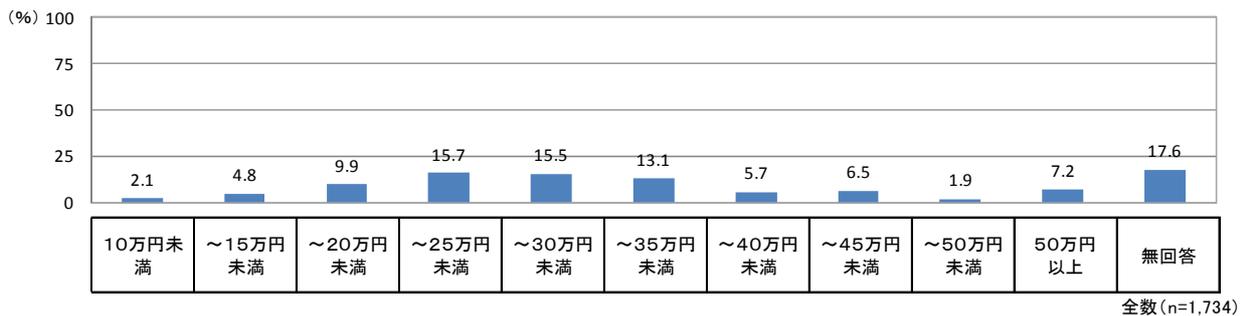
(図表5-12) 世帯の手取り額（問24(2)）



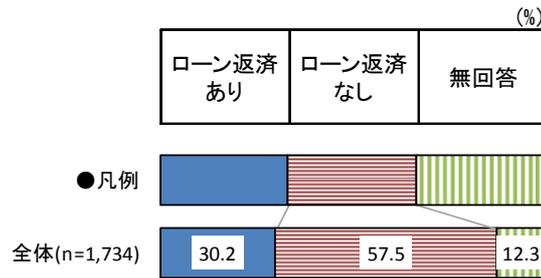
(6) 世帯の支出

- 前年ひと月あたりの平均支出は「20～25万円未満」が15.7%で最も多く、「25～30万円未満」15.5%、「30～35万円未満」13.1%の順となった。
- 前年にローン返済があったのは、30.2%であった。前年にローン返済があった世帯(524人)におけるひと月あたりのローン返済額は、「10万円未満」が63.7%で最も多く全体の6割を占めた。次に「10～15万円未満」が26.1%、「15～20万円未満」は5.9%であった。

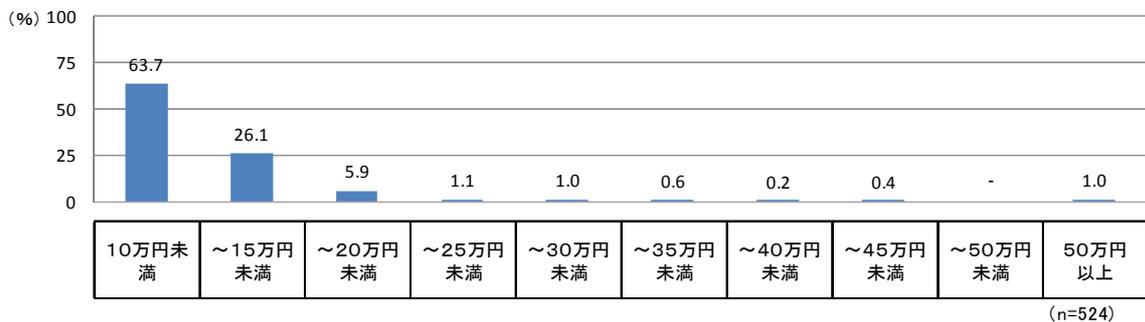
(図表5-13) 一か月あたりの世帯支出 (問25(1))



(図表5-14) 一か月あたりの住宅ローン返済額 (問25(2))



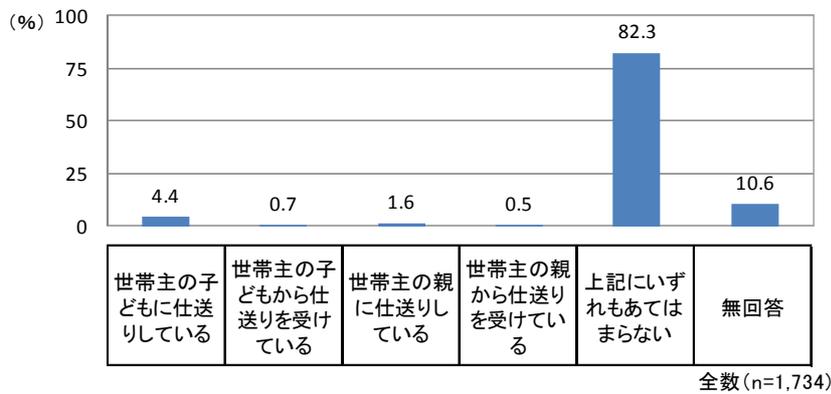
(図表5-15) 一か月あたりの住宅ローン返済額 (問25(2))



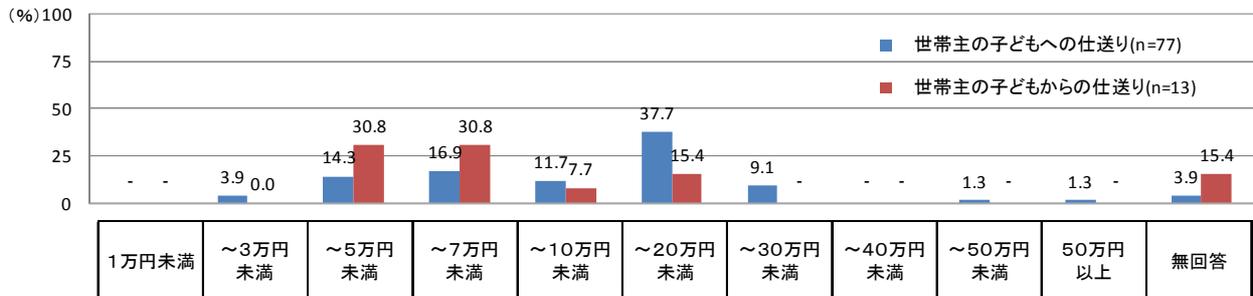
(7) 仕送り

- 子どもや親との仕送りのやりとりがある世帯は7.1%であり、82.3%は「上記にいずれもあてはまらない」との仕送りのやりとりがない世帯であった。仕送りのやり取りの中では、「世帯主のお子様に仕送りをしている」ケースが4.4%で最も多い。
- 世帯主の子どもへの仕送りをしている世帯(77人)の月々の仕送り金額は、「10～20万円未満」が37.7%と最も多く、次に「5～7万円未満」16.9%、「3～5万円未満」14.3%の順であった。

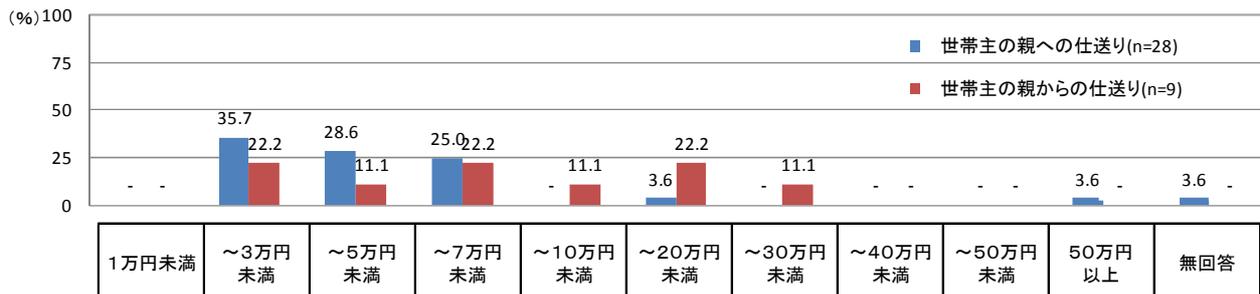
(図表5-16) 仕送り授受の有無(問26(1)、複数回答)



(図表5-17) 月々の仕送り金額(子どもへの仕送り・子どもからの仕送り)
(問26(2)1、問26(2)2)



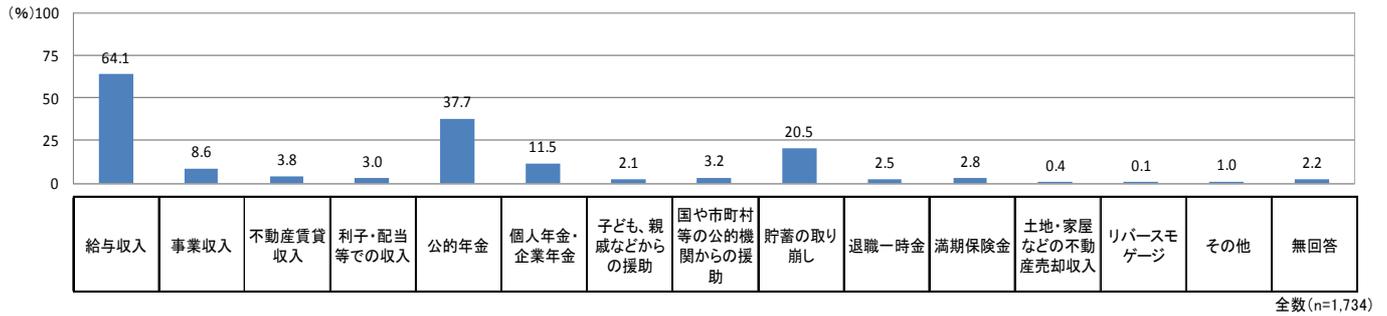
(図表5-18) 月々の仕送り金額(親への仕送り・親からの仕送り)
(問26(2)3、問26(2)4)



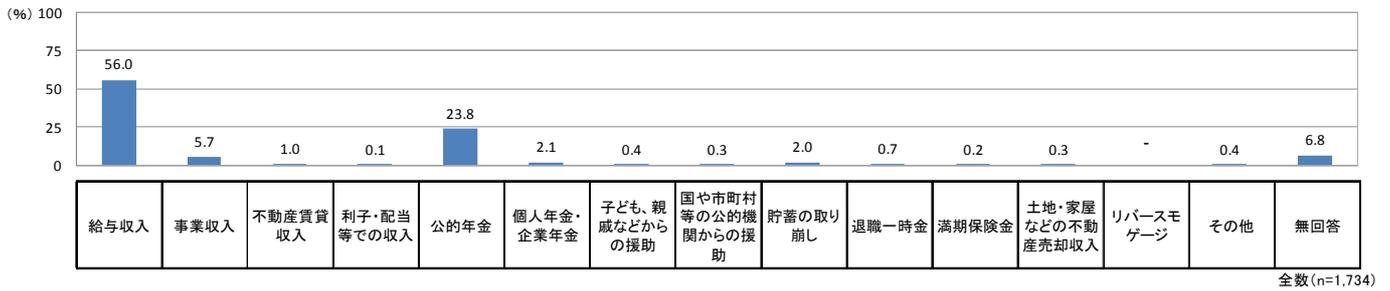
(8) 世帯の家計

- 家計支出をまかなっている世帯の収入源(複数回答)としては、「給与収入」が64.1%と最も多く、「公的年金」が37.7%、「貯蓄の取り崩し」が20.5%の順でそれに続く。
- 家計の支出をまかなっている世帯の収入源のうち最も金額が大きい収入は、「給与収入」との回答が56.0%と最も多く、次に「公的年金」(23.8%)、「事業収入」(5.7%)となった。

(図表5-19) 家計を賄う収入源 (問27(1)、複数回答)



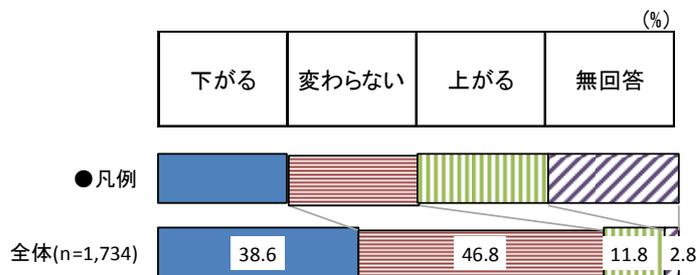
(図表5-20) 最大の収入源 (問27(2))



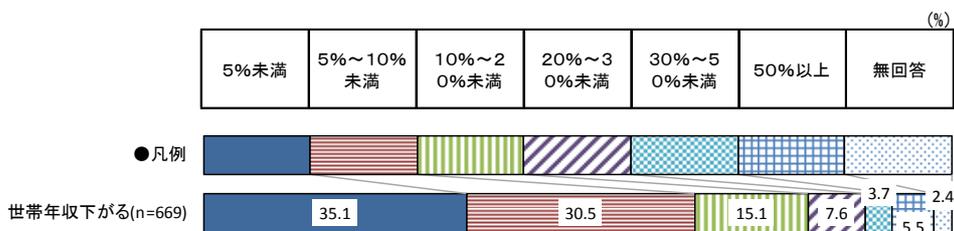
(9) 1年後の年間収入

- 1年後の年間収入が現在の世帯年収に比べてどうなると思うかを尋ねたところ、「変わらない」との回答が46.8%で最も多く、「下がる」が38.6%、「上がる」が11.8%で、「下がる」との見方は「上がる」に比べて3倍以上であった。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「下がる」と回答した人(669人)に下がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」が35.1%と最も多く、次いで「5%~10%未満」が30.5%、「10%~20%未満」が15.1%の順となった。
- 1年後の世帯年収が現在に比べて「上がる」と回答した人(205人)に上がると思う幅を尋ねたところ、「5%未満」が57.1%と半数以上を占めた。次いで、「5%~10%未満」(25.4%)、「10%~20%未満」(9.3%)の順であった。

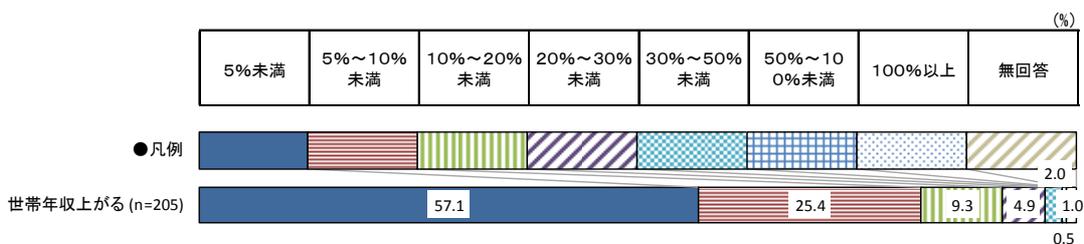
(図表5-21) 1年後の年間収入見込 (問28)



(図表5-22) 1年後の年間収入下落幅 (問28-1)



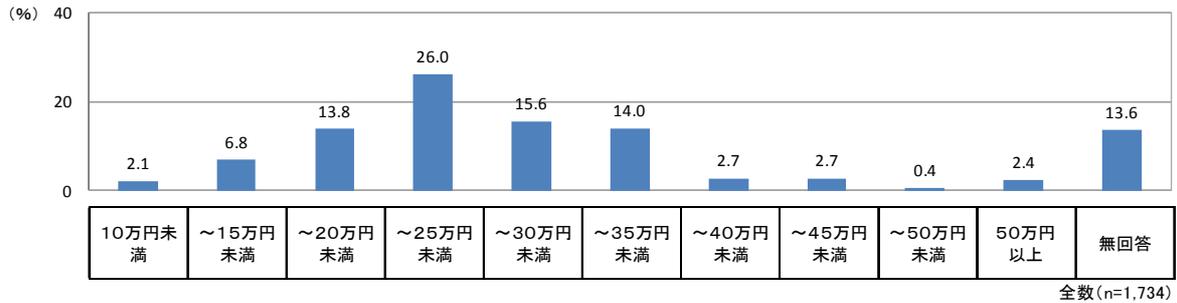
(図表5-23) 1年後の年間収入増加幅 (問28-2)



(10) 高齢期（65歳以上）における一か月の世帯支出額見込み

- 65歳以上の高齢期を迎えたとき、世帯の1か月の支出額（消費税含む）がどのくらいになると考えるかを尋ねたところ、「20～25万円未満」が26.0%で最も多く、次に「25～30万円未満」15.6%、「30～35万円未満」が14.0%、「15～20万円未満」が13.8%の順となった。

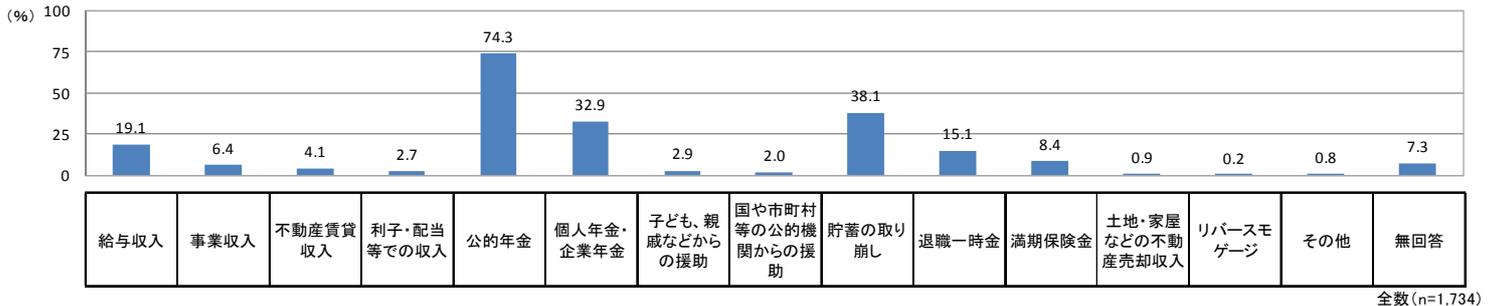
(図表5-24) 高齢期（65歳以上）の一か月あたりの世帯支出額見込み（問29）



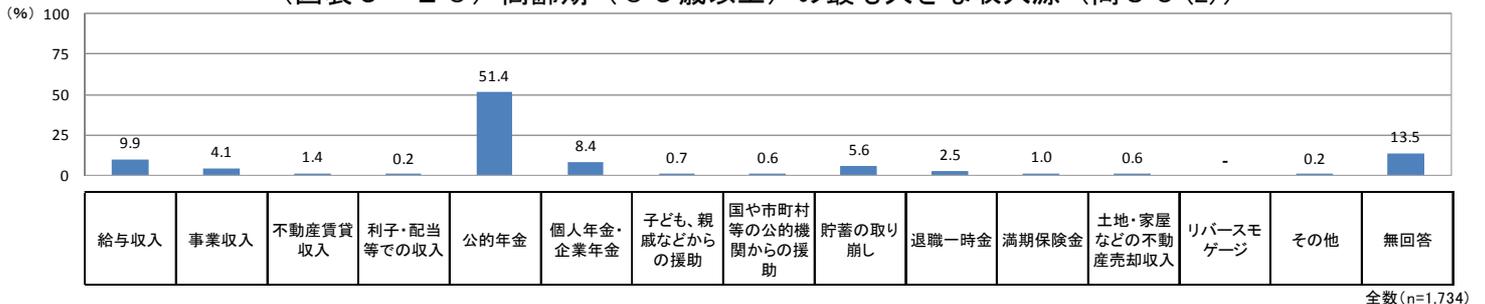
(11) 高齢期（65歳以上）を迎えたときの家計支出の収入源

- 65歳以上の高齢期を迎えたときの世帯の家計をまかなう収入源（複数回答）として考えているものについて尋ねたところ、「公的年金」が74.3%と最も多く、次いで「貯蓄の取り崩し」(38.1%)、「個人年金・企業年金」(32.9%)がそれに続いている。
- 65歳以上世帯の家計をまかなう収入源のうち最も金額が大きくなると考えているものは、「公的年金」が51.4%と過半数を超えて多く、それに続く「給与収入」(9.9%)や「個人年金・企業年金」(8.4%)に比べると開きが見られる。

(図表5-25) 高齢期（65歳以上）の収入源（問30(1)、複数回答）



(図表5-26) 高齢期（65歳以上）の最も大きな収入源（問30(2)）

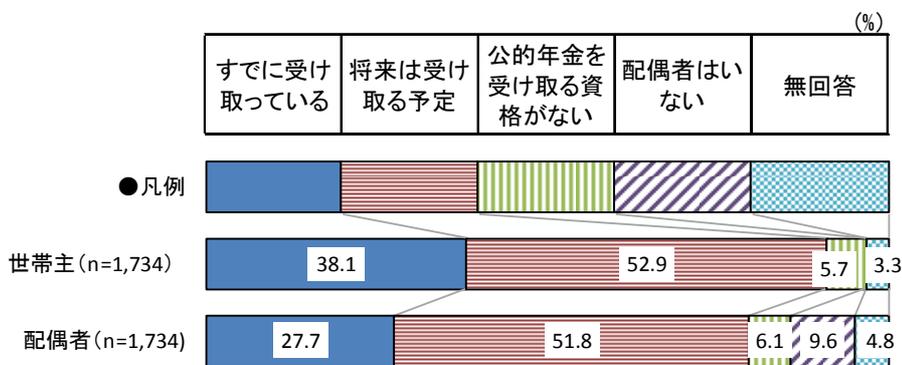


6. 年金について

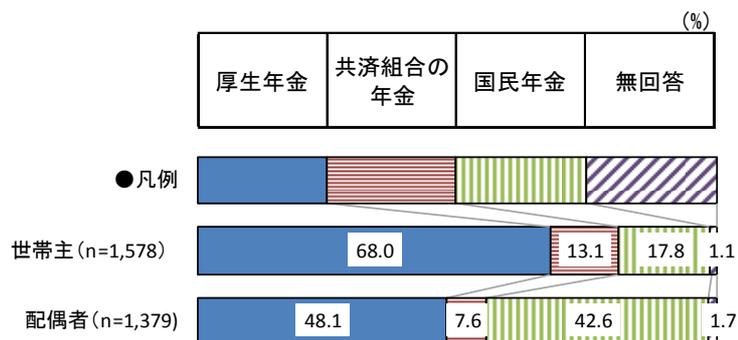
(1) 世帯主・配偶者の公的年金

- 現在公的年金の給付があるかどうかを尋ねたところ、世帯主については、「すでに受け取っている」が38.1%、「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」が52.9%、「公的年金を受け取る資格がない」は5.7%であった。配偶者については、「すでに受け取っている」が27.7%、「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」が51.8%、「公的年金を受け取る資格がない」は6.1%、また「配偶者はいない」は9.6%であった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の人に公的年金の種類についてたずねたところ、世帯主(1,578人)については、「厚生年金」が68.0%と最も多く、次いで「国民年金」(17.8%)、「共済組合の年金」13.1%の順であった。配偶者(1,379人)については、「厚生年金」が48.1%、「国民年金」が42.6%でともに4割台であり、「共済組合の年金」は7.6%であった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の公的年金の受給開始年齢は、世帯主は「65歳」が49.6%で全体の半数を占め、「60～65歳未満」が37.1%であった。配偶者では「65歳」が56.4%で半数を超え、「60～65歳未満」は29.1%であった。
- すでに受け取っているまたは将来受け取る予定の公的年金受取月額は、世帯主では「15～20万円未満」が19.8%で最も多く、次に「10～15万円未満」(16.6%)、「20～25万円未満」が16.0%の順となっている。配偶者では「5～7万円未満」が20.7%で最も多く、次に「7～10万円未満」(18.3%)、「10～15万円未満」(14.3%)、「5万円未満」(12.4%)の順となっており、世帯主に比べて低めに分布している。
- 「今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」の世帯主(918人)および配偶者(899人)の公的年金について、実際を受取額が予想受取額より2割下がる可能性について尋ねたところ、世帯主・配偶者ともに「わからない」との回答が3割を超えて最も多く、「90%以上」との回答はともに1割を超えてそれに次いで多くなっている。逆に、実際を受取額が予想受取額より2割上がる可能性については、世帯主・配偶者ともに「10%未満」がともに4割を超えて高く、次いで「わからない」との回答がともに3割台であった。

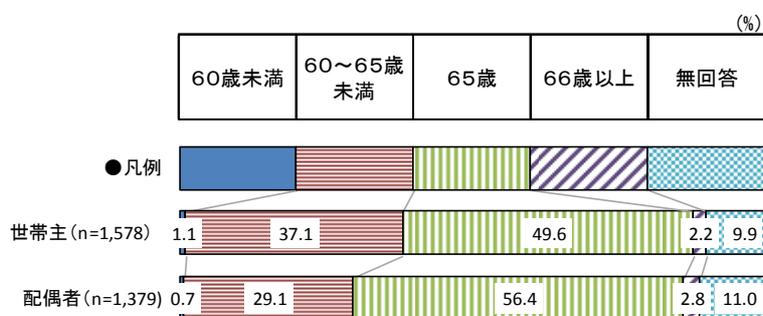
(図表6-1) 世帯主・配偶者の公的年金給付の有無 (問31・問32)



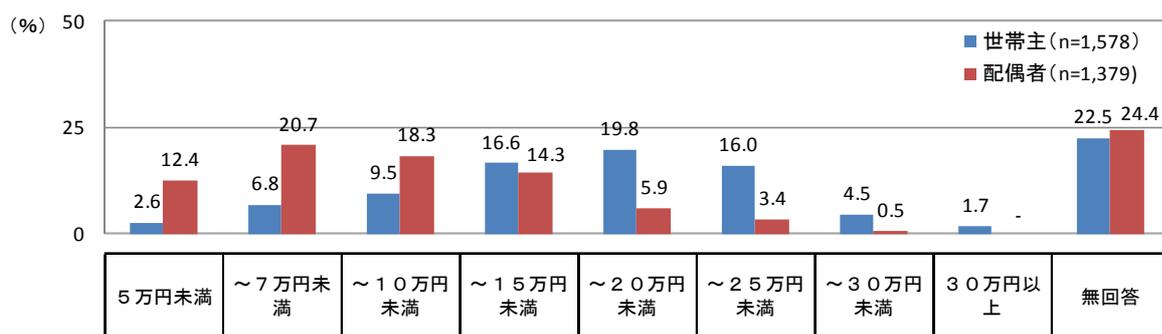
(図表 6-2) 世帯主・配偶者の公的年金の種類 (問 3 1-1・問 3 2-1)



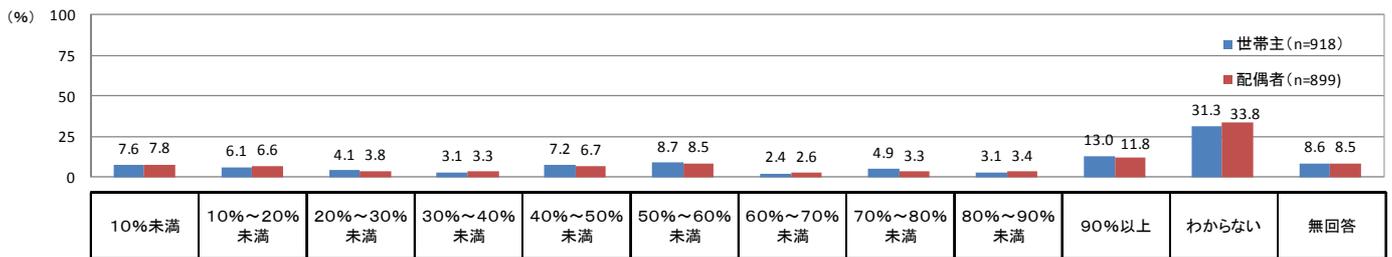
(図表 6-3) 世帯主・配偶者の公的年金受給開始年齢 (問 3 1-2・問 3 2-2)



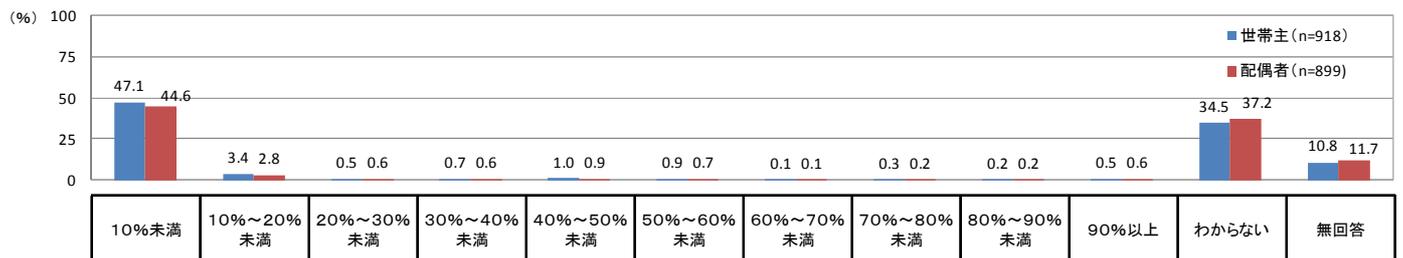
(図表 6-4) 世帯主・配偶者の公的年金受取月額 (問 3 1-3・問 3 2-3)



(図表 6-5) 世帯主・配偶者の公的年金受給額が2割下がる可能性 (問31-4・問32-4)



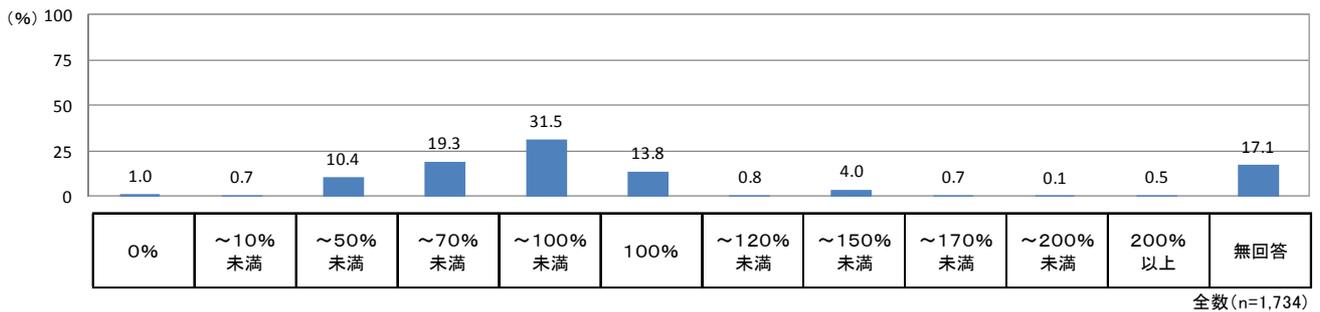
(図表 6-6) 世帯主・配偶者の公的年金受給額が2割上がる可能性 (問31-5・問32-5)



(2) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合

- 65歳以上の高齢期となったときの世帯支出を公的年金でまかなえると考える程度を尋ねたところ、支出の「70～100%未満」程度まかなえると回答が31.5%と最も多く、次いで「50～70%未満」が19.3%、「100%」まかなえると回答が13.8%であった。100%未満（＝世帯支出を全額まかなえない）の回答合計は62.9%で、101%以上（余剰が出る）との回答合計（6.1%）に比べて多い。

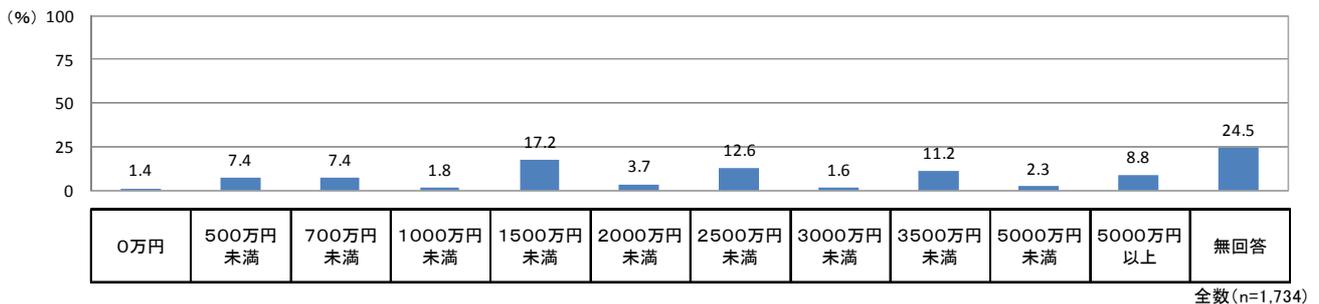
(図表6-7) 公的年金でまかなえる高齢期（65歳以上）の家計支出の割合（問33）



(3) 公的年金受給前に必要な貯蓄額

- 公的年金受給前に必要だと思ふ貯蓄額は、『3000万円以上 計』は22.3%、『1000～2000万円未満 計』が21.0%、次いで『1000万円未満 計』が18.1%、『2000～3000万円未満 計』は14.2%であった。

(図表6-8) 公的年金受給前に必要な貯蓄額（問34）

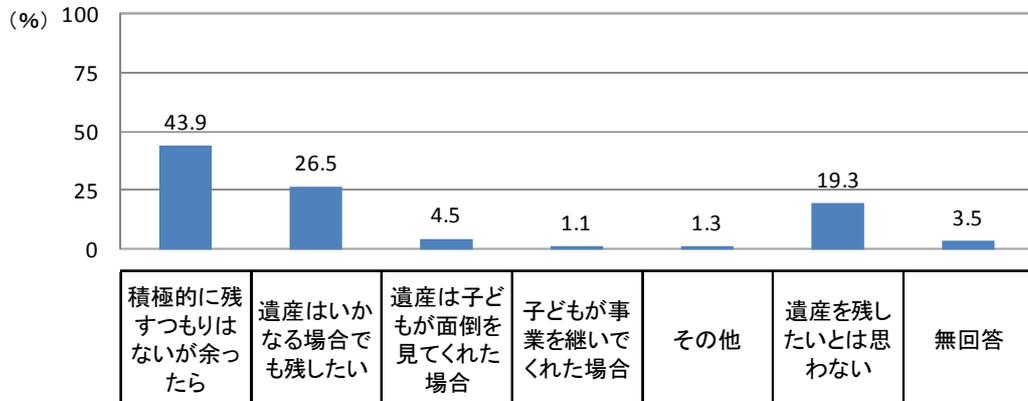


7. 遺産について

(1) 子どもに残す遺産についての考え方

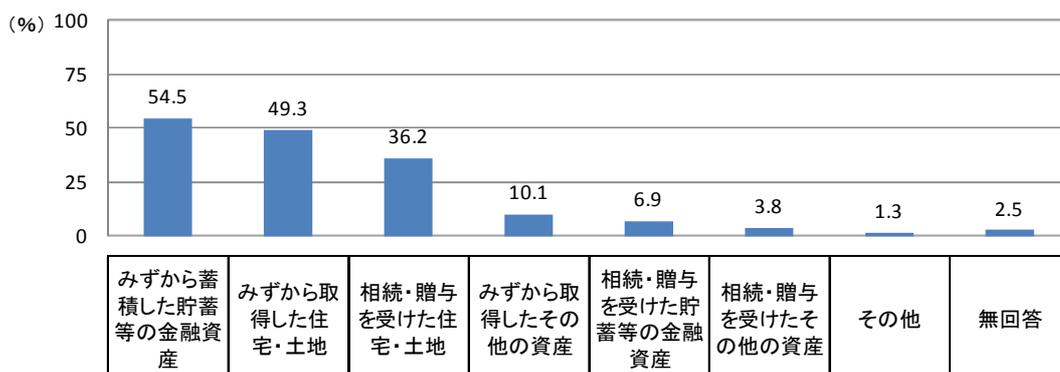
- 子どもに残す遺産（生前贈与を含む）に関する考え方を尋ねたところ、「遺産（生前贈与を含む）を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい」との回答が43.9%で最も多く、次に「遺産（生前贈与を含む）は、いかなる場合においても残したい」が26.5%、「遺産（生前贈与を含む）を残したいとは思わない」が19.3%で、これに続いている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人（1,340人）が残したい遺産（複数回答）としては、「みずから蓄積した貯蓄等の金融資産」が54.5%と最も多く、次に「みずから取得した住宅・土地」（49.3%）、「相続・贈与を受けた住宅・土地」（36.2%）の順となっている。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人に、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた資産金額の見当がついているかどうかを尋ねたところ、「見当がついていない」との回答は82.4%で、「ある程度見当がついている」（7.7%）という回答を大きく上回っている。なお、見当がついている人（103人）の見当金額は、「1000～1500万円未満」（23.3%）、「2000～3000万円未満」（20.4%）がともに2割台で多く、「3000～5000万円未満」（16.5%）がそれに続く。
- 子どもに遺産を残したいと考えている人に、遺産分与の考え方を尋ねたところ、「子どもの人数に応じて、均等に分ける」が54.9%で過半数を占め、「介護など親の面倒を見た子どもに、多く（もしくは全部）分ける」（14.9%）、「子どもが1人なので、その子に全部残す」（13.8%）を引き離して多い。

(図表7-1) 子どもに残す遺産についての考え方 (問35)



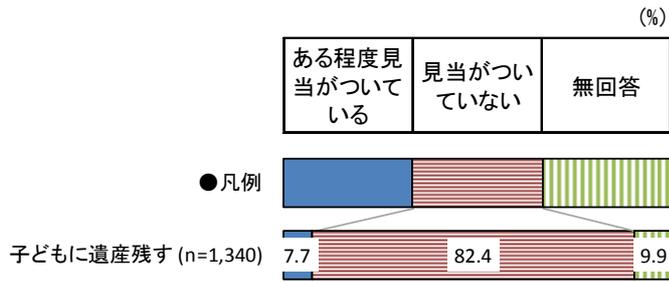
全数(n=1,734)

(図表7-2) 子どもに残す遺産の内容 (問35-1、複数回答)

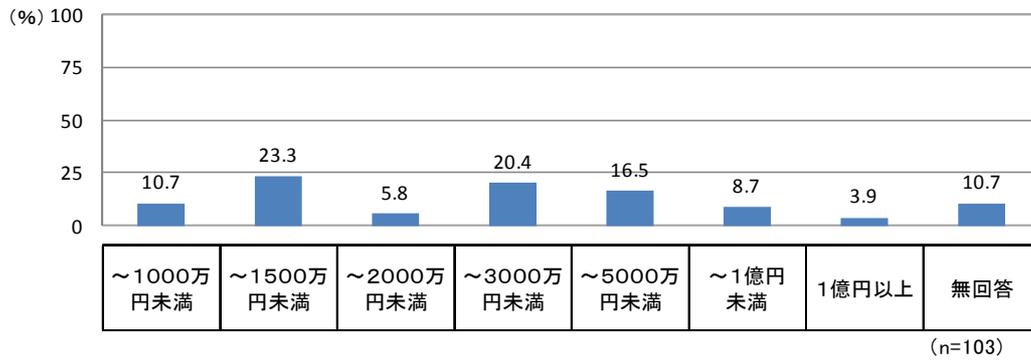


(n=1,340)

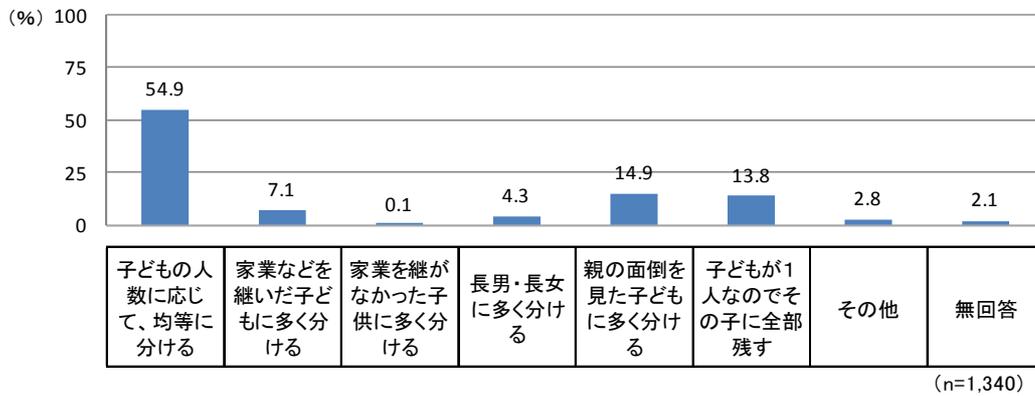
(図表 7-3) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



(図表 7-4) 子どもに残す遺産額 (問 3 5-2)



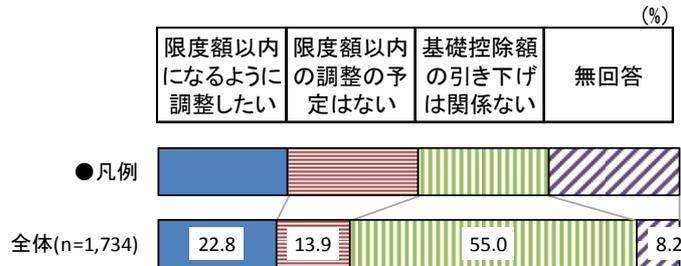
(図表 7-5) 遺産分与についての考え方 (問 3 5-3)



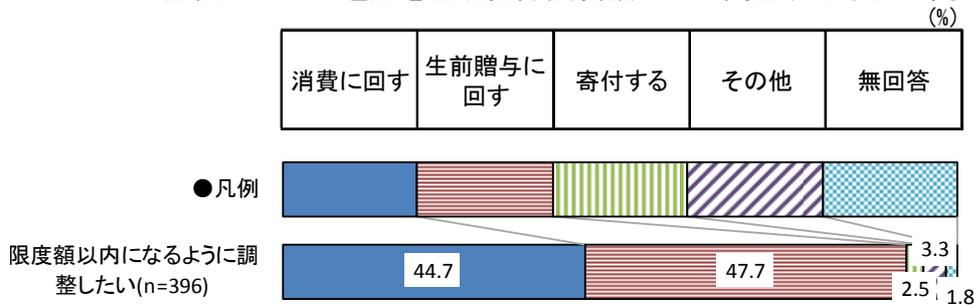
(2) 遺産にかかる相続税基礎控除限度額引き下げについて

- 遺産にかかる相続税基礎控除限度額引き下げが実施されたときの考えについて尋ねたところ、「基礎控除額の引き下げがあってもなくても関係ない」との回答が55.0%と過半数を占めた。一方、「限度額以内になるように調整したい」は22.8%、「限度額以内にするような調整をおこなう予定はない」は13.9%であった。
- 「限度額以内になるように調整したい」と考える人(396人)に遺産を減らす方法を尋ねたところ、「生前贈与に回す」(47.7%)と「消費に回す」(44.7%)にほぼ二分された。
- 遺産の調整をおこなう予定がない、あるいは関係ないとする人(1,195人)が、遺産について調整をおこなわない理由を複数回答で尋ねたところ、「もともと遺産予定額は3千万円未満だから」が67.4%と多数を占めた。次いで、「税金のことをあまり気にしていないから」との回答が20.4%であった。

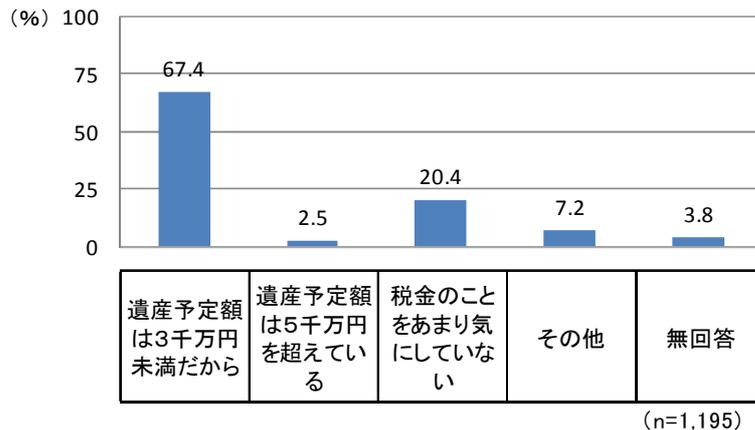
(図表7-6) 遺産にかかる相続税基礎控除限度額引き下げについて(問36)



(図表7-7) 遺産を基礎控除限度額以内に調整する手段(問36-1)



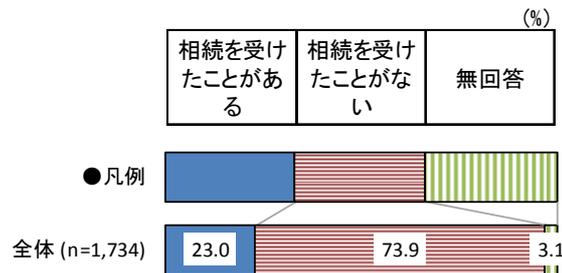
(図表7-8) 遺産を基礎控除限度額以内に調整しない理由(問36-2、複数回答)



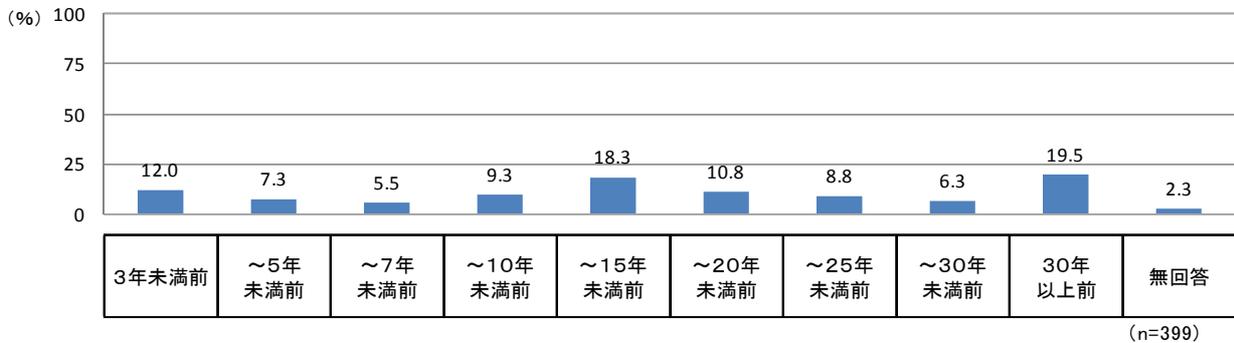
(3) 親からの遺産相続

- 世帯主の親からの遺産相続の有無について尋ねたところ、「相続を受けたことがない」が73.9%、「相続を受けたことがある」が23.0%で、多数は相続を受けた経験がない。
- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯（399人）が相続を受けた時期では、「30年以上前」が19.5%と最も多く、次に「10～15年未満前」が18.3%、「3年未満前」が12.0%の順となった。親から相続した資産の内容を複数回答で尋ねたところ、「居住用の不動産（一戸建て）」が58.4%と最も多く、次に「その他の不動産」（38.6%）、「金融資産」（27.3%）の順となった。

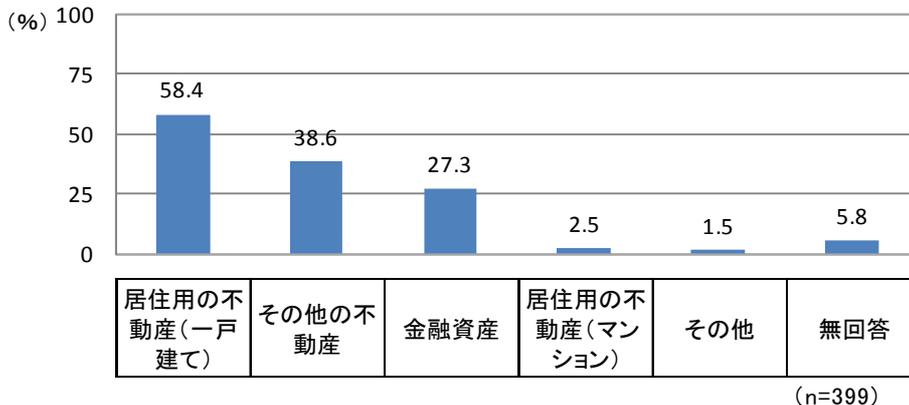
(図表7-9) 親からの遺産相続経験の有無 (問37)



(図表7-10) 親からの遺産相続を受けた時期 (問37-1)



(図表7-11) 親からの相続した資産の内容 (問37-2(1)、複数回答)



- 世帯主の親から遺産の相続を受けたことがある世帯（399人）の居住用の一戸建ての相続時の価額は、「500～700万円未満」が12.9%で最も多く、「1000～1500万円未満」が11.6%、「1500～2000万円未満」が8.2%でそれに続いている。その他の不動産の相続時の価額は、「1000～1500万円未満」が12.3%で最も多く、次に「5000万円以上」が11.7%、「500～700万円未満」、「3000～5000万円未満」がともに9.1%でそれに続いている。金融資産の相続時の価額は、「300～400万円未満」と「500～700万円未満」がともに13.8%で最も多く、次に「1000～1500万円未満」が11.9%であった。相続時の価額合計では、「1000～1500万円未満」が11.4%で最も多く、「500～700万円未満」が9.6%、「1500～2000万円未満」が8.5%でこれに続く。

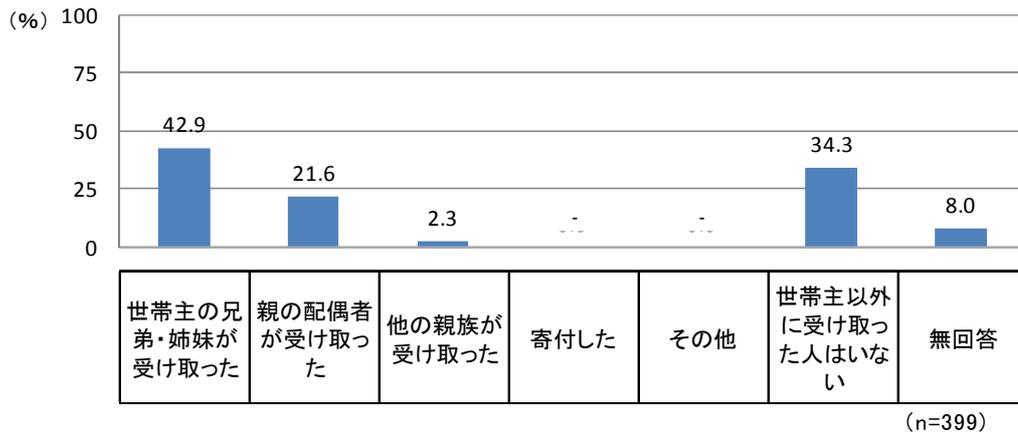
(図表7-12) 親からの相続した資産の金額 (問37-2(2))

(%)

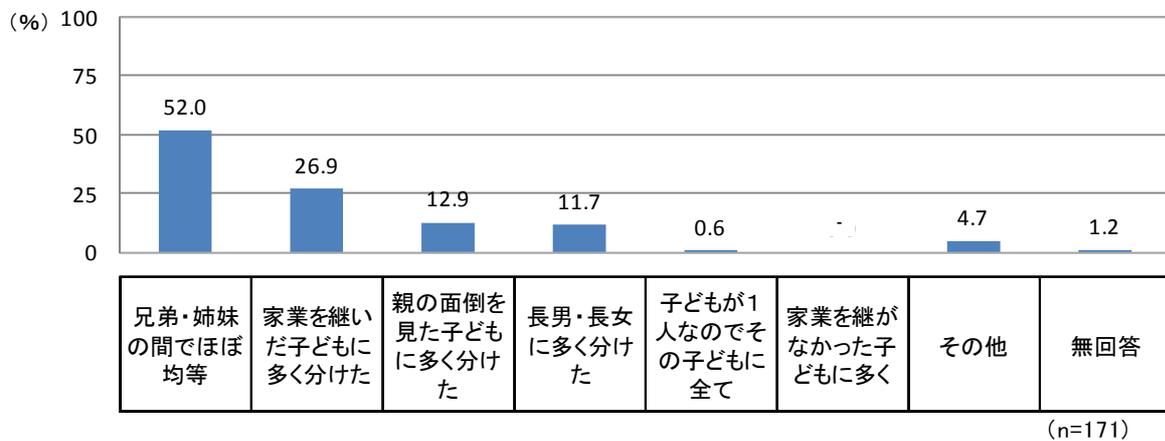
	居住用の一戸建て	居住用のマンション	その他の不動産	金融資産	その他	合計
	(n=233)	(n=10)	(n=154)	(n=109)	(n=6)	(n=376)
～100万円未満	1.7	-	3.9	2.8	-	1.6
～200万円未満	4.3	-	5.2	9.2	-	3.7
～300万円未満	4.3	10.0	3.2	9.2	-	4.0
～400万円未満	3.9	20.0	4.5	13.8	33.3	7.2
～500万円未満	2.6	-	1.9	3.7	-	1.3
～700万円未満	12.9	30.0	9.1	13.8	-	9.6
～1000万円未満	3.9	10.0	3.2	8.3	-	2.9
～1500万円未満	11.6	-	12.3	11.9	16.7	11.4
～2000万円未満	8.2	-	3.2	4.6	-	8.5
～3000万円未満	7.3	10.0	2.6	3.7	16.7	7.4
～5000万円未満	6.4	-	9.1	3.7	-	8.0
5000万円以上	1.7	10.0	11.7	1.8	-	7.4
無回答	31.3	10.0	29.9	13.8	33.3	26.9

- 世帯主の親からの相続経験世帯において、世帯主以外で世帯主の親から遺産を相続した人について尋ねたところ、「世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」が42.9%で最も多く、「世帯主以外に受け取った人はいない」は34.3%、「親の配偶者が受け取った」が21.6%であった。
- 世帯主のほかに世帯主の兄弟・姉妹が受け取った人（171人）に、親から相続した遺産の分配方法（兄弟姉妹の間）を尋ねたところ、「兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた」が52.0%で半数を占め、次に「兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く（もしくは全部）分けた」が26.9%でこれに続いた。

（図表 7-13）世帯主以外の相続者（問 37-3）



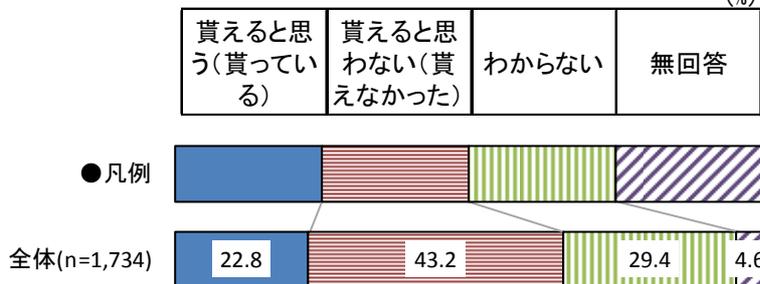
（図表 7-14）親からの相続遺産分与（問 37-4）



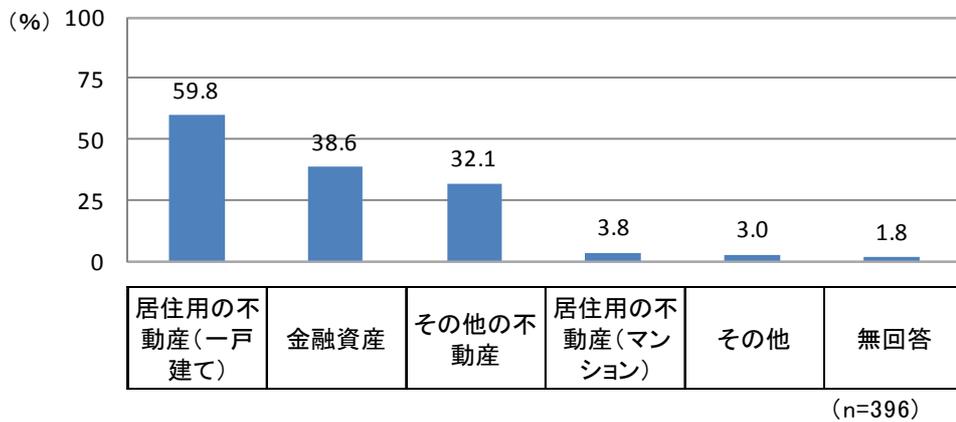
(4) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無

- 将来、世帯主または配偶者の親からの遺産（不動産や金融資産等）をもらえると思うかどうかを尋ねたところ、「もらえると思わない（または、もらえなかった）」が43.2%と最も多く、次いで「わからない」（29.4%）、「もらえると思う（または、すでにもらっている）」は22.8%であった。
- 将来遺産をもらえると思っている（またはすでにもらっている）世帯（396人）に遺産の種類を尋ねたところ、「居住用の不動産（一戸建て）」が59.8%で最も多く、次に「金融資産」（38.6%）、「その他の不動産」（32.1%）の順であった。また、将来遺産をもらえると思っている資産の時価総額は「1000～1500万円未満」が14.1%と最も多く、「500～700万円未満」が10.6%、「2000～3000万円未満」が9.8%でこれに続く。

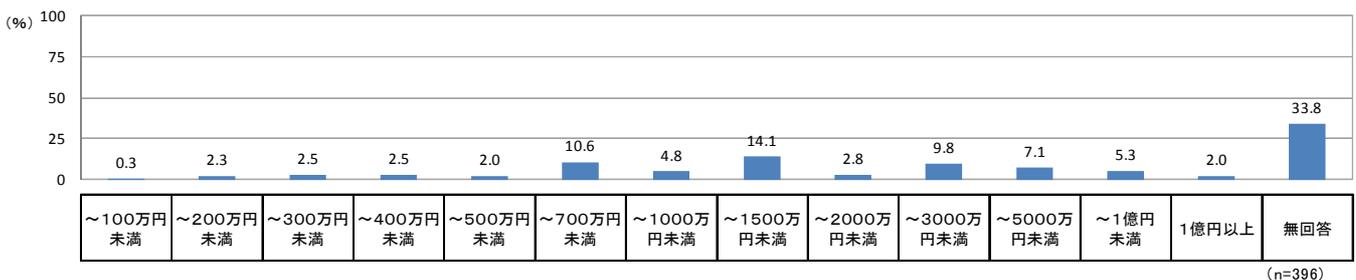
(図表 7-15) 配偶者の親からの遺産相続の見込み有無 (問38) (%)



(図表 7-16) 配偶者の親からの相続遺産の内容 (問38-1)



(図表 7-17) 配偶者の親からの相続遺産の金額 (問38-2)



Ⅲ 調査票（付：単純集計結果）

家計と貯蓄に関する調査 調査票

- この調査は家計や貯蓄について、日ごろお考えになられていることなどをおうかがいするものです。
- お答えいただいた結果は、「〇〇という回答が△△%」というように統計的に集計処理し、家計の金融行動に関する今後の学術研究に役立てます。個人情報が出ることは一切ございませんので、ご安心ください。
- ご回答いただいた調査票は調査員が引き取りに訪問しますが、記入内容を見られたくない方は、添付の封筒に入れてお渡してください。郵送でお送りいただく場合は、12月13日（金）までにご投函ください。
- ご協力いただいた方には、謝礼として1,000円分の図書カードを贈呈いたします。訪問提出の場合は記入済調査票と引き換えにお渡しします。郵送提出の場合は1月中にお送りいたします。

●次の方にご回答をお願いいたします。

世帯主の方、もしくはお宅様で家計や貯蓄を管理・掌握していらっしゃる方

※この調査において「世帯」とは、同別居にかかわらず家計を同一にしていらっしゃる方すべてを含めてお考えください。

●回答のしかた

- お答えは、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく場合と、マスの中に数字を記入していただく場合があります。
「その他」にあてはまるときは選択肢の番号を○で囲み、()内に具体的な内容を記入してください。
- 金額など数値をお尋ねしている設問では、それぞれの単位に合わせて、その1つ下の位を四捨五入してご回答ください。
例) 金額を「万円」の単位でおうかがいしている場合：
64,000円であれば、千の位「4」を四捨五入して、「6万円」と回答してください。
- 質問番号順にお答えください。質問の中には、一部の方にだけおたずねする部分もありますが、その場合は指定された方法に従ってお答えください。

調査票の受領（訪問して受領させていただく場合）

月 日 () 時 分頃に受け取りにお伺いします。

郵送提出をご希望の場合は、12月13日（金）までにご投函ください。

【調査の企画】 一般財団法人ゆうちょ財団 金融行動調査ワーキングチーム

〒101-0061

東京都千代田区三崎町3-7-4

ホームページ <http://www.yu-cho-f.jp/>

慶應義塾大学 商学部教授 渡部 和孝

文京学院大学 人間学部准教授 寺島 拓幸

(独)労働政策研究・研修機構 副主任研究員 周 燕飛

【調査の実施】 株式会社日本リサーチセンター



〒103-0023 東京都中央区日本橋本町2-7-1

ホームページ <http://www.nrc.co.jp/>

担当: 西村・高田



お問い合わせ: フリーダイヤル 0120-035-061 (平日 10:00~12:00、13:00~17:00)

担当調査員		
-------	--	--

生活全般についておうかがいします。

問1 あなたは、全体として、現在の生活にどの程度満足していますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(11.2%) 満足している	(28.8%) やや不満だ
(48.8%) まあ満足している	(9.5%) 不満だ

(1.7%) 無回答

問2 あなたは、次の「ア」～「キ」の生活のそれぞれの面では、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つつ) (n=1,734)

	満足 している	まあ 満足している	やや不満だ	不満だ
ア 所得・収入 (0.9%) 無回答	(5.9%)	(35.6%)	(39.9%)	(17.7%)
イ 資産・貯蓄 (1.3%) 無回答	(4.7%)	(25.0%)	(41.9%)	(27.1%)
ウ 自動車、電気製品、家具などの耐久消費財 (1.5%) 無回答	(10.7%)	(55.9%)	(25.7%)	(6.3%)
エ 食生活 (0.9%) 無回答	(18.5%)	(63.6%)	(13.6%)	(3.5%)
オ 住生活 (1.0%) 無回答	(17.6%)	(52.7%)	(21.6%)	(7.1%)
カ 自己啓発・能力向上 (2.2%) 無回答	(6.4%)	(46.0%)	(38.6%)	(6.8%)
キ レジャー・余暇生活 (0.9%) 無回答	(7.8%)	(43.1%)	(35.8%)	(12.4%)

問3 あなたは、日頃の生活の中で、悩みや不安を感じていますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(71.5%) 悩みや不安を感じている

(17.7%) 悩みや不安を感じていない

(6.6%) わからない

} 次ページの
問4へ

(4.2%) 無回答

→【問3で、「1 悩みや不安を感じている」と回答した方に】

問3-1 悩みや不安を感じているのはどのようなことについてですか。(〇はいくつでも) (n=1, 240)

(53.6%) 自分の健康	(67.0%) 老後の生活設計
(58.1%) 家族の健康	(13.1%) 家族・親族間の人間関係
(6.7%) 自分の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(6.5%) 近隣・地域との関係
(35.9%) 家族の生活上の問題(進学、就職、結婚など)	(11.3%) 勤務先での仕事や人間関係
(39.3%) 現在の収入や資産	(8.4%) 事業や家業の経営上の問題
(63.7%) 今後の収入や資産	(2.5%) その他(具体的に)

(0.2%)無回答

【全員の方へ】

問4 今後の生活において、「物の豊かさ」と「心の豊かさ」に関して、あなたの考え方に近いのはどちらですか。

(〇は1つ) (n=1, 734)

(34.2%) 物質的にある程度豊かになったので、これからは心の豊かさやゆとりのある生活をすることに重きをおきたい
(23.4%) まだまだ物質的な面で生活を豊かにすることに、重きをおきたい
(41.2%) どちらともいえない

(1.2%)無回答

問5 あなたは、今後の生活において、貯蓄や投資など将来に備えることに力を入れたいと思いますか。それとも毎日の生活を充実させて楽しむことに力を入れたいと思いますか。(〇は1つ) (n=1, 734)

(25.2%) 貯蓄や投資など将来に備える	(41.8%) 毎日の生活を充実させて楽しむ	(32.1%) どちらともいえない
-----------------------	------------------------	-------------------

(0.9%)無回答

問6 あなたが普段お出かけになる時に、傘などの雨具を持って出かけるのは、降水確率が何%以上のときですか。

(実数記入) (n=1, 734)

※いつも雨具を持ち歩いている方は「0」、雨が実際に降っている時以外は雨具を持ち歩かない方は「100」とお書きください。

(9.1%) 0%	(30.9%) 40～60%未満	(31.3%) 100%
(0.5%) 1～20%未満	(11.2%) 60～80%未満	(1.1%) 無回答
(10.1%) 20～40%未満	(5.9%) 80～100%未満	

問7 物価の動向に関するお考えをおうかがいします。

1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(〇は1つ) (n=1,734)

※消費税引き上げ分は含めずにお考えください。

(2.9%) 下がる	(19.8%) 変わらない	(68.7%) 上がる
→次ページの間8へ		

↓

問7-1 下がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=50)	
(46.0%)	2%未満
(36.0%)	2%～5%未満
(14.0%)	5%～10%未満
(4.0%)	10%以上

↓

問7-2 上がる幅は、おおよそどの程度とお考えですか。(〇は1つ) (n=1,191)	
(15.9%)	2%未満
(51.0%)	2%～5%未満
(26.7%)	5%～10%未満
(6.0%)	10%以上

(-)無回答

無回答 (8.6%)

貯蓄についておうかがいします。

【全員の方に】

問8 あなたの世帯では、現在、世帯の貯蓄をどうなさっていますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(12.4%) 貯蓄を増やしている	(47.8%) あまり貯蓄額は変わっていない	(37.2%) 貯蓄を取り崩している
-------------------	------------------------	--------------------

無回答 (2.6%)

問9 あなたの世帯では、どのような種類の預貯金・金融商品(外貨建て金融商品を含む)によって貯蓄をおこなっていますか。

(1) 「1」から「12」の預貯金・金融商品について、持っているものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも)
(n=1,734)

【(1)で「持っている」と回答した預貯金・金融商品それぞれについて】

(2) 回答可能な範囲でお答えいただければ結構ですので、そのおおよその現在高(保有額)をご記入ください。

(実数記入)

	(1) 持っているもの (〇はいくつでも)	(2) 現在高(保有額) <平成25年10月末現在>		記入上のご注意	
		+	-		千 百 十 - (位)
郵便貯金 <通常貯金> (n=845)	48.7%	(45.9%) ~ 100万円未満 (17.5%) ~ 200万円未満 (5.8%) ~ 300万円未満 (5.0%) ~ 400万円未満 (1.2%) ~ 500万円未満 (3.8%) ~ 700万円未満 (1.8%) ~ 1000万円未満	(1.8%) ~ 1500万円未満 (-) ~ 2000万円未満 (0.2%) ~ 3000万円未満 (-) ~ 5000万円未満 (-) ~ 1億円未満 (0.1%) 1億円以上 (16.9%) 無回答	ゆうちょ銀行や郵便局への貯金の総額を「通常貯金」「定期貯金・定額貯金」に分けて、それぞれお答えください。	
郵便貯金 <定期貯金・定額貯金> (n=576)	33.2%	(15.1%) ~ 100万円未満 (18.9%) ~ 200万円未満 (12.2%) ~ 300万円未満 (9.2%) ~ 400万円未満 (5.4%) ~ 500万円未満 (10.1%) ~ 700万円未満 (4.2%) ~ 1000万円未満	(5.6%) ~ 1500万円未満 (1.2%) ~ 2000万円未満 (1.0%) ~ 3000万円未満 (0.7%) ~ 5000万円未満 (-) ~ 1億円未満 (-) 1億円以上 (16.5%) 無回答		
預貯金 <普通預金> (n=1,123)	64.8%	(26.4%) ~ 100万円未満 (20.8%) ~ 200万円未満 (10.6%) ~ 300万円未満 (7.1%) ~ 400万円未満 (3.1%) ~ 500万円未満 (6.3%) ~ 700万円未満 (2.4%) ~ 1000万円未満	(3.7%) ~ 1500万円未満 (0.7%) ~ 2000万円未満 (1.8%) ~ 3000万円未満 (0.4%) ~ 5000万円未満 (0.1%) ~ 1億円未満 (0.1%) 1億円以上 (16.5%) 無回答		
預貯金 <定期性預金・定期積立> (n=680)	39.2%	(12.6%) ~ 100万円未満 (13.1%) ~ 200万円未満 (9.1%) ~ 300万円未満 (8.7%) ~ 400万円未満 (3.2%) ~ 500万円未満 (11.8%) ~ 700万円未満 (6.9%) ~ 1000万円未満	(9.1%) ~ 1500万円未満 (2.8%) ~ 2000万円未満 (5.1%) ~ 3000万円未満 (1.9%) ~ 5000万円未満 (0.9%) ~ 1億円未満 (0.3%) 1億円以上 (14.4%) 無回答		
外貨建て金融商品 (外貨預金、外国債券、外国投資信託、FX等) (n=105)	6.1%	(13.3%) ~ 100万円未満 (21.0%) ~ 200万円未満 (12.4%) ~ 300万円未満 (10.5%) ~ 400万円未満 (4.8%) ~ 500万円未満 (6.7%) ~ 700万円未満 (1.9%) ~ 1000万円未満	(9.5%) ~ 1500万円未満 (1.0%) ~ 2000万円未満 (1.0%) ~ 3000万円未満 (1.0%) ~ 5000万円未満 (1.9%) ~ 1億円未満 (-) 1億円以上 (15.2%) 無回答		記入時の為替相場で円換算してお答えください。
生命保険 (定期保険・医療保険などの掛け捨て型の保険は含みません) (n=748)	43.1%	(10.6%) ~ 100万円未満 (14.2%) ~ 200万円未満 (9.8%) ~ 300万円未満 (8.8%) ~ 400万円未満 (2.3%) ~ 500万円未満 (11.6%) ~ 700万円未満 (6.0%) ~ 1000万円未満	(8.4%) ~ 1500万円未満 (2.0%) ~ 2000万円未満 (2.7%) ~ 3000万円未満 (0.5%) ~ 5000万円未満 (0.3%) ~ 1億円未満 (0.1%) 1億円以上 (22.7%) 無回答		生命保険会社、郵便局、農協などの生命保険に今までに払い込んだ保険料の総額をお答えください。定期保険・医療保険などの掛け捨て型は除きます。

個人年金 (公的年金の保険料は含みません。) (n=335)	19.3%	(14.3%) ~ 100万円未満 (14.0%) ~ 200万円未満 (14.0%) ~ 300万円未満 (8.1%) ~ 400万円未満 (3.0%) ~ 500万円未満 (11.0%) ~ 700万円未満 (2.7%) ~ 1000万円未満	(6.6%) ~ 1500万円未満 (0.6%) ~ 2000万円未満 (1.5%) ~ 3000万円未満 (0.6%) ~ 5000万円未満 (-) ~1億円未満 (-) 1億円以上 (23.6%) 無回答	生命保険会社、郵便局、農協などの年金商品に今までに払い込んだ掛け金の総額をお答えください。公的年金の保険料は含みません。
債券 (国債、金融債(ワイドを含む)、社債等) (n=80)	4.6%	(8.8%) ~ 100万円未満 (12.5%) ~ 200万円未満 (25.0%) ~ 300万円未満 (8.8%) ~ 400万円未満 (7.5%) ~ 500万円未満 (13.8%) ~ 700万円未満 (2.5%) ~ 1000万円未満	(3.8%) ~ 1500万円未満 (1.3%) ~ 2000万円未満 (1.3%) ~ 3000万円未満 (2.5%) ~ 5000万円未満 (1.3%) ~1億円未満 (-) 1億円以上 (11.3%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
株式 (従業員持株制度による株式を含みます。) (n=277)	16.0%	(17.3%) ~ 100万円未満 (20.6%) ~ 200万円未満 (10.8%) ~ 300万円未満 (9.7%) ~ 400万円未満 (4.0%) ~ 500万円未満 (7.9%) ~ 700万円未満 (2.9%) ~ 1000万円未満	(3.6%) ~ 1500万円未満 (0.7%) ~ 2000万円未満 (3.2%) ~ 3000万円未満 (1.1%) ~ 5000万円未満 (-) ~1億円未満 (-) 1億円以上 (18.1%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
投資信託 (公社債投信、株式投信、MMF、REIT等) (n=145)	8.4%	(16.6%) ~ 100万円未満 (20.0%) ~ 200万円未満 (12.4%) ~ 300万円未満 (6.9%) ~ 400万円未満 (2.8%) ~ 500万円未満 (13.8%) ~ 700万円未満 (2.8%) ~ 1000万円未満	(6.2%) ~ 1500万円未満 (0.7%) ~ 2000万円未満 (1.4%) ~ 3000万円未満 (2.1%) ~ 5000万円未満 (2.1%) ~1億円未満 (-) 1億円以上 (12.4%) 無回答	時価(現在の市場価値)でお答えください。(不明の場合は取得時の価額で結構です。)
財形貯蓄、社内預金 (n=177)	10.2%	(23.7%) ~ 100万円未満 (24.9%) ~ 200万円未満 (5.6%) ~ 300万円未満 (8.5%) ~ 400万円未満 (4.5%) ~ 500万円未満 (7.9%) ~ 700万円未満 (2.3%) ~ 1000万円未満	(5.6%) ~ 1500万円未満 (0.6%) ~ 2000万円未満 (0.6%) ~ 3000万円未満 (0.6%) ~ 5000万円未満 (-) ~1億円未満 (-) 1億円以上 (15.3%) 無回答	財形貯蓄・社内預金などの貯蓄額をお答えください。
その他 (貸付信託、積立型損害保険、金貯蓄口座等) (n=47)	2.7%	(14.9%) ~ 100万円未満 (14.9%) ~ 200万円未満 (14.9%) ~ 300万円未満 (6.4%) ~ 400万円未満 (6.4%) ~ 500万円未満 (8.5%) ~ 700万円未満 (8.5%) ~ 1000万円未満	(8.5%) ~ 1500万円未満 (-) ~ 2000万円未満 (4.3%) ~ 3000万円未満 (-) ~ 5000万円未満 (-) ~1億円未満 (2.1%) 1億円以上 (10.6%) 無回答	上記「1」～「11」以外の金融商品について、合算してお答えください。

無回答 16.6%
%

【全員の方に】

問10 あなたの世帯でお持ちの金融資産についておうかがいします。

(1) あなたの世帯でお持ちの金融資産をすべて合わせると、**現在高**はおいくらですか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)** (n=989)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(7.1%) ~100万円未満	(12.2%) ~700万円未満	(6.9%) ~5000万円未満
(9.0%) ~200万円未満	(9.3%) ~1000万円未満	(3.9%) ~1億円未満
(6.5%) ~300万円未満	(15.5%) ~1500万円未満	(0.9%) 1億円以上
(6.5%) ~400万円未満	(8.2%) ~2000万円未満	
(3.5%) ~500万円未満	(10.5%) ~3000万円未満	

(57.0%)持っている (14.5%)持っていない (28.4%)無回答 (n=1,734)

(2) では、**1年前**のあなたの世帯でお持ちの金融資産額は、おいくらでしたか。現金や決済性預金を含めてお答えください。**(実数記入)** (n=966)

※「金融資産」には、土地・住宅・貴金属等の実物資産は含みません。

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(6.5%) ~100万円未満	(11.1%) ~700万円未満	(7.6%) ~5000万円未満
(8.5%) ~200万円未満	(11.1%) ~1000万円未満	(3.6%) ~1億円未満
(5.3%) ~300万円未満	(14.2%) ~1500万円未満	(0.9%) 1億円以上
(7.2%) ~400万円未満	(8.5%) ~2000万円未満	
(5.6%) ~500万円未満	(9.9%) ~3000万円未満	

(55.7%)持っている (28.1%)持っていない (16.1%)無回答 (n=1,734)

問11 保険商品(掛け捨ての保険のみ)についておうかがいします。

(1) 現在、あなたの世帯の**世帯主の方が被保険者となってい**らっしゃる**保険商品(掛け捨ての保険のみ)**の死亡保障金額はおいくらくらいでしょうか。**(実数記入)** (n=867)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(3.6%) ~100万円未満	(2.4%) ~500万円未満	(4.4%) ~2000万円未満
(8.8%) ~200万円未満	(11.4%) ~700万円未満	(11.4%) ~3000万円未満
(6.9%) ~300万円未満	(2.4%) ~1000万円未満	(15.6%) ~5000万円未満
(8.7%) ~400万円未満	(18.7%) ~1500万円未満	(5.8%) 5000万円以上

(50.0%)持っている (37.9%)持っていない (12.1%)無回答 (n=1,734)

(2) では、あなたの世帯のご家族全員の方の保険商品(掛け捨ての保険のみ)の死亡保障金額を合計すると、おいくら
 くらいでしょうか。(実数記入) (n=893)

※お持ちでない場合は、「X 持っていない」に○をおつけください。

(2.8%) ~100万円未満	(3.2%) ~500万円未満	(6.6%) ~2000万円未満
(5.4%) ~200万円未満	(12.1%) ~700万円未満	(14.0%) ~3000万円未満
(5.8%) ~300万円未満	(5.4%) ~1000万円未満	(15.9%) ~5000万円未満
(4.7%) ~400万円未満	(11.5%) ~1500万円未満	(12.5%) 5000万円以上

(51.5%)持っている (34.9%)持っていない (13.6%)無回答 (n=1,734)

問12 あなたの世帯の貯蓄の目的についておたずねします。

(1) 現在あなたの世帯では、どのような目的で貯蓄をなさっていますか。「ア」から「シ」の中から、貯蓄の目的にあてはまるものをいくつかでもお答えください。(〇はいくつでも) (n=1,734)

【(1)に〇をつけた貯蓄それぞれについて】

(2) 現在お持ちの貯蓄総額の何%程度を割り当てていますか。合計が100%になるようにお答えください。(実数記入)

(3) 1年前に比べて金額が増えたのは、どの目的の貯蓄ですか。(〇はいくつでも) (n=1,391)

(4) 1年前に比べて金額が減ったのは、どの目的の貯蓄ですか。(〇はいくつでも) (n=1,391)

	(1) 貯蓄の 目的 (〇はいくつでも)	(2) 貯蓄総額に 占める% (実数記入)	(3) 1年前に 比べて金額が <u>増え</u> <u>た</u> 貯蓄 (〇は いくつでも)	(4) 1年前に 比べて金額が <u>減っ</u> <u>た</u> 貯蓄 (〇は いくつでも)
ア	病気、災害、その他 不時の出費への備え (n=1,000) 57.7%	(3.6%) 10%未満 (21.4%) 10~20%未満 (36.3%) 20~40%未満 (17.9%) 40~60%未満	(2.4%) 60~80%未満 (1.6%) 80~100%未満 (1.6%) 100%未満 (15.2%) 無回答	13.1% 19.5%
イ	子どもの 教育費 (n=511) 29.5%	(2.5%) 10%未満 (13.5%) 10~20%未満 (28.0%) 20~40%未満 (19.4%) 40~60%未満	(6.7%) 60~80%未満 (8.6%) 80~100%未満 (4.5%) 100%未満 (16.8%) 無回答	15.4% 7.7%
ウ	結婚資金 (子どもの 結婚資金 を含む) (n=187) 10.8%	(10.7%) 10%未満 (42.8%) 10~20%未満 (26.2%) 20~40%未満 (3.2%) 40~60%未満	(1.6%) 60~80%未満 (-) 80~100%未満 (0.5%) 100%未満 (15.0%) 無回答	2.4% 2.9%
エ	自宅又は 土地の取得、増改築 などへの 備え (n=294) 17.0%	(5.8%) 10%未満 (28.2%) 10~20%未満 (31.3%) 20~40%未満 (11.6%) 40~60%未満	(3.1%) 60~80%未満 (1.7%) 80~100%未満 (1.7%) 100%未満 (16.7%) 無回答	5.2% 5.5%
オ	老後の生活への 備え (n=949) 54.7%	(1.7%) 10%未満 (10.7%) 10~20%未満 (29.8%) 20~40%未満 (26.4%) 40~60%未満	(7.7%) 60~80%未満 (5.5%) 80~100%未満 (2.5%) 100%未満 (15.6%) 無回答	16.2% 16.8%
カ	要介護状態(寝たきり など)になったとき の出費への備え (n=379) 21.9%	(5.3%) 10%未満 (24.5%) 10~20%未満 (36.9%) 20~40%未満 (12.1%) 40~60%未満	(1.6%) 60~80%未満 (0.5%) 80~100%未満 (0.5%) 100%未満 (18.5%) 無回答	3.6% 5.1%

キ	耐久消費財(自動車、家具、家電など)の購入 (n=418)	24.1%	(14.6%) 10%未満 (40.0%) 10~20%未満 (24.4%) 20~40%未満 (4.1%) 40~60%未満	(0.5%) 60~80%未満 (0.7%) 80~100%未満 (0.5%) 100%未満 (15.3%) 無回答	4.7%	10.1%
ク	旅行やスポーツなどのレジャー (n=359)	20.7%	(20.9%) 10%未満 (42.3%) 10~20%未満 (16.7%) 20~40%未満 (3.9%) 40~60%未満	(0.8%) 60~80%未満 (-) 80~100%未満 (-) 100%未満 (15.3%) 無回答	3.9%	9.2%
ケ	遺産として残すための貯蓄 (n=99)	5.7%	(12.1%) 10%未満 (25.3%) 10~20%未満 (30.3%) 20~40%未満 (8.1%) 40~60%未満	(1.0%) 60~80%未満 (1.0%) 80~100%未満 (-) 100%未満 (22.2%) 無回答	0.9%	2.3%
コ	特に目的はなく、安心のため の貯蓄 (n=502)	29.0%	(4.2%) 10%未満 (22.9%) 10~20%未満 (25.7%) 20~40%未満 (20.9%) 40~60%未満	(5.0%) 60~80%未満 (4.2%) 80~100%未満 (4.4%) 100%未満 (12.7%) 無回答	8.2%	11.1%
サ	その他の 目的の貯蓄 (n=101)	5.8%	(5.9%) 10%未満 (29.7%) 10~20%未満 (23.8%) 20~40%未満 (12.9%) 40~60%未満	(4.0%) 60~80%未満 (4.0%) 80~100%未満 (4.0%) 100%未満 (15.8%) 無回答	1.7%	2.7%
シ	あてはまるものはない	12.2%	→ 問13へ			

無回答 (7.6%)

(61.8%) (55.7%)

¥ 住居についておうかがいします。

【全員の方に】

問13 お住まいの住居はどのような構造ですか。(〇は1つ) (n=1,734)

(63.3%) 木造	(1.2%) ブロック造	(3.8%) その他
(3.2%) 防火木造	(27.2%) 鉄筋コンクリート	(具体的に:)

(1.3%) 無回答

問13-1 お住まいの住居は築後何年ですか。(実数記入) (n=1,734)

(0.5%) 築1年未満	(24.3%) 築10～19年	(4.9%) 築50年以上
(3.2%) 築1～2年	(19.2%) 築20～29年	(3.9%) 無回答
(3.8%) 築3～4年	(18.2%) 築30～39年	
(10.8%) 築5～9年	(11.2%) 築40～49年	

問13-2 敷地面積、床面積はそれぞれいくらですか。(マンションは床面積のみ) (実数記入) (n=1,734)

※1坪=3.3平方メートルとして算出してください。

・敷地面積

(2.5%) 50㎡未満	(10.8%) ～200㎡未満	(7.8%) 500㎡以上
(6.8%) ～100㎡未満	(12.6%) ～300㎡未満	(39.5%) 無回答
(9.6%) ～150㎡未満	(10.4%) ～500㎡未満	

・床面積

(6.8%) 50㎡未満	(11.5%) ～200㎡未満	(1.0%) 500㎡以上
(27.7%) ～100㎡未満	(5.4%) ～300㎡未満	(24.4%) 無回答
(22.1%) ～150㎡未満	(1.0%) ～500㎡未満	

問14 あなたの世帯では現在どのような住居にお住まいですか。親または親族の家に同居しており、生計をともにしている場合には、その住居についてお答えください。(〇は1つ) (n=1,734)

(68.4%) 持ち家(一戸建て)	(0.4%) 民間の借家(一戸建て)	} →8ページの 問16へ
(0.7%) 持ち家(定期借地権付き一戸建て住宅)	(10.3%) 民間の借家 (マンション、アパート等の集合住宅)	
(9.9%) 持ち家(マンション)	(5.7%) 公団・公社・公営の賃貸アパート	
	(1.0%) 社宅・官舎	
	(0.4%) その他 (具体的に:)	
	→ 8ページの問15へ	

→【問14で、「1」～「3」(持ち家)と回答した方に】

(0.7%) 無回答

問14-1 それほどなたの所有ですか。土地ではなく建物についてお答えください。(〇はいくつでも) (n=1,369)

(86.0%) 世帯主	(2.9%) 子ども	} → 8ページの 問15へ
(14.7%) 配偶者	(0.4%) 子どもの配偶者	
	(0.1%) 孫	
	(7.3%) 親、配偶者の親	
	(0.2%) その他(具体的に)	
	(0.5%) 無回答	

→【問14-1で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問14-2 それほどどのようにして取得されましたか。(〇は1つ) (n=1,249)

(80.3%) 購入した	(0.6%) その他
(18.3%) 相続または譲渡を受けた	(具体的に)
	(0.9%) 無回答

問14-1で、「1 世帯主」または「2 配偶者」と回答した方に】

問14-3 それを購入・相続・譲渡された時期はいつでしたか。(実数記入) (n=1,249)

※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(1.7%) 1年未満	(16.7%) ～15年未満	(12.0%) ～40年未満
(4.2%) ～3年未満	(11.5%) ～20年未満	(5.8%) ～50年未満
(6.2%) ～5年未満	(8.6%) ～25年未満	(1.9%) 50年以上前
(14.7%) ～10年未満	(7.5%) ～30年未満	(9.3%) 無回答

【問14-2で、「1 購入した」と回答した方に。それ以外の方は問15へお進みください。】

問14-4 資金調達の内訳をお答えください。

※調達していない場合は、「X 調達していない」に〇をおつけください。

①金融機関からの借入金 (n=682)

(0.3%) ～100万円未満	(3.2%) ～700万円未満	(19.5%) ～5000万円未満
(2.2%) ～200万円未満	(3.2%) ～1000万円未満	(2.1%) ～1億円未満
(0.7%) ～300万円未満	(16.4%) ～1500万円未満	(0.3%) 1億円以上
(1.5%) ～400万円未満	(15.4%) ～2000万円未満	
(1.2%) ～500万円未満	(34.0%) ～3000万円未満	

(68.0%) 調達した (14.7%) 調達していない (17.3%) 無回答 (n=1,003)

②それ以外の借入金 (n=93)

(3.2%) ～100万円未満	(21.5%) ～700万円未満	(3.2%) ～5000万円未満
(7.5%) ～200万円未満	(6.5%) ～1000万円未満	(-) ～1億円未満
(6.5%) ～300万円未満	(14.0%) ～1500万円未満	(-) 1億円以上
(15.1%) ～400万円未満	(7.5%) ～2000万円未満	
(5.4%) ～500万円未満	(9.7%) ～3000万円未満	

(9.3%) 調達した (43.5%) 調達していない (47.3%) 無回答 (n=1,003)

③親からの援助 n=(155)

(3.2%) ~100万円未満	(15.5%) ~700万円未満	(3.2%) ~5000万円未満
(10.3%) ~200万円未満	(7.1%) ~1000万円未満	(-) ~1億円未満
(10.3%) ~300万円未満	(18.7%) ~1500万円未満	(-) 1億円以上
(14.2%) ~400万円未満	(5.8%) ~2000万円未満	
(5.2%) ~500万円未満	(6.5%) ~3000万円未満	

(15.5%) 調達した (40.4%) 調達していない (44.2%) 無回答 (n=1,003)

問14-4①「金融機関からの借入金」がある方は問14-5へ。それ以外の方は問15へお進みください。

【問14-4で、「①金融機関からの借入金」があると回答した方に】

問14-5 次のうち主にどの金融機関から調達されましたか。(〇はいくつでも) (n=682)

(62.3%) 民間金融機関	(41.1%) 住宅金融支援機構(旧 住宅金融公庫)
	(3.4%) その他 (具体的に)

(4.3%) 無回答

→ **【問14-5で、「1 民間金融機関」と回答した方に】**

問14-6 民間金融機関はどちらでしたか。金融機関名をご記入ください。複数の金融機関から借り入れている場合は、最も金額の多い機関名をご記入ください。(n=425)

(69.6%) 銀行
(24.9%) 協同組織金融機関
(1.9%) その他
(3.5%) 不明・無回答

問14-7 民間金融機関からの借入金について金利のタイプは次のうちどれにあてはまりますか。(〇は1つ) (n=425)

(38.4%) 変動金利型	(28.7%) 固定金利期間選択型(10年以下)	(3.8%) 全期間固定金利型(10年以下)
	(9.2%) 固定金利期間選択型(10年超)	(14.4%) 全期間固定金利型(10年超)

(5.6%) 無回答

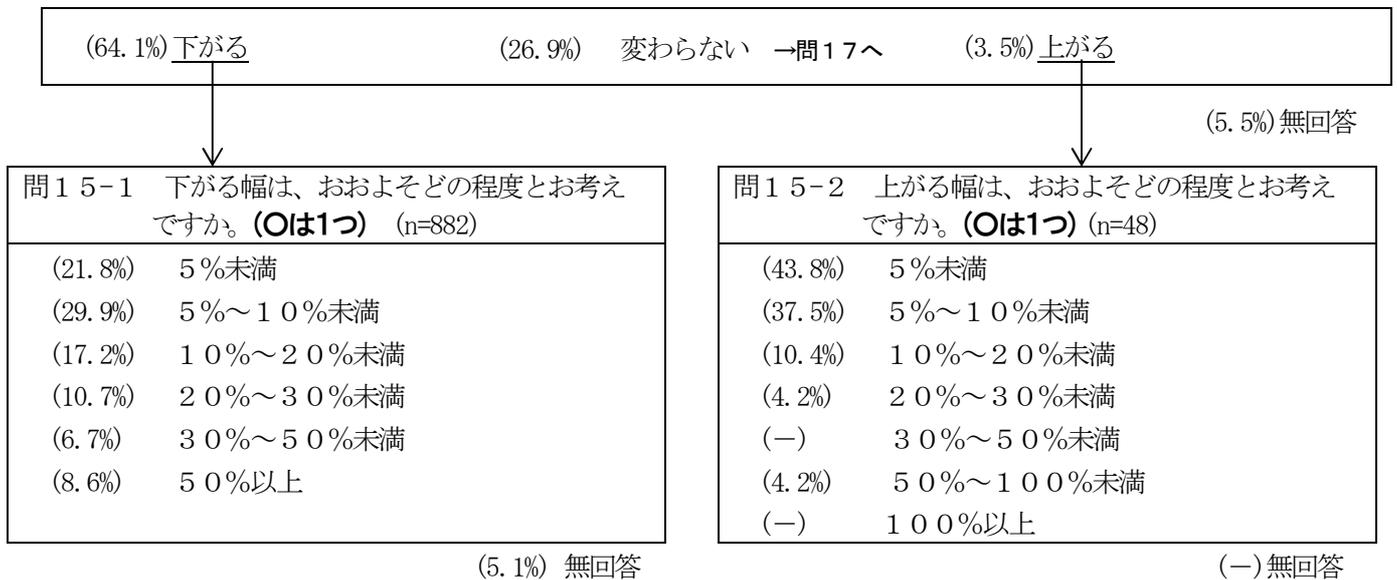
問14-8 民間金融機関から借入れたときの金利はおおよそどの位でしたか。(実数記入) (n=425)

(9.9%) 0.5%未満	(8.9%) ~2.5%未満	(0.9%) ~4.5%未満
(8.7%) ~1.0%未満	(5.9%) ~3.0%未満	(0.5%) ~5.0%未満
(8.9%) ~1.5%未満	(4.0%) ~3.5%未満	(7.1%) 5.0%以上
(9.4%) ~2.0%未満	(1.6%) ~4.0%未満	(34.1%) 無回答

【問14(現在お住まいの住居)で、「1」~「3」(持ち家)、または「8 その他」と回答した方に】

問15 現在お住まいの住居について、3年後のその資産価値はどうかと思えますか。

マンションにお住まいの方は専有部分についてのみお答えください。(〇は1つ) (n=1,376)



ご回答後は問17へお進みください。

【問14(現在お住まいの住居)で、「4」~「7」(借家または賃貸または社宅官舎)と回答した方に】

問16 ひと月の家賃はどれくらいですか。共益費や管理費も含めてご回答ください。(実数記入) (n=346)

(9.2%) 3万円未満	(10.7%) ~8万円未満	(—) 20万円以上
(20.2%) ~5万円未満	(6.9%) ~9万円未満	(19.7%) 無回答
(11.6%) ~6万円未満	(1.4%) ~10万円未満	
(11.3%) ~7万円未満	(9.0%) ~20万円未満	

資産についておうかがいします。

【全員の方に】

問17 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)についてどのような予定をお持ちですか。(〇は1つ) (n=1,734)

- | | |
|---------|-----------------------------|
| (1.3%) | 1年以内に取得を予定 |
| (1.6%) | 5年以内に取得を予定 |
| (7.3%) | 時期ははっきりしないが取得を予定している |
| (61.1%) | 住居の取得・建て替え・買い替えは今のところ考えていない |
| (24.5%) | 将来とも住居を取得する気持ちはない |

(4.3%) 無回答

【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-1 住居を取得(建て替え、買い替えなどを含む)する場合は、どのようにしたいですか。(〇は1つ) (n=175)

- | | | | |
|---------|------|---------|--------|
| (51.4%) | 新規購入 | (11.4%) | 買い替え |
| (32.6%) | 建て替え | (4.0%) | 相続・贈与等 |

(0.6%) 無回答

【問17で、「1」～「3」と回答した方に】

問17-2 資金調達の内訳をお答えください。(実数記入)

※①②③それぞれで調達する予定がない場合は、「X 調達する予定はない」に〇をおつけください。

①金融機関からの借入金 (n=73)

(1.4%)	～100万円未満	(2.7%)	～700万円未満	(21.9%)	～5000万円未満
(—)	～200万円未満	(4.1%)	～1000万円未満	(2.7%)	～1億円未満
(—)	～300万円未満	(16.4%)	～1500万円未満	(—)	1億円以上
(—)	～400万円未満	(6.8%)	～2000万円未満		
(—)	～500万円未満	(43.8%)	～3000万円未満		

(41.7%) 調達する予定あり (37.1%) 調達する予定はない (21.1%) 無回答 (n=175)

②それ以外の借入金 (n=7)

(—)	～100万円未満	(14.3%)	～700万円未満	(14.3%)	～5000万円未満
(14.3%)	～200万円未満	(—)	～1000万円未満	(—)	～1億円未満
(14.3%)	～300万円未満	(14.3%)	～1500万円未満	(—)	1億円以上
(—)	～400万円未満	(14.3%)	～2000万円未満		
(—)	～500万円未満	(14.3%)	～3000万円未満		

(4.0%) 調達する予定あり (58.9%) 調達する予定はない (37.1%) 無回答 (n=175)

③親からの援助 (n=17)

(-) ~100万円未満	(41.2%) ~700万円未満	(5.9%) ~5000万円未満
(-) ~200万円未満	(-) ~1000万円未満	(5.9%) ~1億円未満
(-) ~300万円未満	(35.3%) ~1500万円未満	(-) 1億円以上
(-) ~400万円未満	(5.9%) ~2000万円未満	
(5.9%) ~500万円未満	(-) ~3000万円未満	

(9.7%) 調達する予定あり (53.7%) 調達する予定はない (36.6%) 無回答 (n=175)



回答後は問18へお進みください。

【問17で、「4」または「5」と回答した方に】

問17-3 住居の取得(建て替え、買い替えなどを含む)をお考えになっていないのはなぜですか。(〇はいくつでも)
(n=1,484)

(25.1%) 資金不足	(50.4%) 現在の自宅に満足している
(0.3%) 適当な広さの物件がない	(35.2%) 将来どうなるか分からないから
(0.6%) 立地条件が合わない	(4.6%) その他 (具体的に)

(5.6%) 無回答

仕事と家計についておうかがいします。

【 全員の方に 】

問19 世帯主の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(71.5%) している	(3.0%) していない (求職中)	} →次ページの間21へ
	(24.0%) していない (求職活動もしていない)	

(1.4%) 無回答

【問19で、世帯主の方が現在、収入を伴う仕事を「1 している」と回答した方に】

問19-1 世帯主の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(n=1,240)

(1) 雇用形態 (〇は1つ) (1.5%) 無回答	(62.7%) 正社員・正規職員 (6.9%) 嘱託・契約社員 (0.9%) 派遣社員	(8.3%) パート・アルバイト (7.7%) 自営業(雇人あり) (10.2%) 自営業(雇人なし)	(0.8%) 自営業の手伝い (0.3%) 内職 (0.7%) その他 (具体的に)
(2) 業種 (〇は1つ) (3.5%) 無回答	(4.6%) 農林漁業 (11.0%) 建設業 (19.2%) 製造業 (4.2%) 電気・ガス・熱供給・水道業 (4.4%) 情報通信業 (6.9%) 運輸業	(11.2%) 卸売・小売業 (3.8%) 飲食業・宿泊業 (4.8%) 医療・福祉 (3.5%) 教育・学習支援業 (1.5%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局)	(7.2%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局以外) (7.0%) 公務 (7.3%) その他 (具体的に)
(3) 職種 (〇は1つ) (3.0%) 無回答	(15.0%) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (9.2%) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (11.2%) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (13.0%) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (24.1%) 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (6.7%) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (2.4%) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (4.3%) 農林漁業に関わる職業 (9.1%) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (2.0%) その他 (具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ) (7.9%) 無回答	(15.4%) 5人未満 (7.3%) 5人以上10人未満 (9.4%) 10人以上30人未満 (15.2%) 30人以上100人未満 (9.7%) 100人以上300人未満 (4.7%) 300人以上500人未満 (5.6%) 500人以上1,000人未満 (15.1%) 1,000人以上 (4.2%) 官公庁 (5.6%) わからない		

※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(7.7%) 10時間未満	(34.1%) ~50時間未満	(1.1%) ~90時間未満
(6.3%) ~20時間未満	(16.2%) ~60時間未満	(0.7%) ~100時間未満
(3.6%) ~30時間未満	(10.0%) ~70時間未満	(0.5%) 100時間以上
(6.9%) ~40時間未満	(3.2%) ~80時間未満	(9.6%) 無回答

(6) 入社時期

(0.6%) 1950年代以前	(15.3%) 1980年代	(16.6%) 2010年代
(1.3%) 1960年代	(17.7%) 1990年代	(13.5%) 無回答
(7.7%) 1970年代	(27.3%) 2000年代	

問20 世帯主の方は、何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入)(n=1,240)

(0.1%) 50歳未満	(21.1%) 60~64歳まで	(5.6%) 75~79歳まで
(0.6%) 50~54歳まで	(40.8%) 65~69歳まで	(4.7%) 80歳を超える年齢まで
(1.2%) 55~59歳まで	(17.1%) 70~74歳まで	(8.8%) 無回答

【全員の方に】

問21 世帯主の配偶者の方は、現在、収入をとまなう仕事をしていますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(45.1%) している	(7.0%) していない (求職中)	} → 次ページの間23へ
	(37.3%) していない (求職活動もしていない)	
	(9.6%) 配偶者はいない	

(1.0%) 無回答

【問21で、世帯主の配偶者の方が現在、収入を伴う仕事を「1 している」と回答した方に】

問21-1 世帯主の配偶者の方の現在のお仕事についてお答えください。複数の仕事をお持ちの場合は、主な仕事1つだけについてお答えください。(n=782)

(1) 雇用形態 (〇は1つ) (0.4%) 無回答	(24.9%) 正社員・正規職員 (7.4%) 嘱託・契約社員 (1.3%) 派遣社員	(48.7%) パート・アルバイト (3.1%) 自営業(雇人あり) (4.9%) 自営業(雇人なし)	(7.5%) 自営業の手伝い (1.2%) 内職 (0.6%) その他 ()
(2) 業種 (〇は1つ) (4.3%) 無回答	(3.6%) 農林漁業 (3.7%) 建設業 (10.5%) 製造業 (0.9%) 電気・ガス・熱供給・水道業 (1.8%) 情報通信業 (3.2%) 運輸業	(15.9%) 卸売・小売業 (9.0%) 飲食業・宿泊業 (17.9%) 医療・福祉 (4.5%) 教育・学習支援業 (1.7%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局)	(10.5%) 複合サービス業 (協同組合・郵便局以外) (5.6%) 公務 (7.0%) その他 (具体的に)
(3) 職種 (〇は1つ) (4.1%) 無回答	(19.1%) 専門・技術的職業(医師、看護師、弁護士、教師、技術者、デザイナーなど) (0.8%) 管理的な仕事(企業・官公庁における課長職以上、議員、経営者など) (20.2%) 事務的な仕事(企業・官公庁における一般事務、経理、内勤の営業など) (15.9%) 営業・販売の仕事(小売・卸売店主、店員、不動産売買、保険外交、外勤のセールスなど) (9.1%) 技能工・生産工程に関わる職業 (製品製造・組立て、自動車整備、建設作業員、大工、電気工事、農水産物加工など) (2.9%) 運輸・通信の仕事(トラック・タクシー運転手、船員、郵便配達、通信士など) (0.3%) 保安的職業(警察官、消防士、自衛官、警備員など) (3.7%) 農林漁業に関わる職業 (22.3%) サービスの職業(理・美容師、料理人、ウェイトレス、ホームヘルパーなど) (1.8%) その他 (具体的に)		
(4) 従業員数 (パート・アルバイトなどを含む) (〇は1つ) (7.3%) 無回答	(16.5%) 5人未満 (10.2%) 5人以上10人未満 (15.6%) 10人以上30人未満 (16.8%) 30人以上100人未満	(9.1%) 100人以上300人未満 (3.8%) 300人以上500人未満 (3.3%) 500人以上1,000人未満 (8.3%) 1,000人以上	(3.6%) 官公庁 (5.5%) わからない ※派遣社員や業務委託社員の方は、実際に働いている会社の従業員数をお答えください。

(5) 就労時間

(14.7%) 10時間未満	(26.5%) ~50時間未満	(-) ~90時間未満
(9.2%) ~20時間未満	(5.9%) ~60時間未満	(0.1%) ~100時間未満
(19.7%) ~30時間未満	(2.7%) ~70時間未満	(0.3%) 100時間以上
(14.2%) ~40時間未満	(0.5%) ~80時間未満	(6.3%) 無回答

(6) 入社時期

(0.1%) 1950年代以前	(6.5%) 1980年代	(30.6%) 2010年代
(0.8%) 1960年代	(12.8%) 1990年代	(12.3%) 無回答
(4.5%) 1970年代	(32.5%) 2000年代	

問22 世帯主の配偶者の方は、何歳まで働き続けたいと考えていらっしゃいますか。(実数記入) (n=782)

(2.4%) 50歳未満	(35.0%) 60～64歳まで	(2.9%) 75～79歳まで
(4.7%) 50～54歳まで	(28.9%) 65～69歳まで	(2.3%) 80歳を超える年齢まで
(5.4%) 55～59歳まで	(9.7%) 70～74歳まで	(8.6%) 無回答

【全員の方に】

問23 あなたの世帯の昨年1年間の就労収入について、おうかがいします。

(1) 世帯主の方の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入) (n=1,086)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

(6.7%) ～100万円未満	(12.2%) ～600万円未満	(4.3%) ～1500万円未満
(9.1%) ～200万円未満	(11.8%) ～700万円未満	(0.9%) ～2000万円未満
(11.1%) ～300万円未満	(7.7%) ～800万円未満	(0.4%) 2000万円以上
(14.9%) ～400万円未満	(5.6%) ～900万円未満	
(13.4%) ～500万円未満	(1.7%) ～1000万円未満	

(62.6%) 就労収入がある (22.7%) 昨年1年間は、就労収入はない (14.7%) 無回答 (n=1,734)

(2) では、世帯主の配偶者の昨年1年間の就労収入は、およそいくらですか。

税金・社会保険料などを差し引かれる前の残業手当、ボーナス、臨時収入、副業収入を含む総収入でお答えください。また、自営の場合は、売上高などから必要経費を除いた金額を記入してください。(実数記入) (n=669)

※収入がない場合には「X 昨年1年間は、収入はない」に○をおつけください。

※配偶者がいらっしゃらない場合には、「Y 配偶者はいない」に○をおつけください。

(31.7%) ～100万円未満	(3.4%) ～600万円未満	(0.7%) ～1500万円未満
(32.4%) ～200万円未満	(2.8%) ～700万円未満	(-) ～2000万円未満
(13.9%) ～300万円未満	(1.3%) ～800万円未満	(-) 2000万円以上
(8.4%) ～400万円未満	(-) ～900万円未満	
(5.1%) ～500万円未満	(0.1%) ～1000万円未満	

(38.6%) 就労収入がある (38.0%) 昨年1年間は、就労収入はない (9.6%) 配偶者はいない (13.8%) 無回答 (n=1,734)

問24 あなたの世帯の、昨年1年間の収入の総額は、およそいくらですか。(1) 税金・社会保険料などを差し引かれる前の社会保険給付、贈与、財産収入等を含む総収入(遺産を除く)と(2) 税金・社会保険料などを差し引かれた手取り額でお答えください。**(実数記入)** (n=1,734)

(1) 総収入

(2.4%) ~100万円未満	(9.5%) ~600万円未満	(6.9%) ~1500万円未満
(4.3%) ~200万円未満	(8.6%) ~700万円未満	(1.6%) ~2000万円未満
(8.1%) ~300万円未満	(6.4%) ~800万円未満	(0.8%) 2000万円以上
(10.6%) ~400万円未満	(4.3%) ~900万円未満	無回答 (22.8%)
(10.3%) ~500万円未満	(3.6%) ~1000万円未満	

(2) 手取り額

(2.4%) ~100万円未満	(7.3%) ~600万円未満	(2.5%) ~1500万円未満
(4.8%) ~200万円未満	(5.2%) ~700万円未満	(0.5%) ~2000万円未満
(11.8%) ~300万円未満	(3.6%) ~800万円未満	(0.1%) 2000万円以上
(13.3%) ~400万円未満	(2.5%) ~900万円未満	無回答 (33.9%)
(11.2%) ~500万円未満	(1.0%) ~1000万円未満	

問25 あなたの世帯の支出の状況についておうかがいします。

(1) あなたの世帯の、昨年のひと月あたりの支出は、平均してどのくらいですか。**(実数記入)** (n=1,734)

(2.1%) ~10万円未満	(15.5%) ~30万円未満	(1.9%) ~50万円未満
(4.8%) ~15万円未満	(13.1%) ~35万円未満	(7.2%) 50万円以上
(9.9%) ~20万円未満	(5.7%) ~40万円未満	無回答 (17.6%)
(15.7%) ~25万円未満	(6.5%) ~45万円未満	

(2) 上記(1)でお答えになったひと月あたりの支出金額のうち、住宅などのローンの返済額はどのくらいですか。**(実数記入)** (n=524)

※ローン返済がない場合は「X ローン返済はない」に○をつけてください。

(63.7%) ~10万円未満	(1.0%) ~30万円未満	(-) ~50万円未満
(26.1%) ~15万円未満	(0.6%) ~35万円未満	(1.0%) 50万円以上
(5.9%) ~20万円未満	(0.2%) ~40万円未満	
(1.1%) ~25万円未満	(0.4%) ~45万円未満	

(30.2%) ローン返済がある (57.5%) ローン返済はない (12.3%) 無回答 (n=1,734)

問26 子どもや親との仕送りのやりとりについて、おうかがいします。

- (1) あなたの世帯では、子どもや親と仕送りのやりとりをしていますか。1から5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=1,734)
- (2) 「仕送りがある」場合、月々の仕送り金額は、それぞれいくらですか。(実数記入)

	(1) ある (〇はいくつでも)		(2) 月々の仕送り金額
世帯のお子様へ仕送りを行っている (n=77)	4.4%	→	(-) ~1万円未満 (9.1%) (3.9%) ~3万円未満 (-) (14.3%) ~5万円未満 (1.3%) (16.9%) ~7万円未満 (1.3%) (11.7%) ~10万円未満 (3.9%) (37.7%) ~20万円未満 ~30万円未満 (-) ~40万円未満 ~50万円未満 50万円以上 無回答
世帯主のお子様から仕送りを受けている (n=13)	0.7%	→	(-) ~1万円未満 (-) (-) ~3万円未満 (-) (30.8%) ~5万円未満 (-) (30.8%) ~7万円未満 (-) (7.7%) ~10万円未満 (15.4%) (15.4%) ~20万円未満 ~30万円未満 ~40万円未満 ~50万円未満 50万円以上 無回答
世帯主の親御様に仕送りを行っている (n=28)	1.6%	→	(-) ~1万円未満 (-) (35.7%) ~3万円未満 (-) (28.6%) ~5万円未満 (-) (25.0%) ~7万円未満 (3.6%) (-) ~10万円未満 (3.6%) (3.6%) ~20万円未満 ~30万円未満 ~40万円未満 ~50万円未満 50万円以上 無回答
世帯主の親御様から仕送りを受けている (n=9)	0.5%	→	(-) ~1万円未満 (11.1%) (22.2%) ~3万円未満 (-) (11.1%) ~5万円未満 (-) (22.2%) ~7万円未満 (-) (11.1%) ~10万円未満 (-) (22.2%) ~20万円未満 ~30万円未満 ~40万円未満 ~50万円未満 50万円以上 無回答
上記にいずれもあてはまらない 無回答	82.3% (10.6%)		

問27 あなたの世帯の家計について、おうかがいします。

- (1) あなたの世帯では現在の家計支出をどのような収入でまかなっていますか。(〇はいくつでも) (n=1,734)

※支出には次のものを含みます：食費、光熱費、住宅ローンの返済・住居費（住宅購入費や住宅改修費を除く）、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(64.1%) 給与収入	(3.2%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(8.6%) 事業収入	(20.5%) 貯蓄の取り崩し
(3.8%) 不動産賃貸収入	(2.5%) 退職一時金
(3.0%) 利子・配当等での収入	(2.8%) 満期保険金
(37.7%) 公的年金	(0.4%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(11.5%) 個人年金・企業年金	(0.1%) リバースモーゲージ
(2.1%) 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(1.0%) その他 (具体的に)

(2.2%) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きい収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(選択肢番号記入) (n=1,734) (2.2%)無回答

(56.0%) 給与収入	(0.3%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(5.7%) 事業収入	(2.0%) 貯蓄の取り崩し
(1.0%) 不動産賃貸収入	(0.7%) 退職一時金
(0.1%) 利子・配当等での収入	(0.2%) 満期保険金
(23.8%) 公的年金	(0.3%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(2.1%) 個人年金・企業年金	(-) リバースモーゲージ
(0.4%) 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.4%) その他(具体的に)

(6.8%)無回答

問28 あなたの世帯の年間収入について、1年後の年間収入は現在の年間収入に比べてどうなると思いますか。

(〇は1つ) (n=1,734)

(38.6%) 下がる	(46.8%) 変わらない →次ページの間29へ	(11.8%) 上がる
-------------	--------------------------	-------------

(2.8%)無回答

問28-1 下がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=669)

(35.1%)	5%未満
(30.5%)	5%～10%未満
(15.1%)	10%～20%未満
(7.6%)	20%～30%未満
(3.7%)	30%～50%未満
(5.5%)	50%以上

(2.4%)無回答

問28-2 上がる幅は、おおよそどのくらいとお考えですか。(〇は1つ) (n=205)

(57.1%)	5%未満
(25.4%)	5%～10%未満
(9.3%)	10%～20%未満
(4.9%)	20%～30%未満
(2.0%)	30%～50%未満
(-)	50%～100%未満
(0.5%)	100%以上

(1.0%)無回答

年金についておうかがいします。

【全員の方に】

問29 65歳以上の高齢期に、あなたの世帯では、1か月にどのくらいの支出(消費税を含む)があるとお考えになりますか。高齢期にもっとも可能性の高い家族形態を想定してお答えください(例えば、子どもと生計をともにする可能性が高い場合、二世帯世帯の生活を想定)。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(実数記入) (n=1,734)

(2.1%)	～10万円未満	(15.6%)	～30万円未満	(0.4%)	～50万円未満
(6.8%)	～15万円未満	(14.0%)	～35万円未満	(2.4%)	50万円以上
(13.8%)	～20万円未満	(2.7%)	～40万円未満	(13.6%)	無回答
(26.0%)	～25万円未満	(2.7%)	～45万円未満		

問30 65歳以上の高齢期の家計支出について、おうかがいします。

(1) あなたの世帯では、65歳以上の高齢期の家計支出を何によってまかなうお考えですか。65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。(〇はいくつでも) (n=1,734)

(19.1%) 給与収入	(2.0%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(6.4%) 事業収入	(38.1%) 貯蓄の取り崩し
(4.1%) 不動産賃貸収入	(15.1%) 退職一時金
(2.7%) 利子・配当等での収入	(8.4%) 満期保険金
(74.3%) 公的年金	(0.9%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(32.9%) 個人年金・企業年金	(0.2%) リバースモーゲージ *注
(2.9%) 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.8%) その他(具体的に)

*注 リバースモーゲージとは、持ち家を担保として自治体や信託銀行等から融資を受け、融資額満了時(契約者の死亡時等)に持ち家を売却することにより融資額を一括返済するシステムを指します。

(7.3%) 無回答

(2) 上記(1)でお答えになった収入のうち、最も金額が大きくなるとお考えの収入は何ですか。番号を1つだけ選んで、ご記入ください。(選択肢番号記入) (n=1,734)

(9.9%) 給与収入	(0.6%) 国や市町村等の公的機関からの援助
(4.1%) 事業収入	(5.6%) 貯蓄の取り崩し
(1.4%) 不動産賃貸収入	(2.5%) 退職一時金
(0.2%) 利子・配当等での収入	(1.0%) 満期保険金
(51.4%) 公的年金	(0.6%) 土地・家屋などの不動産売却収入
(8.4%) 個人年金・企業年金	(-) リバースモーゲージ
(0.7%) 子ども、親戚などからの援助(仕送り)	(0.2%) その他(具体的に)
	(13.5%) 無回答

問31 あなたの世帯では、世帯主の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(38.1%) <input checked="" type="checkbox"/> すでに受け取っている	(5.7%) 公的年金を受け取る資格がない
(52.9%) <input type="checkbox"/> 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	→次ページの間32へ

(3.3%) 無回答

【問31で「1」または「2」と回答した方に】

問31-1 世帯主の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。(〇は1つ) (n=1,578)

(68.0%) 厚生年金(民間サラリーマンの年金)	(17.8%) 国民年金
(13.1%) 共済組合の年金(公務員やこれに準ずる者の年金)	(1.1%) 無回答

問31-2 世帯主の方の公的年金受給開始年齢は、何歳ですか。まだ受け取っていない場合は、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=1,578)

(1.1%) 60歳未満	(2.2%) 66歳以上
(37.1%) 60~65歳未満	(9.9%) 無回答
(49.6%) 65歳	

問3 1-3 世帯主の方の公的年金受取額は毎月おおよそいくら位ですか。まだ受け取っていない場合は、現在の価値での受取予想額をご記入ください。(実数記入) (n=1,578)

(2.6%)	5万円未満	(16.6%)	～15万円未満	(4.5%)	～30万円未満
(6.8%)	～7万円未満	(19.8%)	～20万円未満	(1.7%)	30万円以上
(9.5%)	～10万円未満	(16.0%)	～25万円未満	(22.5%)	無回答

【問31で、世帯主の方は「2 今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」と回答した方に。
すでに公的年金を受け取っている方は、問32にお進みください。】

問3 1-4 実際の受取金額が上記の予想受取額より 2割下がる 可能性は何%程度だと思いますか。(〇は1つ) (n=918)

(7.6%)	10%未満	(7.2%)	40%～50%未満	(3.1%)	80%～90%未満
(6.1%)	10%～20%未満	(8.7%)	50%～60%未満	(13.0%)	90%以上
(4.1%)	20%～30%未満	(2.4%)	60%～70%未満	(31.3%)	わからない
(3.1%)	30%～40%未満	(4.9%)	70%～80%未満	(8.6%)	無回答

問3 1-5 実際の受取金額が上記の予想受取額より 2割上がる 可能性は何%程度だと思いますか。(〇は1つ) (n=918)

(47.1%)	10%未満	(1.0%)	40%～50%未満	(0.2%)	80%～90%未満
(3.4%)	10%～20%未満	(0.9%)	50%～60%未満	(0.5%)	90%以上
(0.5%)	20%～30%未満	(0.1%)	60%～70%未満	(34.5%)	わからない
(0.7%)	30%～40%未満	(0.3%)	70%～80%未満	(10.8%)	無回答

【全員の方へ】

問3 2 では、世帯主の配偶者の方は現在公的年金の給付がありますか。(〇は1つだけ) (n=1,734)

(27.7%)	すでに受け取っている	(6.1%)	公的年金を受け取る資格がない	} → 次ページの 問33へ
(51.8%)	今は受け取っていないが、将来は受け取る予定	(9.6%)	配偶者はいない	
			(4.8%)	

→【問32で「1」または「2」と回答した方に】

問3 2-1 世帯主の配偶者の方が加入または受給または受け取る予定の公的年金は何ですか。(〇は1つ) (n=1,379)

(48.1%)	厚生年金(民間サラリーマンの年金)	(42.6%)	国民年金	(1.7%)	無回答
(7.6%)	共済組合の年金(公務員やこれに準ずる者の年金)				

問3 2-2 世帯主の配偶者の方の公的年金受給開始年齢は何歳ですか。まだ受け取っていない場合、受給開始予定年齢をご記入ください。(実数記入) (n=1,379)

(0.7%)	60歳未満	(2.8%)	66歳以上
(29.1%)	60～65歳未満	(11.0%)	無回答
(56.4%)	65歳		

【問32で「1」または「2」と回答した方に】

問3 2-3 世帯主の配偶者の方の公的年金受取額は毎月おおよそいくら位ですか。まだ受け取っていない場合は、現在の価値での受取予想額をご記入ください。**(実数記入)** (n=1, 379)

(12.4%)	5万円未満	(14.3%)	～15万円未満	(0.5%)	～30万円未満
(20.7%)	～7万円未満	(5.9%)	～20万円未満	(-)	30万円以上
(18.3%)	～10万円未満	(3.4%)	～25万円未満	(24.4%)	無回答

【問32で、世帯主の配偶者の方は、「2今は受け取っていないが、将来は受け取る予定」と回答した方に。

すでに公的年金を受け取っている方は、問33にお進みください。】

問3 2-4 実際の受取金額が上記の予想受取額より **2割下がる** 可能性は何%程度だと思いますか。 **(〇は1つ)**
(n=899)

(7.8%)	10%未満	(6.7%)	40%～50%未満	(3.4%)	80%～90%未満
(6.6%)	10%～20%未満	(8.5%)	50%～60%未満	(11.8%)	90%以上
(3.8%)	20%～30%未満	(2.6%)	60%～70%未満	(33.8%)	わからない
(3.3%)	30%～40%未満	(3.3%)	70%～80%未満		

(8.5%) 無回答

問3 2-5 実際の受取金額が上記の予想受取額より **2割上がる** 可能性は何%程度だと思いますか。 **(〇は1つ)**
(n=899)

(44.6%)	10%未満	(0.9%)	40%～50%未満	(0.2%)	80%～90%未満
(2.8%)	10%～20%未満	(0.7%)	50%～60%未満	(0.6%)	90%以上
(0.6%)	20%～30%未満	(0.1%)	60%～70%未満	(37.2%)	わからない
(0.6%)	30%～40%未満	(0.2%)	70%～80%未満		

(11.7%) 無回答

【全員の方へ】

問3 3 あなたの世帯では、公的年金で、65歳以上の高齢期の支出を何割程度まかなえるとお考えでしょうか。

全部まかなえると思う方は「100」%とお答えください。また、公的年金が高齢期の支出を上回るとお考えの場合には「100」以上の数字をご記入ください。

65歳以上の方は、現在の状況をお答えください。**(実数記入)** (n=1, 734)

(例：1か月の公的年金額が24万円で、65歳以上の高齢期の支出が20万円の場合は、24/20となるので、「120」%程度とご記入ください。)

※支出には次のものを含まず。

食費、光熱費、住宅ローン返済・住居費(住宅購入費や住宅改修費を除く)、被服費、耐久消費財購入費、交通・通信費、保健・医療費、教育娯楽・交際費

(1.0%)	0%	(31.5%)	～100%未満	(0.7%)	～170%未満
(0.7%)	～10%未満	(13.8%)	100%未満	(0.1%)	～200%未満
(10.4%)	～50%未満	(0.8%)	～120%未満	(0.5%)	200%以上
(19.3%)	～70%未満	(4.0%)	～150%未満	(17.1%)	無回答

問34 あなたの世帯では、公的年金受給前に、どのくらい貯蓄額が必要だとお考えになりますか。すでに公的年金を受給している場合は、公的年金を受給開始時の貯蓄額をお答えください。(実数記入) (n=1,734)

(1.4%)	0万円	(17.2%)	1500万円未満	(11.2%)	3500万円未満
(7.4%)	500万円未満	(3.7%)	2000万円未満	(2.3%)	5000万円未満
(7.4%)	700万円未満	(12.6%)	2500万円未満	(8.8%)	5000万円以上
(1.8%)	1000万円未満	(1.6%)	3000万円未満	(24.5%)	無回答

遺産についておうかがいします。

【全員の方に】

問35 あなたの世帯では、子どもに残す遺産(生前贈与を含む)に関してどのようにお考えですか。子どもがいらっしゃらない場合は、いらっしゃると仮定してお答えください。(〇は1つ) (n=1,734)

(26.5%)	遺産(生前贈与を含む)は、いかなる場合においても残したい
(4.5%)	遺産(生前贈与を含む)は、子どもが面倒を見てくれた場合に限って残したい
(1.1%)	遺産(生前贈与を含む)は、子どもが事業を継いでくれた場合に限って残したい
(43.9%)	遺産(生前贈与を含む)を積極的に残すつもりはないが、余った場合には残したい
(1.3%)	その他 (具体的に)
(19.3%)	遺産(生前贈与を含む)を残したいとは思わない → 次ページ問36へ

(3.5%) 無回答

➤【問35で「1」～「5」と回答した方に】

問35-1 あなたの世帯では、どのような資産を子どもに残したいとお考えですか。(〇はいくつでも) (n=1,340)

(36.2%)	相続・贈与を受けた住宅・土地	(3.8%)	相続・贈与を受けたその他の資産
(49.3%)	みずから取得した住宅・土地	(10.1%)	みずから取得したその他の資産
(6.9%)	相続・贈与を受けた貯蓄等の金融資産	(1.3%)	その他 (具体的に)
(54.5%)	みずから蓄積した貯蓄等の金融資産		

(2.5%) 無回答

問35-2 あなたの世帯で資産(生前贈与を含む)を子どもに残される場合、金融資産・住宅・土地その他の資産を含めた金額はどのくらいの金額になるとの見当がついていますか。(〇は1つ) (n=1,340)

(7.7%) ある程度見当がついている n=(103)	(10.7%)	～1000万円未満	(16.5%)	～5000万円未満
	(23.3%)	～1500万円未満	(8.7%)	～1億円未満
	(5.8%)	～2000万円未満	(3.9%)	1億円以上
	(20.4%)	～3000万円未満	(10.7%)	無回答
(82.4%)	見当がついていない			

(9.9%) 無回答

問35-3 遺産(生前贈与を含む)を子どもに残す場合、その分け方に対する考え方を教えてください。(〇は1つ)
(n=1,340)

- (54.9%) 子どもの人数に応じて、均等に分ける
- (7.1%) 家業などを継いだ子どもに、多く(もしくは全部)分ける
- (0.1%) 家業などを継がなかった子どもに、多く(もしくは全部)分ける
- (4.3%) 長男・長女に、多く(もしくは全部)分ける
- (14.9%) 介護など親の面倒を見た子どもに、多く(もしくは全部)分ける
- (13.8%) 子どもが1人なので、その子に全部残す
- (2.8%) その他 (具体的に)

(2.1%) 無回答

【全員の方に】

問36 政府は遺産にかかる相続税の基礎控除額を現在の「5,000万円+1,000万円×法定相続人の数」から「3,000万円+600万円×法定相続人の数」へ引き下げを検討しています。

それが仮に実施された場合、あなたの世帯に残される遺産について、基礎控除限度額内になるように調整をおこないたいと思いますか。(〇は1つ) (n=1,734)

- | | | | |
|--------------------------|---------------------------------|---|---------|
| (22.8%) 限度額以内になるように調整したい | (13.9%) 限度額以内にするような調整をおこなう予定はない | } | →問36-2へ |
| | (55.0%) 基礎控除額の引き下げがあってもなくても関係ない | | |

(8.2%) 無回答

→【問36で、「1 限度額以内になるように調整したい」と回答した方に】

問36-1 どのように減らしますか。(〇は1つ) (n=396)

- | | |
|-----------------|--------------------|
| (44.7%) 消費に回す | (2.5%) 寄付する |
| (47.7%) 生前贈与に回す | (3.3%) その他 (具体的に) |



ご回答後は問37へお進みください。

(1.8%) 無回答

【問36で、「2」または「3」と回答した方に】

問36-2 あなたが、遺産について調整をおこなわない理由は何ですか。(〇はいくつでも) (n=1,195)

- (67.4%) もともと遺産予定額は3千万円未満だから
- (2.5%) もともと遺産予定額は5千万円を大きく超えているから
- (20.4%) 税金のことをあまり気にしていないから
- (7.2%) その他 (具体的に)

(3.8%) 無回答

【全員の方に】

問37 あなたの世帯では、世帯主の親からの遺産相続を受けたことがありますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(23.0%) 相続を受けたことがある	(73.9%) 相続を受けたことはない → 20ページの問38へ
---------------------	----------------------------------

(3.1%) 無回答

→ **【問37で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】**

問37-1 親からの遺産の相続を受けたのは今から何年前のことですか。(実数記入) (n=399)

※複数回受けたことがある場合は、一番最近受けたときのことをお答えください。

(12.0%) 3年未満前	(18.3%) ~15年未満前	(19.5%) 30年以上前
(7.3%) ~5年未満前	(10.8%) ~20年未満前	(2.3%) 無回答
(5.5%) ~7年未満前	(8.8%) ~25年未満前	
(9.3%) ~10年未満前	(6.3%) ~30年未満前	

【問37で「1 相続を受けたことがある」と回答した方に】

問37-2 世帯主の親から相続した資産についておうかがいします。

(1) 世帯主の親から相続した遺産はどのような種類の資産ですか。1～5のうち、あてはまるものをすべてお知らせください。(〇はいくつでも) (n=399)

(2) 世帯主の親から相続したものについて、それぞれ、その資産の相続時の価額をご記入ください。(実数記入)
※複数回受けただけある場合は、受けたことのあるものをすべて含めてお答えください。

(1) 相続した 資産(〇は いくつでも)		(2) 相続時の価額	
居住用の不 動産(一戸建 て) (n=233)	58.4%	(1.7%) ~ 100万円未満 (4.3%) ~ 200万円未満 (4.3%) ~ 300万円未満 (3.9%) ~ 400万円未満 (2.6%) ~ 500万円未満 (12.9%) ~ 700万円未満 (3.9%) ~ 1000万円未満	(11.6%) ~ 1500万円未満 (8.2%) ~ 2000万円未満 (7.3%) ~ 3000万円未満 (6.4%) ~ 5000万円未満 (1.7%) 5000万円以上 (31.3%) 無回答
居住用の不 動産(マンシ ョン) (n=10)	2.5%	(-) ~ 100万円未満 (-) ~ 200万円未満 (10.0%) ~ 300万円未満 (20.0%) ~ 400万円未満 (-) ~ 500万円未満 (30.0%) ~ 700万円未満 (10.0%) ~ 1000万円未満	(-) ~ 1500万円未満 (-) ~ 2000万円未満 (10.0%) ~ 3000万円未満 (-) ~ 5000万円未満 (10.0%) 5000万円以上 (10.0%) 無回答
その他の不 動産 (n=154)	38.6%	(3.9%) ~ 100万円未満 (5.2%) ~ 200万円未満 (3.2%) ~ 300万円未満 (4.5%) ~ 400万円未満 (1.9%) ~ 500万円未満 (9.1%) ~ 700万円未満 (3.2%) ~ 1000万円未満	(12.3%) ~ 1500万円未満 (3.2%) ~ 2000万円未満 (2.6%) ~ 3000万円未満 (9.1%) ~ 5000万円未満 (11.7%) 5000万円以上 (29.9%) 無回答
金融資産 (n=109)	27.3%	(2.8%) ~ 100万円未満 (9.2%) ~ 200万円未満 (9.2%) ~ 300万円未満 (13.8%) ~ 400万円未満 (3.7%) ~ 500万円未満 (13.8%) ~ 700万円未満 (8.3%) ~ 1000万円未満	(11.9%) ~ 1500万円未満 (4.6%) ~ 2000万円未満 (3.7%) ~ 3000万円未満 (3.7%) ~ 5000万円未満 (1.8%) 5000万円以上 (13.8%) 無回答
その他 (n=6) (具体的 に)	1.5%	(-) ~ 100万円未満 (-) ~ 200万円未満 (-) ~ 300万円未満 (33.3%) ~ 400万円未満 (-) ~ 500万円未満 (-) ~ 700万円未満 (-) ~ 1000万円未満	(16.7%) ~ 1500万円未満 (-) ~ 2000万円未満 (16.7%) ~ 3000万円未満 (-) ~ 5000万円未満 (-) 5000万円以上 (33.3%) 無回答
合計 n=(376)		(1.6%) ~ 100万円未満 (3.7%) ~ 200万円未満 (4.0%) ~ 300万円未満 (7.2%) ~ 400万円未満 (1.3%) ~ 500万円未満 (9.6%) ~ 700万円未満 (2.9%) ~ 1000万円未満	(11.4%) ~ 1500万円未満 (8.5%) ~ 2000万円未満 (7.4%) ~ 3000万円未満 (8.0%) ~ 5000万円未満 (7.4%) 5000万円以上 (26.9%) 無回答

無回答 (5.8%)

問37-3 世帯主の親から受けたことのある遺産は、世帯主の方のほかに、どなたが受け取りましたか。(〇はいくつでも) (n=399)

- (21.6%) 親の配偶者が受け取った →次ページの間38へ
- (42.9%) 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った
- (2.3%) 他の親族が受け取った
- (-) 寄付した
- (-) その他 (具体的に)
- (34.3%) 世帯主の方以外に受け取った人はいない

(8.0%) 無回答

→【問37-3で「2 世帯主の兄弟・姉妹が受け取った」と回答した方に】

問37-4 その遺産はどのように分けられましたか。(〇はいくつでも) (n=171)

- (52.0%) 兄弟・姉妹の間で、ほぼ均等に分けられた
- (26.9%) 兄弟・姉妹の間で、家業などを継いだ子どもに多く(もしくは全部)分けた
- (-) 兄弟・姉妹の間で、家業などを継がなかった子どもに多く(もしくは全部)分けた
- (11.7%) 兄弟・姉妹の間で、長男・長女に多く(もしくは全部)分けた
- (12.9%) 兄弟・姉妹の間で、介護など親の面倒を見た子どもに多く(もしくは全部)分けた
- (0.6%) 子どもが1人なのでその子どもがすべてを相続した
- (4.7%) その他 (具体的に)

【全員の方に】

(1.2%) 無回答

問38 あなたの世帯では将来、世帯主の親、または配偶者の親から、不動産や金融資産などを遺産または生前贈与してもらえると思いますか。(〇は1つ) (n=1,734)

- (22.8%) もらえると思う (または、すでにもらっている)
- (43.2%) もらえると思わない (または、もらえなかった)
- (29.4%) わからない

(4.6%) 無回答

→【問38で「1 もらえると思う(または、すでにもらっている)」と回答した方のみ】

問38-1 それはどのような種類ですか。(〇はいくつでも) (n=396)

- (59.8%) 居住用の不動産 (一戸建て) (32.1%) その他の不動産 (3.0%) その他
- (3.8%) 居住用の不動産 (マンション) (38.6%) 金融資産

(1.8%) 無回答

問38-2 また、その時価総額はいくら位になると思いますか。(実数記入) (n=396)

(0.3%) ~100万円未満	(10.6%) ~700万円未満	(7.1%) ~5000万円未満
(2.3%) ~200万円未満	(4.8%) ~1000万円未満	(5.3%) ~1億円未満
(2.5%) ~300万円未満	(14.1%) ~1500万円未満	(2.0%) 1億円以上
(2.5%) ~400万円未満	(2.8%) ~2000万円未満	(33.8%) 無回答
(2.0%) ~500万円未満	(9.8%) ~3000万円未満	

あなたとご家族のことについておうかがいします。

【全員の方に】

F 1 世帯主の性別についておうかがいします。(〇は1つ) (n=1,734)

(92.6%) 男性	(7.3%) 女性	(0.1%) 無回答
------------	-----------	------------

F 2 世帯主のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入) (n=1,734)

※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(1.6%) 20歳代	(19.8%) 50歳代	(0.6%) 無回答
(12.7%) 30歳代	(25.0%) 60歳代	
(19.1%) 40歳代	(21.1%) 70歳以上	

F 3 世帯主のご健康状態は、いかがでしょうか。(〇は1つ) (n=1,734)

(44.9%) 健康である	(10.8%) あまり健康でない	(0.3%) 無回答
(40.1%) まあ健康である	(3.9%) 健康でない	

【全員の方に】

F 4 あなたの世帯が昨年1年間に支払った所得税・住民税・社会保険料はいくらでしたか。(実数記入)

※ない場合には「X ない」に〇をおつけください。

①所得税・住民税 n=(874)

(21.7%) ~10万円未満	(6.2%) ~50万円未満	(4.0%) ~200万円未満
(18.2%) ~20万円未満	(8.5%) ~70万円未満	(4.6%) ~200万円以上
(12.7%) ~30万円未満	(5.9%) ~100万円未満	
(11.2%) ~40万円未満	(7.0%) ~150万円未満	

(50.4%) あり (10.8%) ない (38.8%) 無回答 (n=1,734)

②社会保険料 (n=875)

(5.5%) ~10万円未満	(9.8%) ~50万円未満	(1.4%) ~200万円未満
(13.1%) ~20万円未満	(17.1%) ~70万円未満	(2.2%) ~200万円以上
(15.3%) ~30万円未満	(12.2%) ~100万円未満	
(12.7%) ~40万円未満	(10.6%) ~150万円未満	

(50.5%) あり (10.4%) ない (39.2%) 無回答 (n=1,734)

F 5 世帯主の最終学歴はどれにあたりますか。(〇は1つ) (n=1,734)

(13.5%) 中学校(旧制小・高等小)	(6.0%) 短大・高等専門学校	(0.3%) その他(具体的に)
(40.9%) 高等学校(旧制中・旧制高女)	(20.1%) 大学・大学院(文系)	(0.3%) わからない
(7.2%) 専修学校・各種学校	(10.1%) 大学・大学院(理系)	

無回答 (1.6%)

F 6 あなた（このアンケートをご記入くださっている方）は、どなたですか。（〇は1つ）（n=1,734）

(53.6%) 世帯主ご本人	(-) 世帯主の親、世帯主の配偶者の親
(46.4%) 世帯主の配偶者	(-) 世帯主の祖父、または祖母
(-) 世帯主の子ども	(-) 世帯主の兄弟・姉妹
(-) 世帯主の子どもの配偶者	(-) その他（具体的に：)
(-) 世帯主の孫	

無回答 (-)

F 7 現在、同居のご家族の方は、あなたを含めて何人いらっしゃいますか。ひとり暮らしの方は、「1」とご記入ください。（実数記入）（n=1,734）

(-) 1人	(8.8%) 5人
(35.2%) 2人	(3.5%) 6人
(25.8%) 3人	(2.4%) 7人以上
(24.3%) 4人	(-) 無回答

F8 現在、あなたが同居しているご家族の方々は、どなたですか。あなたご自身を含め、あてはまる方すべてに○をつけ、それぞれ人数もご記入ください。(○はいくつでも) (n=1,734)

	同居家族の世帯構成	人 数				
世帯主	97.6%					
世帯主の配偶者	89.3%					
世帯主の子ども (n=1,067)	61.5%	(48.5%) 1人 (37.3%) 2人 (9.4%) 3人 (1.4%) 4人		(0.2%) 5人 (-) 6人 (0.1%) 7人以上		(3.1%) 無回答
世帯主の子どもの配偶者 (n=69)	4.0%	(91.3%) 1人 (1.4%) 2人 (1.4%) 3人 (-) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(5.8%) 無回答
世帯主の孫 (n=82)	4.7%	(42.7%) 1人 (39.0%) 2人 (15.9%) 3人 (1.2%) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(1.2%) 無回答
世帯主の親、世帯主の配偶者の親 (n=268)	15.5%	(69.8%) 1人 (16.4%) 2人 (-) 3人 (-) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(13.8%) 無回答
世帯主の祖父、または祖母 (n=9)	0.5%	(77.8%) 1人 (22.2%) 2人 (-) 3人 (-) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(-) 無回答
世帯主の兄弟・姉妹 (n=23)	1.3%	(87.0%) 1人 (8.7%) 2人 (-) 3人 (-) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(4.3%) 無回答
その他 (n=7)	0.4%	(57.1%) 1人 (28.6%) 2人 (-) 3人 (-) 4人		(-) 5人 (-) 6人 (-) 7人以上		(14.3%) 無回答

無回答 (-)

【F8で、「3 世帯主の子ども」に○をつけた方のみ】 (n=1,067)

(11.8%) 3歳未満	(3.9%) 9歳～11歳未満	(5.9%) 17歳～20歳未満
(6.0%) 3歳～5歳未満	(4.7%) 11歳～13歳未満	(42.5%) 20歳以上
(5.7%) 5歳～7歳未満	(5.7%) 13歳～15歳未満	(4.3%) 無回答
(4.9%) 7歳～9歳未満	(4.5%) 15歳～17歳未満	

【F8で、「5 世帯主の孫」に○をつけた方のみ】 (n=82)

(15.9%) 3歳未満	(12.2%) 9歳～11歳未満	(6.1%) 17歳～20歳未満
(14.6%) 3歳～5歳未満	(11.0%) 11歳～13歳未満	(2.4%) 20歳以上
(4.9%) 5歳～7歳未満	(9.8%) 13歳～15歳未満	(3.7%) 無回答
(11.0%) 7歳～9歳未満	(8.5%) 15歳～17歳未満	

【全員の方に】

F 9 生計をともにしている別居中のご家族がいらっしゃいますか。(○は1つ) (n=1,734)

(11.8%) いる	(86.4%) いない	(1.8%) 無回答
------------	-------------	------------

F 1 0 世帯主のお子様のうち、同別居に関わらず、すでに独立しておられる方(働いて収入を得ていたり、専業主婦になっていたりして生計を別にしている方)は、現在どちらにお住まいですか。(○はいくつでも) (n=1,734)

(11.2%) すでに独立している子どもと現在同居している	(13.7%) 無回答
(8.9%) 近所(徒歩15分以内)に別居している子どもがいる	
(16.5%) 片道1時間未満のところに別居している子どもがいる	
(21.8%) 片道1時間以上のところに別居している子どもがいる	
(37.5%) 独立している子どもはいない(または子どもがいない)	

F 1 1 世帯主の配偶者の方のお生まれの年月をご記入ください。(実数記入) (n=1,482)

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、「X 世帯主に配偶者はいない」に○をつけて、次ページのF 1 4へお進みください。

※最終ページの「西暦・元号対比表」をご参照ください。

(2.7%) 20歳代	(20.3%) 50歳代
(16.1%) 30歳代	(24.1%) 60歳代
(21.7%) 40歳代	(15.1%) 70歳以上

(85.5%) 配偶者がいる (9.6%) 世帯主に配偶者はいない→次ページのF 1 4へ 無回答 (4.9%) (n=1,734)

F 1 2 世帯主の配偶者の方のご健康状態は、いかがでしょうか。(○は1つ) (n=1,482)

(45.6%) 健康である	(9.9%) あまり健康でない	(0.1%) 無回答
(41.0%) まあ健康である	(3.4%) 健康でない	

F 1 3 世帯主の配偶者の方の最終学歴はどれにあたりますか。(○は1つ) (n=1,482)

(10.5%) 中学校(旧制小・高等小)	(20.5%) 短大・高等専門学校	(0.2%) その他
(44.6%) 高等学校(旧制中・旧制高女)	(10.7%) 大学・大学院(文系)	(具体的に)
(11.1%) 専修学校・各種学校	(1.9%) 大学・大学院(理系)	(0.1%) わからない

(0.4%) 無回答

【全員の方に】

F14 世帯主の方、または世帯主の配偶者の親御様についておうかがいします。

※世帯主の配偶者がいらっしゃらない場合は、世帯主の親御様についてのみお答えください。

- (1) 現在、どのようにお住まいですか。(〇はそれぞれ1つつ)
- (2) 親御様の中に、介護が必要な方はいらっしゃいますか。(〇はそれぞれ1つつ)

【F14(2)で、「2 (介護を)必要とする」とお答えの方について】

- (3) 介護が必要な親御様がいらっしゃる場合、主な介護者はどなたですか。(〇はそれぞれ1つつ)
- (4) 介護のために、あなたの世帯が負担されている費用は月々いくらくらいですか。費用負担がない場合には、「0」を記入してください。(実数記入)

	世帯主のご両親		[世帯主に配偶者のいる方に] 配偶者のご両親	
	母親 (n=1,734)	父親 (n=1,734)	母親 (n=1,482)	父親 (n=1,482)
(1) あなたとの同別居状態 (〇はそれぞれ1つつ)	(10.3%) 同居中 (17.5%) 別居中 (同じ市町村) (24.1%) 別居中 (他の地域) (41.5%) 母親はいない	(3.2%) 同居中 (12.3%) 別居中 (同じ市町村) (16.3%) 別居中 (他の地域) (59.9%) 父親はいない	(3.9%) 同居中 (20.6%) 別居中 (同じ市町村) (33.1%) 別居中 (他の地域) (36.0%) 母親はいない	(1.1%) 同居中 (13.3%) 別居中 (同じ市町村) (23.0%) 別居中 (他の地域) (55.3%) 父親はいない
	(6.6%) 無回答	(8.2%) 無回答	(6.4%) 無回答	(7.2%) 無回答
(2) 介護の必要有無 (〇はそれぞれ1つつ)	母親 (n=900)	父親 (n=553)	母親 (n=854)	父親 (n=1,482)
	(83.3%) 必要としない (15.0%) 必要とする	(90.6%) 必要としない (8.1%) 必要とする	(82.8%) 必要としない (15.0%) 必要とする	(89.5%) 必要としない (9.0%) 必要とする
	(1.7%) 無回答	(1.3%) 無回答	(2.2%) 無回答	(1.4%) 無回答
(3) 主に介護している方 (〇はそれぞれ1つつ)	母親 (n=135)	父親 (n=45)	母親 (n=128)	父親 (n=50)
	(11.1%) 世帯主 (17.8%) 世帯主の配偶者 (1.5%) 世帯主の父親 (23.0%) その他の親族 (9.6%) 介護老人福祉施設(特養) (11.9%) 介護保健施設(老健) (3.7%) 療養型病床 (8.1%) 有料老人ホーム (5.2%) 病院 (3.7%) その他 (4.4%) 無回答	(11.1%) 世帯主 (26.7%) 世帯主の配偶者 (11.1%) 世帯主の母親 (17.8%) その他の親族 (-) 介護老人福祉施設(特養) (8.9%) 介護保健施設(老健) (2.2%) 療養型病床 (6.7%) 有料老人ホーム (6.7%) 病院 (8.9%) その他 (-) 無回答	(3.1%) 世帯主 (18.8%) 世帯主の配偶者 (3.9%) 配偶者の父親 (27.3%) その他の親族 (18.0%) 介護老人福祉施設(特養) (7.8%) 介護保健施設(老健) (2.3%) 療養型病床 (8.6%) 有料老人ホーム (2.3%) 病院 (4.7%) その他 (3.1%) 無回答	(-) 世帯主 (16.0%) 世帯主の配偶者 (26.0%) 配偶者の母親 (14.0%) その他の親族 (6.0%) 介護老人福祉施設(特養) (10.0%) 介護保健施設(老健) (4.0%) 療養型病床 (8.0%) 有料老人ホーム (4.0%) 病院 (8.0%) その他 (4.0%) 無回答

(4)介護費用 の負担額 (実数記入)	(10.4%)	3万円未満	(13.3%)	3万円未満	(15.6%)	3万円未満	(18.0%)	3万円未満
	(8.9%)	3～5万円未満	(6.7%)	3～5万円未満	(9.4%)	3～5万円未満	(2.0%)	3～5万円未満
	(10.4%)	5～7万円未満	(4.4%)	5～7万円未満	(5.5%)	5～7万円未満	(8.0%)	5～7万円未満
	(8.9%)	7～10万円未満	(4.4%)	7～10万円未満	(6.3%)	7～10万円未満	(2.0%)	7～10万円未満
	(11.1%)	10～15万円未満	(8.9%)	10～15万円未満	(10.2%)	10～15万円未満	(12.0%)	10～15万円未満
	(3.7%)	15～20万円未満	(4.4%)	15～20万円未満	(1.6%)	15～20万円未満	(6.0%)	15～20万円未満
	(0.7%)	20～25万円未満	(2.2%)	20～25万円未満	(1.6%)	20～25万円未満	(-)	20～25万円未満
	(-)	25～30万円未満	(2.2%)	25～30万円未満	(-)	25～30万円未満	(-)	25～30万円未満
	(-)	30万円以上	(-)	30万円以上	(-)	30万円以上	(-)	30万円以上
	(45.9%)	無回答	(53.3%)	無回答	(50.0%)	無回答	(52.0%)	無回答

以上で終了です。ご協力ありがとうございました。